

ソフトウェアガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みください。
システム構成およびご購入した製品によっては、必要のない説明書もあります。



このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。



このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている PDF マニュアルです。

- 製品の設定方法については
- ソフトウェアのインストールについて知るには

セットアップシート



- コピーおよび印刷に関する説明については
- 困ったときには

ユーザーズガイド



- ソフトウェアのインストールおよび説明については
- 印刷およびスキャナ動作について知るには
- 困ったときには

**ソフトウェアガイド
(本書)**



製品名

・ F146600 (Satera MF3110)

目次

はじめに	iv
本書の読みかた	iv
マークについて	iv
ボタンについて	iv
画面ショットについて	iv
略記について	iv
商標および著作権について	v
商標について	v
著作権について	v
注意事項	v

第 1 章 お使いになる前に

動作環境	1-1
困ったときの参照先	1-2
コンピュータへソフトウェアをインストールする	1-3
手順 1 MF ドライバのインストール	1-4
手順 2 MF Toolbox のインストール	1-5
手順 3 USB ケーブルを接続する	1-7
付属のアプリケーションをインストールする	1-7
ユーザーズマニュアルを読む	1-7
インストールを確認する	1-8
ソフトウェアをアンインストールするまたは再インストールする	1-9
MF Toolbox を削除する	1-9
MF ドライバを削除する	1-10

第 2 章 印刷

文書を印刷する	2-1
印刷を中止する	2-2
印刷の設定を変更する	2-3
Windows のアプリケーションから	2-3
[プリンタと FAX]	
(Windows 98/Me/2000 の場合は [プリンタ]) フォルダから	2-4
Windows 98/Me でのプリンタのプロパティ	2-5
Windows 2000/XP でのプリンタのプロパティと印刷設定	2-22
プリンタのプロパティ	2-23
印刷設定	2-32
本機をネットワーク上で使用する	2-47
本機を共有プリンタとして設定する	2-47

第 3 章 スキャンする

本機の [スタート] ボタンでスキャンする.....	3-1
[スタート] 用にスキャン機能を設定する.....	3-2
[保存] とは異なった方法で動作するように [スタート] を設定する	3-2
[設定] ダイアログボックスの [スタート] を設定する	3-3
[スキャナとカメラ] フォルダで [スタート] を設定する (Windows 2000 の場合は、[スキャナとカメラ プロパティ] ダイアログボックス)	3-3
MF Toolbox を使ってスキャンする	3-6
MF Toolbox の設定.....	3-9
スキャナの設定	3-9
スキャン画像の保存先	3-10
スキャン画像の渡し先	3-11
スキャン画像の確認および Exif 設定 (スキャン画像の確認)	3-12
アプリケーションから画像をスキャンする	3-13
複数のページから 1 つの PDF ファイルを作成する	3-14
ScanGear MF でスキャン設定およびスキャンする	3-16
基本モードと拡張モードとを切り替える	3-16
基本モードを使用する	3-17
拡張モードを使用する	3-20
拡張モード - スキャンパラメータを指定する	3-22
拡張モード設定	3-23
解像度を決定する	3-38
WIA ドライバ でのスキャン (Windows XP のみ).....	3-39
[スキャナとカメラ ウィザード] ダイアログボックスからのスキャン	3-39
アプリケーションからスキャンする	3-43

第 4 章 困ったときには

プリンタのトラブル	4-1
ドライバのトラブル	4-4
スキャントラブル.....	4-5
インストールおよびアンインストール トラブル.....	4-10

第 5 章 付録

FontGallery をインストールする.....	5-1
必要な動作環境	5-1
FontGallery 製品使用許諾契約書	5-2
Windows 上にインストールする	5-5
FontGallery 同梱書体見本	5-11
プリンタの仕様.....	5-17
ハードウェアの仕様	5-17
ソフトウェアの仕様	5-17

用語解説.....	5-18
索引.....	5-28

はじめに

このたびは Canon Satera MF3110 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。また、お読みいただいた後もいつでも使用できるよう大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや本製品を使用する上で役に立つ情報に、下記のマークを付けています。

 **重要** 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

 **メモ** 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

ユーザーズガイド参照 前項に関する詳細説明は、ユーザーズガイドを参照してください。

本機 「本機」とは、Canon Satera MF3110 機のことです。

デフォルト 値を変更しない限り有効な標準設定です。

ボタンについて

本書では、ボタンや項目の名前を [] で囲んで示しています。

- 画面上のボタン／項目……………[はい]
- ウィンドウ／ダイアログボックスの名前……[プリンタの追加ウィザード]
- ツールバーのボタン…………… (ヘルプ)

画面ショットについて

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いのコンピュータのモデルやオプション設定によって、実際の画面表示とは異なる場合があります。

略記について

本書では、製品名およびモデル名を次のように表記しています。

Windows 98 は Microsoft® Windows® 98 オペレーティングシステムの略です。

Windows Me は Microsoft® Windows® Millennium Edition オペレーティングシステムの略です。

Windows 2000 は Microsoft® Windows® 2000 オペレーティングシステムの略です。

Windows XP は Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムの略です。

商標および著作権について

商標について

Canon および Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本書では、Microsoft および Microsoft Windows は、それぞれ Microsoft および Windows と記載されています。

著作権について

Copyright© 2004 Canon Inc. All rights reserved.

キヤノン株式会社の事前の書面による承諾を得ることなしに、いかなる形式または手段（電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動、またはその他の形式／手段を含む）をもっても、本書の全部または一部を、複製、転用、複写、検索システムへの記録、任意の言語やコンピュータ言語への変換などを行うことはできません。

注意事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

お使いになる前に

この章では、ドライバおよびソフトウェアを、お使いのコンピュータにインストールする手順を説明します。一度対応するドライバをインストールすれば、お使いのコンピュータから印刷およびスキャンを行うことができます。

動作環境

Windows 98 / Me / 2000 / XP 用プリンタドライバの動作環境は、次のとおりです。

■ オペレーティングシステム

Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP

■ コンピュータ

Windows 98、Windows Me、Windows 2000、または Windows XP が正常に稼働するコンピュータ。

■ ハードウェア環境

- IBM PC または IBM 互換 PC
- CD-ROM ドライブ、または CD-ROM へのアクセスが可能なネットワーク環境
- USB ポートが装備され、USB クラスドライバがインストールされている PC

OS	CPU	RAM	空きディスク容量
Windows 98	Intel Pentium® 90 MHz 以上	32 MB、64 MB 以上推奨	最低 115 MB、200 MB 以上推奨
Windows Me	Intel Pentium® 150 MHz 以上	32 MB、64 MB 以上推奨	最低 115 MB、200 MB 以上推奨
Windows 2000* Professional	Intel Pentium® 133 MHz 以上、または互換マイクロプロセッサ (2 プロセッサまでサポート)	64 MB、128 MB 以上推奨	最低 115 MB、200 MB 以上推奨
Windows XP*	Pentium Family® 300 MHz 以上	64 MB、128 MB 以上推奨	最低 115 MB、200 MB 以上推奨

* 管理者権限を持つユーザアカウントでログオンしてください。

**メモ**

USB 2.0 接続には、300 MHz 以上の CPU および 64 MB 以上の RAM を装備し、Windows XP がインストールされた PC、または 133 MHz 以上の CPU および 64 MB 以上の RAM を装備し、Windows 2000 SP4 がインストールされた PC が必要です。ご使用の PC がこれらの条件を満足し、USB 2.0 ホストコントローラが既にインストールされていれば、USB 2.0 接続が保証されます。

困ったときの参照先

ここでは、ドライバソフトのインストールまたは本機の使用時にトラブルが起きた場合の、ヘルプ情報の参照先について説明します。

■ ソフトウェアガイド (本書)

第 4 章「困ったときには」を参照してください。

■ ユーザーズガイド

第 9 章「困ったときには」を参照してください。

■ README.TXT ファイル

ドライバのインストール時と使用時の留意点 (ヒントおよび制限事項) については、ドライバと一緒に付属の CR-ROM に収録されている README.TXT ファイルを参照してください。

■ オンラインヘルプ

ドライバソフトと一緒に収録されているオンラインヘルプファイルにも追加のヘルプ情報が収められています。[プロパティ] ダイアログボックスで [ヘルプ] ボタンをクリックしますと、ドライバの全機能とオプションに関する情報が表示されます。

■ 状況依存ヘルプ

表示されているダイアログボックス内の各項目の説明が表示されます。この状況依存ヘルプは、次のいずれかの方法で表示できます。

- ダイアログボックスのタイトルバーで  (ヘルプ) ボタンをクリックし、目的の項目をクリックします。
- 目的の項目を右クリックし、[ヘルプ] ボックスを選択します。
- 目的の項目をクリックし、[F1] キーを押します。

■ キヤノン販売店またはサービス代理店

ヘルプに必要な情報がない場合は、お買いあげのキヤノン販売店またはサービス代理店までお問い合わせください。

コンピュータへソフトウェアをインストールする

この章では、Canon MF3110 を (お使いのコンピュータに直接接続されている) ローカルプリンタおよびスキャナとして使用するために、ドライバをインストールする方法について説明します。

ドライバをインストールする際は、[MF3110 セットアップ] 画面に表示される手順に従ってください。

ソフトウェアをインストールする前に、次の点を確認してください。

- 本機がコンピュータに接続されていないこと。
- 本機の電源がオンになっていること。(セットアップシート参照)
- コンピュータ上でWindowsアプリケーションを実行していた場合は、それらが終了されていること。

重要 Windows 2000/XP をお使いの場合は、管理者権限を持つユーザとしてログオンしてください。ドライバのインストールには、フルコントロールアクセス権が必要です。

- メモ**
- 長さ 3m 以下のケーブルの使用を推奨します。
 - 表示画面は、Windows XP の場合です。

1 CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM をセットします。

[MF3110 セットアップ] 画面が表示されます。

[MF3110 セットアップ] 画面の手順 1、2 および 3 に従ってソフトウェアをインストールします。



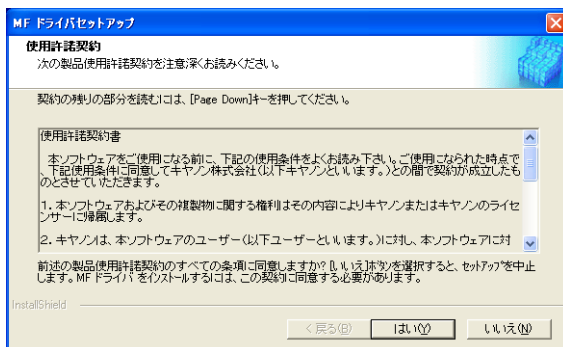
[MF3110 セットアップ] 画面

[MF3110 セットアップ] 画面が表示されない場合、Windows デスクトップ上で、[スタート] → [マイコンピュータ] をクリックします (Windows 98/Me/2000 の場合は、[マイコンピュータ] をダブルクリックします)。CD-ROM アイコンを開き、[Setup (Setup.exe)] をダブルクリックしてください。

ネットワークまたはハードディスクに保存したソフトウェアをインストールする場合は、そのソフトの [Setup (Setup.exe)] をダブルクリックしてください。

手順 1 MF ドライバのインストール

- 1 [MF3110セットアップ]画面で、[MFドライバインストール]をクリックします。
- 2 使用許諾契約が表示されますので内容を確認したら、[はい]をクリックします。



- 3 [完了] ボタンをクリックします。



パソコンによっては再起動を促すメッセージが表示されることがあります。

手順2 MF Toolbox のインストール

1 [MF3110セットアップ]画面で,[MF Toolboxインストール]をクリックします。

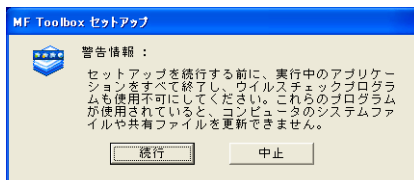
[MF3110セットアップ]画面を閉じてしまった場合は、Windows デスクトップ上で、[スタート]→[マイコンピュータ]をクリックします (Windows 98/Me/2000 の場合は、[マイコンピュータ]をダブルクリックします)。CD-ROMアイコンを開き、[Setup (Setup.exe)]をダブルクリックしてください。

ネットワークまたはハードディスクに保存したソフトウェアをインストールする場合は、そのソフトの [Setup (Setup.exe)] をダブルクリックしてください。

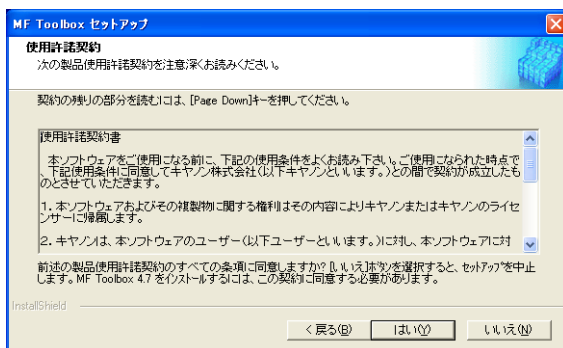
2 [次へ]をクリックします。



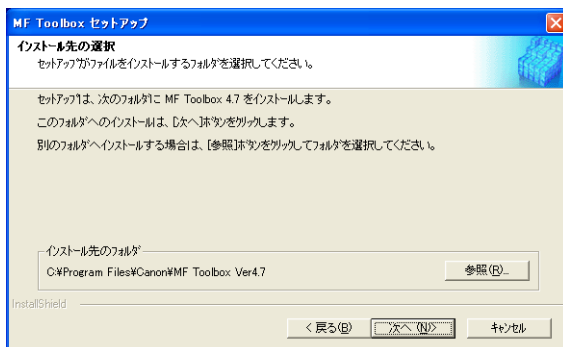
3 内容を確認したら [続行] をクリックします。



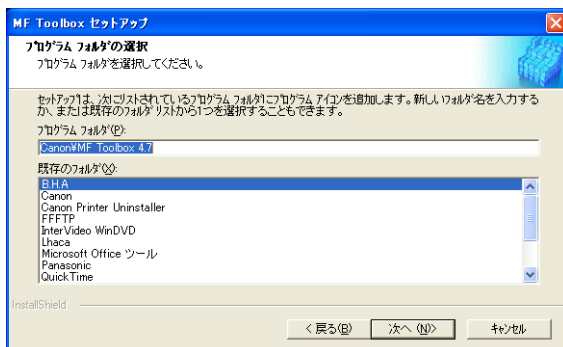
4 使用許諾契約が表示されますので内容を確認したら、[はい]をクリックします。



5 [インストール先の選択]ダイアログボックスが表示されたら、[次へ]をクリックします。



6 [次へ]をクリックします。



7 [完了]をクリックします。



パソコンによっては再起動を促すメッセージが表示されることがあります。

手順3 USB ケーブルを接続する

1 本機の電源がオンになっていることを確認します。

2 USB ケーブルを本機およびコンピュータの USB ポートに接続します。

USB ケーブルをコンピュータに接続しますと、本機は自動的に新ハードウェアとして検出されます。コンピュータが様々な設定を行いますので、しばらくお待ちください。

ご使用のコンピュータによっては、コンピュータの再起動を要求するメッセージが表示されることがあります。

コンピュータを再起動した後、コンピュータが様々な設定を続行しますので、しばらくお待ちください。

付属のアプリケーションをインストールする

付属のアプリケーションをインストールするためには、[MF3110 セットアップ] 画面で [アプリケーションのインストール] をクリックします。

また、それを後でインストールすることもできます。

ユーザーズマニュアルを読む

CD-ROM 上の PDF ファイルを読むには、[MF3110 セットアップ] 画面の [マニュアルを読む] をクリックします。

これで、インストールは完了です。[MF3110 セットアップ] 画面で [終了] ボタンをクリックして画面を閉じます。CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

インストールを確認する

ドライバが正しくインストールされているか、また本機が標準設定のプリンタとして選択されているかどうか確認してください。



メモ アプリケーションの [印刷] ダイアログボックスを開いたとき本機がプリンタボックス内に選択されていれば、本機が標準設定のプリンタとして選択されていることを意味します。

1 [プリンタ及びFAX](Windows 98/Me/2000の場合は[プリンタ])フォルダを開きます。

Windows のタスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタとFAX] (Windows 98/Me/2000の場合は[スタート]→[設定]→[プリンタ]) をクリックします。

ドライバアイコンが表示されることを確認します。

2 標準設定のプリンタを選択します。

本機が既に標準設定のプリンタとして選択されている場合は、手順3に進んでください。

□ 対応するプリンタドライバアイコンをクリックします。

□ [ファイル]メニューから、[通常使うプリンタに設定](Windows 98/Meの場合は[標準設定として保存する]) をクリックします。

3 [スキャナとカメラ]フォルダ (Windows 98/Me/2000の場合は[スキャナとカメラプロパティ]ダイアログボックス)を開きます。

Windows のタスクバーの [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア] → [スキャナとカメラ] を選択します (Windows 98/Me/2000の場合は、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [スキャナとカメラ] アイコンをダブルクリックします)。

対応するスキャナドライバ名またはアイコンが表示されることを確認します。

4 Windows のデスクトップ上に [Canon MF Toolbox 4.7] アイコンが表示されたら、MF Toolbox 4.7 のインストールは完了です。

ソフトウェアをアンインストールするまたは再インストールする

ドライバが正しく作動しない場合、一旦ドライバを取り外し、再びインストールします。ソフトウェアを取り外すときは、先ず MF Toolbox を削除し、次に MF ドライバを削除します。ソフトウェアを再度インストールしたい場合でも、必ず現在インストールされているソフトウェアを取り外さなければなりません。ドライバを取り外す前に、次の点を確認してください。

- インストールに利用できるインストールソフトウェアが手元にあること。
- コンピュータ上で実行中のアプリケーションがないこと。



重要

Windows 2000/XP でのアンインストールは、管理者権限を持つユーザが実行する必要があります。

MF Toolbox を削除する

- 1 現在実行中の MF Toolbox およびアプリケーション（ウィルスチェックも含む）は、終了させてください。**

MF Toolbox を閉じるには、MF Toolbox ウィンドウの右上の [X] をクリックします。

- 2 Windows タスクバーの [スタート] → [プログラム] → [Canon] → [MF Toolbox 4.7] → [Toolbox アンインストール] をクリックします。**

- 3 画面の指示に従ってください。**

プログラム修理または削除選択画面が表示されたときは、[削除] を選択して、[次へ] をクリックします。

アプリケーションなどの削除に関して確認を求められたら、[OK] をクリックします。

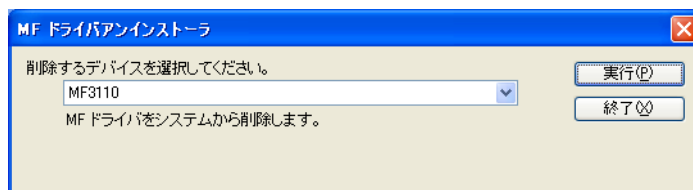
コンピュータを再起動するよう促されたら、再起動してください。

MF ドライバを削除する

- 1 [スタート] → [(すべての)プログラム] → [Canon] → [MFドライバ] → [ドライバ アンインストール] をクリックします。

[MF ドライバアンインストーラ] ダイアログボックスが表示されます。

- 2 対応するプリンタを選択し、[実行] をクリックします。



確認メッセージダイアログボックスが表示されます。

- 3 [はい] をクリックします。

Windows 98/Me の場合、アンインストール動作を完了させるためにコンピュータを再起動するよう促すダイアログボックスが表示されます。[ただちにコンピュータを再起動します。]が選択されていることを確認し、[終了] をクリックします。

アンインストールが完了しました。

Windows 2000/XP の場合、パソコンによっては再起動を促すメッセージが表示されることがあります。

印刷

2

CHAPTER

この章では、Windows アプリケーションから文書を印刷する方法を説明します。印刷の設定を変更する場合は、プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示してください。

文書を印刷する

1 用紙をカセットまたはマルチフィードにセットします。

用紙のセットに関する詳細は、ユーザズガイドの第 2 章「用紙の取り扱い」を参照してください。

2 アプリケーションで文書を開きます。

3 印刷するためのコマンドを選択します。

通常、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。



4 [プリンタの選択] リストボックスまたは[印刷]ダイアログボックスの[プリンタ名]プルダウンリストから、使用するプリンタを選択します。

5 [印刷設定] または [プロパティ] をクリックします。



メモ

ご使用のアプリケーションによっては、[印刷]ダイアログボックスの[全般]タブで使用されているプリンタを選択し、次に、対応するタブで印刷の設定を指定します。(Windows 2000 の場合のみ)

6 必要な設定を指定し、[OK] をクリックします。



メモ

詳細は、「印刷の設定を変更する」(→ P.2-3) を参照してください。

7 [印刷] または [OK] をクリックします。

印刷が開始されます。



メモ

印刷を中止するには、[キャンセル] をクリックします。

印刷を中止する

1 [プリンタとFAX] (Windows 98/Me/2000の場合は[プリンタ])フォルダを開きます。

[スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] (Windows 98/Me/2000 の場合は [スタート] → [設定] → [プリンタ]) をクリックします。

2 対応するプリンタドライバアイコンをダブルクリックします。

3 印刷ジョブを右クリックし、[キャンセル] をクリックします。

本機の操作パネルの[システムモニタ]を使用して印刷ジョブを中止することもできます。
詳細は、ユーザーズガイドの第7章「システムモニタ」を参照してください。

印刷の設定を変更する

印刷の設定を表示または変更する場合は、プリンタドライバの [プロパティ] または [印刷設定] ダイアログボックスを表示してください。

[プロパティ] ダイアログボックスは、アプリケーションの [印刷] ダイアログボックスおよび [プリンタと FAX] (Windows 98/Me/2000 の場合は [プリンタ]) フォルダから開くことができます。[印刷設定] ダイアログボックスは、[プリンタと FAX] (Windows 2000 の場合は [プリンタ]) フォルダから開くことができます。

ダイアログボックスを表示するには、次の方法に従ってください。



- [プロパティ] ダイアログボックスでは、プリンタの詳細設定や、すべての Windows アプリケーション用に印刷条件を設定できます。[印刷設定] ダイアログボックスでは、Canon Satera MF3110 で印刷する際に利用できる印刷オプション用に初期設定値を指定することができます。(Windows 2000/XP のみ)
- [プロパティ] ダイアログボックスに表示されるタブの数は、ご使用のオペレーティングシステムのタイプおよびダイアログボックスの表示の仕方によって異なります。
- ダイアログボックスの表示の仕方によって、印刷オプションの有効期間が異なります。
 - アプリケーションの [印刷] からダイアログボックスを表示したときは、選択した印刷オプションは現在の印刷ジョブだけに適用されます。アプリケーションを閉じると、印刷オプションは設定前の状態に戻ります。
 - [プリンタと FAX] (Windows 98/Me/2000 の場合は [プリンタ]) フォルダからダイアログボックスを表示したときは、選択した印刷オプションはすべての Windows アプリケーションに適用され、その設定を変更するまで有効です。

2

印刷

Windows のアプリケーションから

■ [印刷設定] または [プロパティ] ダイアログボックスを表示する

1 印刷するためのコマンドを選択します。

通常、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

2 [プリンタの選択] リストボックスまたは [印刷] ダイアログボックスの [プリンタ名] プルダウンリストから、使用するプリンタを選択します。

3 [ページ設定] または [プロパティ] をクリックします。

[ページ設定] または [Canon MF3110 のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

[プリンタとFAX] (Windows 98/Me/2000 の場合は [プリンタ]) フォルダから

■[プロパティ] ダイアログボックスを表示する

- 1 [プリンタとFAX] (Windows 98/Me/2000の場合は[プリンタ]) フォルダを開きます。

Windows のタスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] (Windows 98/Me/2000 の場合は [スタート] → [設定] → [プリンタ]) を選択します。

- 2 対応するプリンタドライバアイコンをクリックします。

- 3 [ファイル] メニューから、[プロパティ] をクリックします。

また、対応するプリンタドライバアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから[プロパティ] を選択することによって [プロパティ] ダイアログボックスを表示することもできます。

[Canon MF3110 のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

■[印刷設定] ダイアログボックスを表示する (Windows 2000/XP の場合)

- 1 [プリンタとFAX] (Windows 2000の場合は[プリンタ]) フォルダを開きます。

Windows のタスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] (Windows 2000 の場合は [スタート] → [設定] → [プリンタ]) を選択します。

- 2 対応するプリンタドライバアイコンをクリックします。

- 3 [ファイル] メニューから、[印刷設定] をクリックします。

また、対応するプリンタドライバアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから[印刷設定] を選択することによって [印刷設定] ダイアログボックスを表示することもできます。

[Canon MF3110 印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。

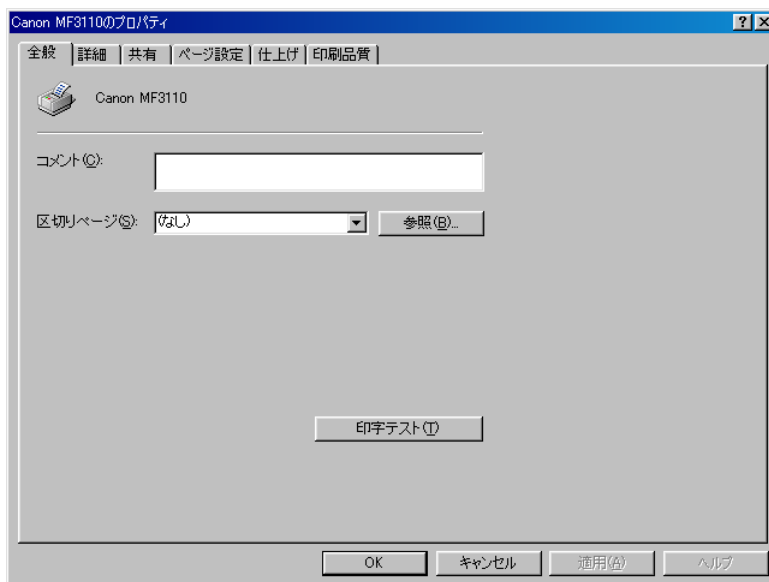
Windows 98/Me でのプリンタのプロパティ



次に示す図は、[プリンタ] フォルダから [Canon MF3110 のプロパティ] を開いたときに表示されます。

■[全般] タブ

印刷設定やテストページの印刷が行えます。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。

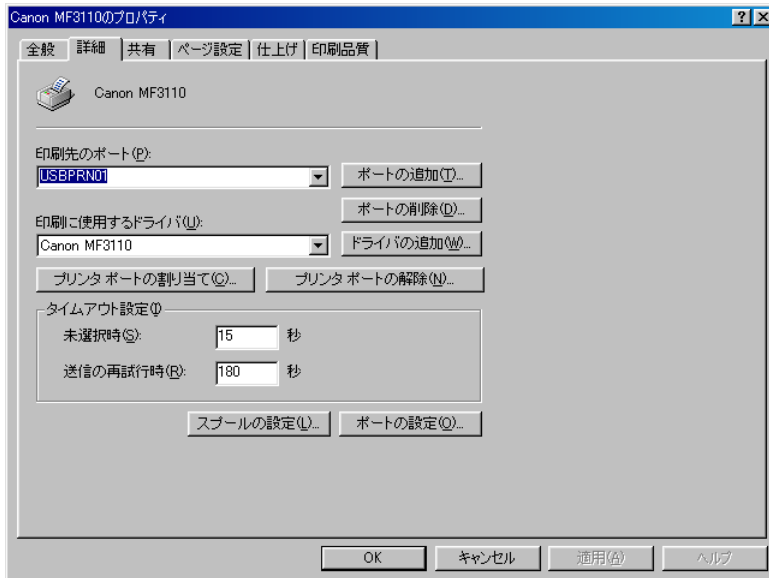


2

印刷

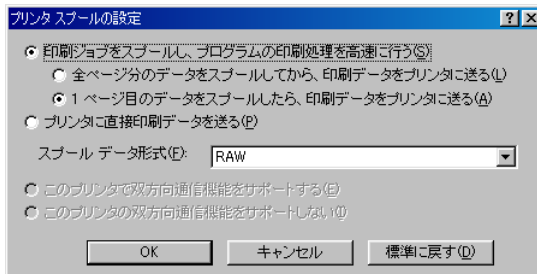
■[詳細] タブ

プリンタポートやタイムアウトの設定を指定します。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



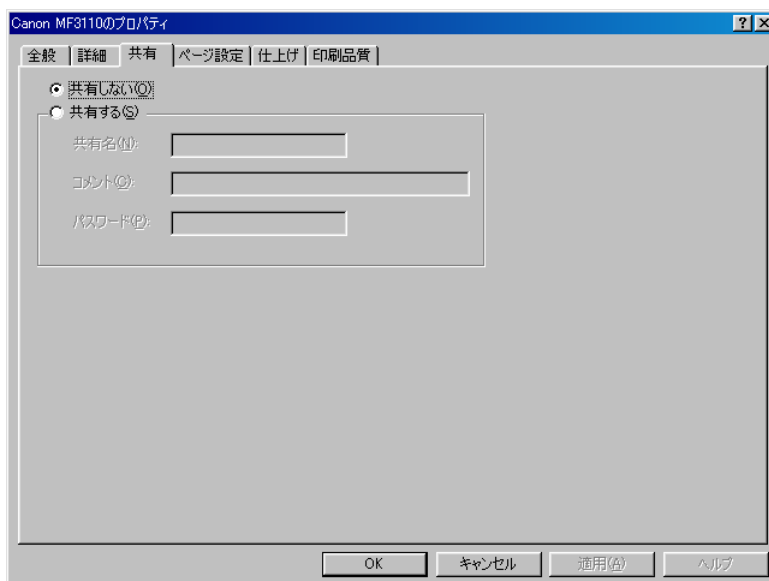
● プリントスプールの設定

設定は初期設定値です。



■[共有] タブ

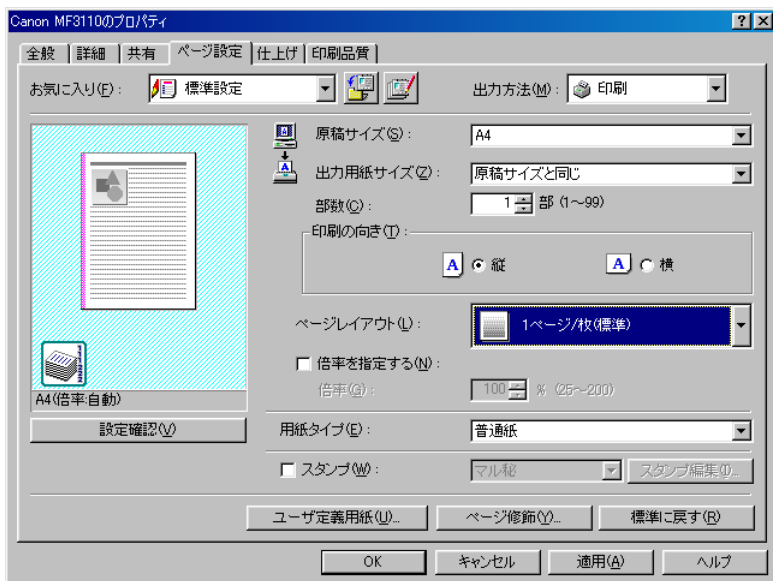
プリンタ共有の設定値を指定します。このタブは、プリンタ共有が有効になっている場合のみ利用できます。(→ P.2-50) 詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



■[ページ設定] タブ

用紙サイズ、拡大縮小倍率、部数、印刷の向き、1 枚の用紙に印刷するページ数など、ページ設定を指定します。

[お気に入り] の詳細については、「お気に入り」(→ P.2-19) を参照してください。



プレビュー画像

現在選択されている設定値を反映した画像が表示されます。プレビュー画像についての詳細は、P.2-19 を参照してください。

【 原稿サイズ 】

アプリケーションで作成した原稿サイズを選択します。選択できるサイズは [レター]、[レジャー]、[リーガル]、[エグゼクティブ]、[A5]、[B5]、[A4]、[B4]、[A3]、[封筒洋形 2 号]、[封筒洋形 4 号]、[はがき]、[往復はがき] および [ユーザ定義] です。

【 出力用紙サイズ 】

印刷する用紙サイズを選択します。[原稿サイズと同じ] 以外に設定すると、元の原稿サイズは選択した用紙サイズに収まるよう自動的に拡大／縮小して印刷されます。ただし、[原稿サイズ] に [レジャー]、[リーガル]、[B4] または [A3] を設定すると、元の原稿サイズは [A4] サイズに収まるよう自動的に縮小されます。



[ユーザ定義用紙サイズ設定] オプションを使って、[ユーザ定義用紙サイズ] を最大 50 個まで定義できます (P.2-11 参照)。

【 部数 】

印刷する部数を指定します。(1 ～ 99 部)

【 印刷の向き 】

印刷する用紙の向きを指定します。([縦] または [横])

【 ページレイアウト 】

何ページ分の原稿を 1 枚の用紙に印刷するか (1、2、4、6、8、9、または 16 ページ分) または [ポスター] (1 枚の原稿を 2x2、3x3 または 4x4 ページに分割、拡大して印刷する) を選択します。[ページレイアウト] を [1 ページ / 枚] および [ポスター] 以外に指定すると、選択したページレイアウトに収まるよう自動的に縮小されます。



- [ポスター]を選択すると、[倍率を指定する]、[スタンプ]および[ページ修飾]が選択できなくなります。
- [1ページ/枚]を選択すると、[倍率を指定する]が表示されます。[1ページ/枚]および[ポスター]以外に指定すると、[倍率を指定する]の代わりに[配置順]が表示されます。

【倍率を指定する】

拡大 / 縮小して印刷する場合の倍率を指定します。このチェックボックスにチェックを付けると、右側の編集ボックスが使用可能となり、倍率 (25 ~ 200%) を指定できます。

【配置順】

1 枚の用紙に複数ページ分の原稿を印刷する場合、用紙に原稿ページを配置する順序を選択します。



【用紙タイプ】

印刷する用紙の種類を選択します。利用可能な用紙の種類は次のとおりです。

- 普通紙 (64 ~ 90 g/m²)
- 普通紙 L
- 厚紙
- 厚紙 H
- OHP フィルム



[出力用紙サイズ]として、[封筒洋形2号]、または[封筒洋形4号]を選択すると、[用紙タイプ]は自動的に[封筒]に設定されます。
また、[はがき]または[往復はがき]を選択すると[用紙タイプ]は自動的に[はがき]に設定されます。

【スタンプ】

選択したスタンプを各ページに付けて印刷します。次の6種類のスタンプが用意されています。

- マル秘
- CONFIDENTIAL
- COPY
- DRAFT
- 社外秘
- コピー禁止

[スタンプ編集]でスタンプを追加することもできます。



[スタンプ]は、[ページレイアウト]が[ポスター]に設定されている場合は使用できません。

【スタンプ編集】

[スタンプ編集] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-10)

【ユーザ定義用紙】

[ユーザ定義用紙] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-11)

【ページ修飾】

[ページ修飾] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-12)



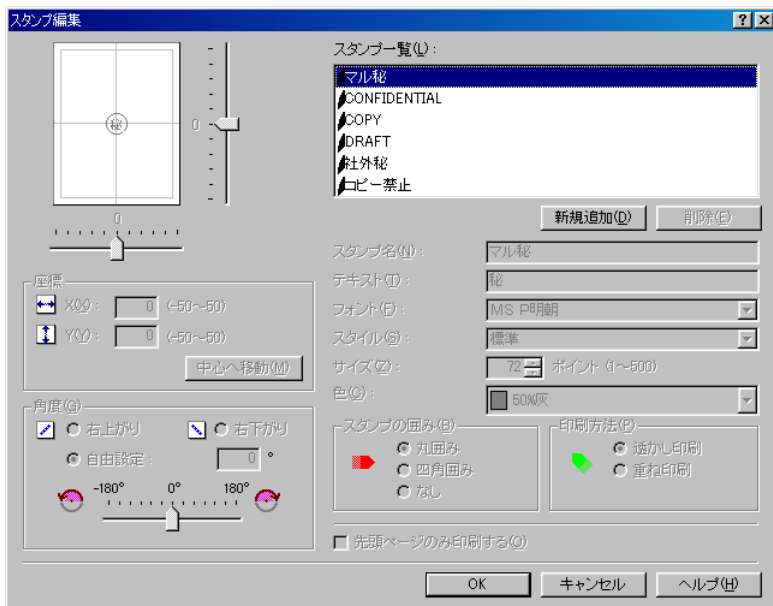
[ページ修飾]は、[ページレイアウト]が[ポスター]に設定されている場合は使用できません。

【標準に戻す】

現在の設定を初期設定値に戻します。

● スタンプ編集

[ページ設定] タブの [スタンプ編集] をクリックすると、[スタンプ編集] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、スタンプとして文字列をページに付けることができます。[スタンプ編集] は、[ページ設定] タブで [スタンプ] にチェックが付いているときだけ利用できます。(→ P.2-8)



【スタンプ一覧】 登録されているスタンプ名が表示されます。ダイアログボックスの左上に選択したスタンプの画像が指定した設定を反映させて表示されます。

【新規追加】 新しいスタンプを登録することができます。[新規追加] ボタンをクリックすると、[スタンプ名] に入力したスタンプ名がスタンプ一覧に登録されます。登録できるスタンプは、最大 50 個です。

【削除】 [スタンプ一覧] から選択したスタンプを削除します。

 **✕モ** はじめから定義されているスタンプを選択している場合、削除はできません。

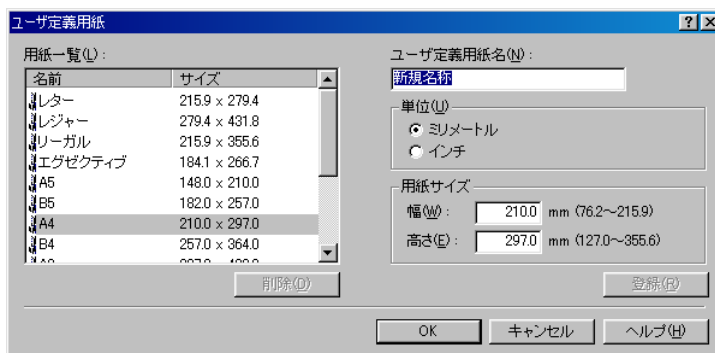
【座標】 各ページに印刷するスタンプの位置を指定します。[X] および [Y] の編集ボックスに値を (-50 ~ +50 の範囲で) 入力するか、または X と Y のスライダーを使って位置を移動できます。

- 【中心へ移動】** スタンプをページの中央に配置します。
- 【角度】** スタンプの角度を指定します。角度にあったラジオボタンを選択するか、スライダバーを使って角度を変えることができます。または、[角度設定] 編集ボックスに指定したい値を入力しても設定できます。
- 【スタンプ名】** 現在選択されているスタンプの名前が表示されます。
- 【テキスト】** 現在選択されているスタンプの文字列が表示されます。
- 【フォント】** スタンプの文字列のフォントの種類を選択します。
- 【スタイル】** スタンプの文字列のフォントスタイルを選択します。可能なスタイルは、[標準]、[斜体]、[太字]、および[太字 斜体]です。
- 【サイズ】** スタンプの文字列のフォントサイズを指定します。(1 ~ 500)
- 【色】** スタンプの文字列の色を選択します。
- 【スタンプの囲み】** スタンプに枠を追加します。枠の種類は選択できます。([丸囲み]、[四角囲み]、または[なし])
- 【印刷方法】** スタンプの印刷方法を選択します。([透かし印刷] または [重ね印刷])
- 【先頭ページのみ印刷する】**

選択したスタンプを原稿の先頭ページにのみ印刷します。

● ユーザ定義用紙

[ページ設定] タブの [ユーザ定義用紙] をクリックすると、[ユーザ定義用紙] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、ユーザ定義用紙サイズを選択したり、新しいユーザ定義用紙サイズを [用紙一覧] ボックスに登録することができます。また、各サイズの名前、幅、および高さの指定が可能です。定義できるユーザ定義用紙サイズは最大 50 個です。



この設定は、Windows アプリケーションから [Canon MF3110 のプロパティ] ダイアログボックスを表示した場合は利用できません。

【用紙一覧】 利用できる用紙サイズが表示されます。この一覧から、ユーザ定義用紙サイズの作成が可能な用紙サイズを選択します。

【ユーザ定義用紙名】

ユーザ定義用紙の名称を指定します。

【単位】 用紙サイズの寸法単位を選択します。([ミリメートル] または [インチ])

【用紙サイズ】 ユーザ定義用紙の幅と高さを指定します。



[用紙サイズ] を指定するとき、[幅] には [高さ] より小さい値を入力してください。

【登録】 ユーザ定義用紙を登録して、その名前を [用紙一覧] に追加します。

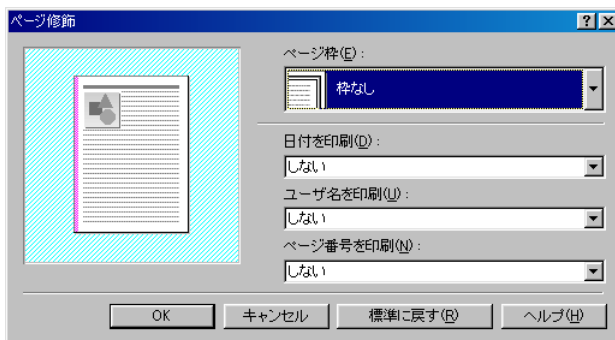
【削除】 [用紙一覧] から選択したユーザ定義用紙を削除します。



はじめから定義されている用紙サイズは削除できません。

● ページ修飾

[ページ設定] タブの [ページ修飾] をクリックすると、[ページ修飾] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、ページ枠、ヘッダ、およびフッタが付いたページを印刷できます。[ページ修飾] は、[ページ設定] タブの [ページレイアウト] が [ポスター] に設定されている場合は利用できません。(→ P.2-8)



【ページ枠】 各ページにページ枠を追加して印刷します。選択できるページ枠は 11 種類です。

【日付を印刷】 各ページに日付を印刷するかどうかを選択します。日付の印刷可能位置は 6 か所です。

【ユーザ名を印刷】 各ページにユーザ名を印刷するかどうかを選択します。ユーザ名の印刷可能位置は 6 か所です。

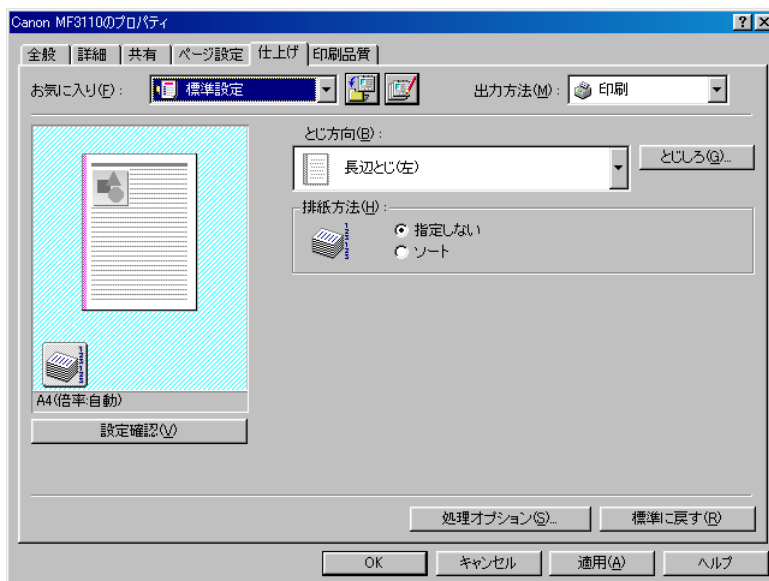
【ページ番号を印刷】 各ページにページ番号を印刷するかどうかを選択します。ページ番号の印刷可能位置は 6 か所です。

【標準に戻す】 現在の設定を初期設定値に戻します。

■[仕上げ] タブ

ソートやとじ方向など、印刷ページの仕上げ設定を指定します。

[お気に入り]の詳細については、「お気に入り」(→ P.2-19)を参照してください。



【とじ方向】 印刷ページのとじ方向を選択します。

【とじしる】 [とじしる指定] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-14)

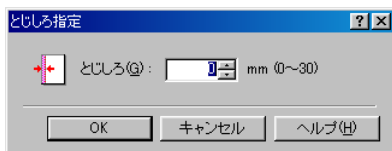
【排紙方法】 印刷ページを部数単位でソートするかどうかを選択します。

【処理オプション】 [処理オプション] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-14)

【標準に戻す】 現在の設定を初期設定値に戻します。

● とじしろ指定

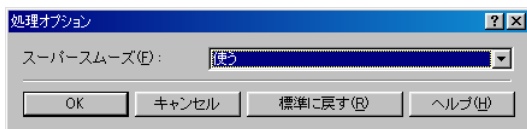
[仕上げ] タブの [とじしろ] をクリックすると、[とじしろ指定] ダイアログボックスが表示されます。



【とじしろ】 とじしろの幅を 0 ～ 30mm の範囲で指定します。

● 処理オプション

[仕上げ] タブの [処理オプション] をクリックすると、[処理オプション] ダイアログボックスが表示されます。



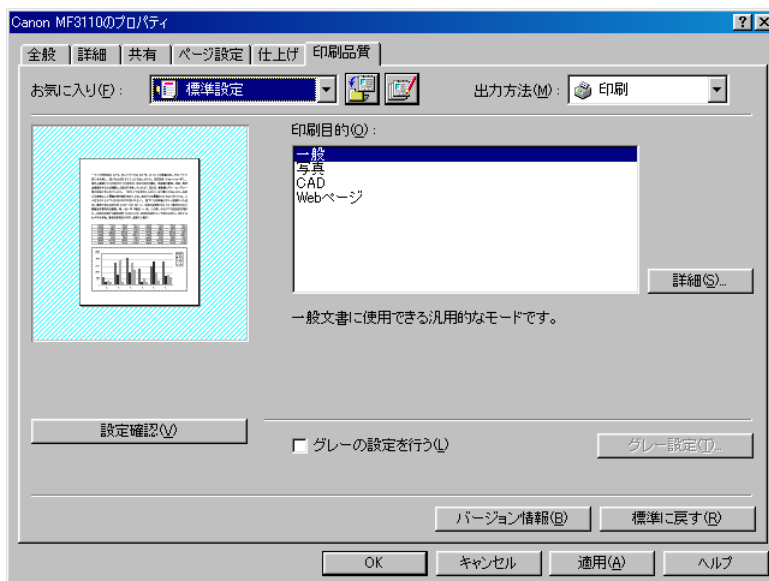
【スーパースムーズ】 プリンタのスーパースムーズ機能を設定します。

【標準に戻す】 現在の設定を初期設定値に戻します。

■[印刷品質] タブ

解像度やコントラストなど、印刷品質の設定を指定します。

[お気に入り]の詳細については、「お気に入り」(→P.2-19)を参照してください。



【印刷目的】 原稿の内容に合わせて印刷目的を設定すると、最適な設定で印刷することができます。

【詳細...】 [詳細設定] ダイアログボックスを表示します。(→P.2-16)

【グレーの設定を行う】

手動でグレー設定できるようにします。このチェックボックスにチェックを付けると、[グレー設定]が可能となり、画像のグレー設定ができるダイアログボックスが表示されます。(→P.2-16)

【グレー設定】 [グレー設定] ダイアログボックスを表示します。(→P.2-16)



メモ

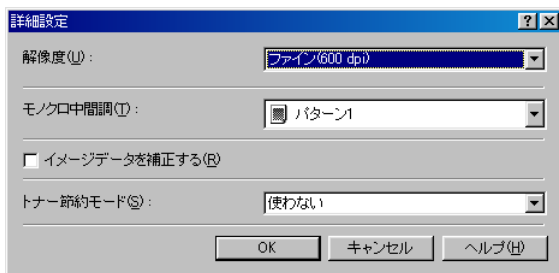
[グレー設定]は、[グレーの設定を行う]にチェックが付いているときだけ利用できます。

【バージョン情報】 ドライバのバージョン情報を表示します。

【標準に戻す】 現在の設定を初期設定値に戻します。

● 詳細設定

[印刷品質] タブの [詳細 ...] をクリックすると、[詳細設定] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、印刷品質を詳細に設定できます。



【 解像度 】 プリンタの解像度を dpi 単位で選択します。(600dpi または 300dpi)

【 モノクロ中間調 】 ハーフトーンパターンを選択します。

【 イメージデータを補正する 】

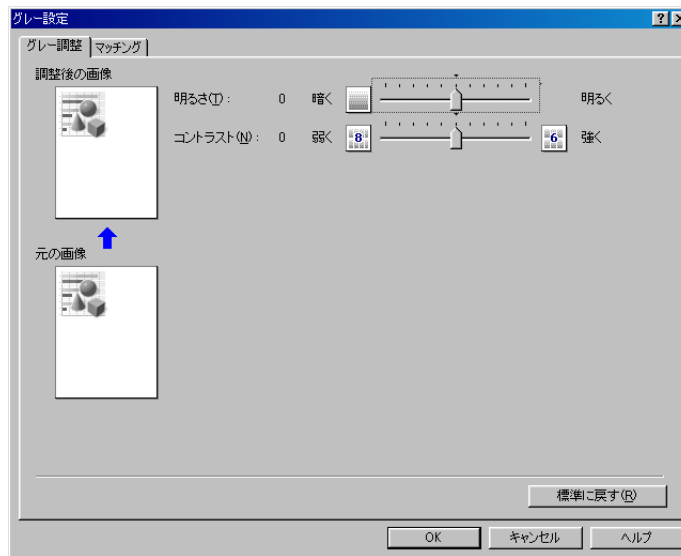
拡大された画像を低解像度で印刷する際、画像の粗さや不正確さを補正します。

【 トナー節約モード 】 トナーの消費を抑えるための設定を選択します。([パネル優先]、[使わない]、[使う])

● グレー設定

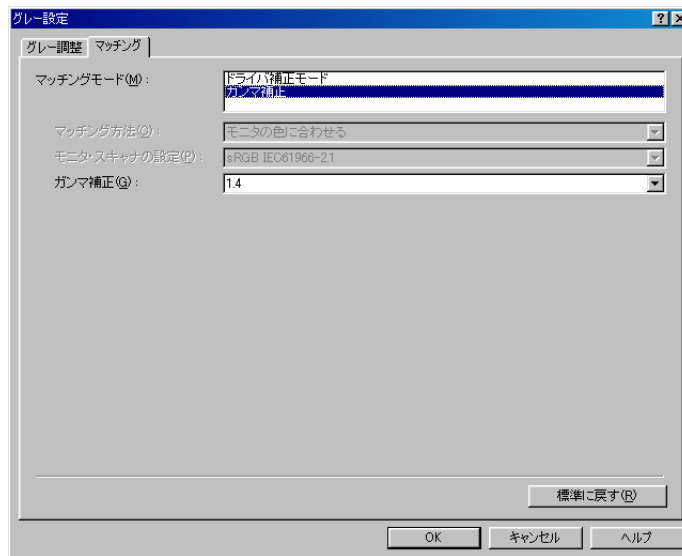
[印刷品質] タブの [グレー設定] をクリックすると、[グレー設定] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、画像の明度とコントラストを調整することができます。この機能は、[印刷品質] タブの [グレーの設定を行う] にチェックが付いているときだけ利用できます。(→ P.2-15) このダイアログボックスには 2 つのタブがあります。

●【グレイ調整】タブ



- 【調整後の画像】** 現在選択されている明度とコントラストの値で調整されたサンプルが表示されます。
- 【元の画像】** 調整前の画像が表示されます。
- 【明るさ】** 画像の明度を -5 ～ +5 の範囲内で調整します。
- 【コントラスト】** 画像のコントラスト -5 ～ +5 の範囲内で調整します。
- 【標準に戻す】** 現在の設定を初期設定値に戻します。

● [マッチング] タブ



【 マッチングモード 】 カラーマッチングモード ([ドライバ補正モード] または [ガンマ補正]) を指定します。[ドライバ補正モード] を選択すると、[マッチング方法] および [モニタ・スキャナの設定] が利用可能となります。[ガンマ補正] を選択すると、[ガンマ補正] が利用可能となります。

【 マッチング方法 】 マッチング方法を選択します。

【 モニタ・スキャナの設定 】

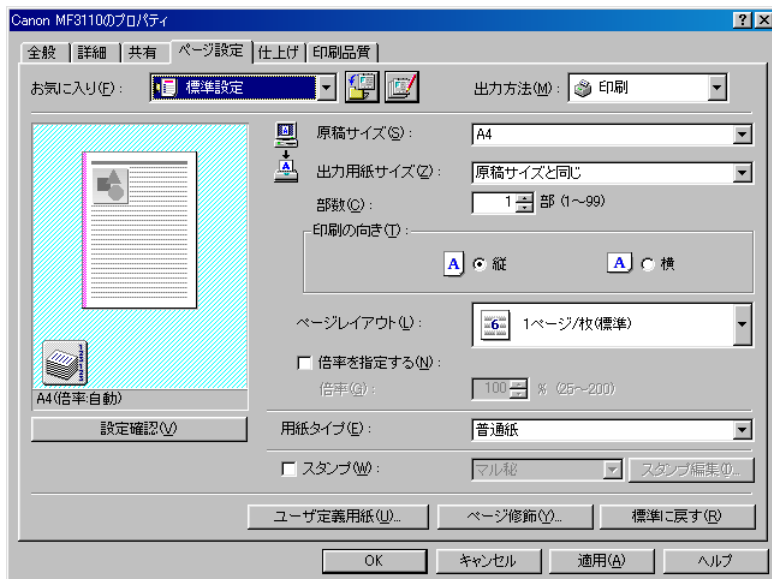
お使いのモニタまたはスキャナに適した設定を選択します。

【 ガンマ補正 】 ガンマ補正係数を指定します。

【 標準に戻す 】 現在の設定を初期設定値に戻します。

■お気に入り

[ページ設定]、[仕上げ]、および [印刷品質] タブの設定を組み合わせで登録したものを「お気に入り」と呼んでいます。各タブのお気に入り機能を使用すると、お気に入りの追加、編集、選択ができるため、印刷ジョブが簡単に設定できます。



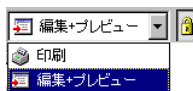
【お気に入り】

適用するお気に入りを選択します。

プレビュー画像

現在選択されている設定を反映した画像が表示されます。プレビュー画像内の任意の場所をクリックするたびに、[ページレイアウト] の設定値が変わります (→ P.2-8)。設定値は、[1 ページ / 枚 (標準)] → [2 ページ / 枚] → [4 ページ / 枚] → [1 ページ / 枚 (標準)] ... の順に変わります。

【出力方法】 印刷ジョブを [印刷] と [編集+プレビュー] の間で切り替えます。



【印刷】 通常の印刷ジョブを実行します。

【編集+プレビュー】

データを [Canon Page Composer] ダイアログボックスに保存します。[プリンタ] フォルダから [Canon MF3110 のプロパティ] を表示し、[編集+プレビュー] モードを選択すると、 (ロック) ボタンが右側に表示されます。このボタンをクリックすると、[編集+プレビュー] モードがロックされます。



（お気に入りの追加）

[お気に入りの追加] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-20)



（お気に入りの編集）

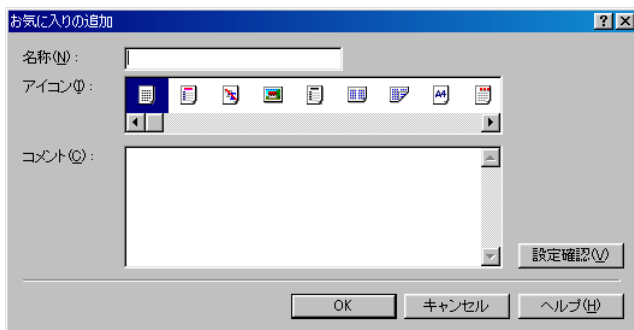
[お気に入りの編集] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-20)

【設定確認】 [設定確認] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-22)

● お気に入りの追加



(お気に入りの追加) をクリックすると、[お気に入りの追加] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、現在の設定を新しいお気に入りに登録できます。追加できるお気に入りは最大 50 個です。



【名称】 登録するお気に入りの名前を指定します。

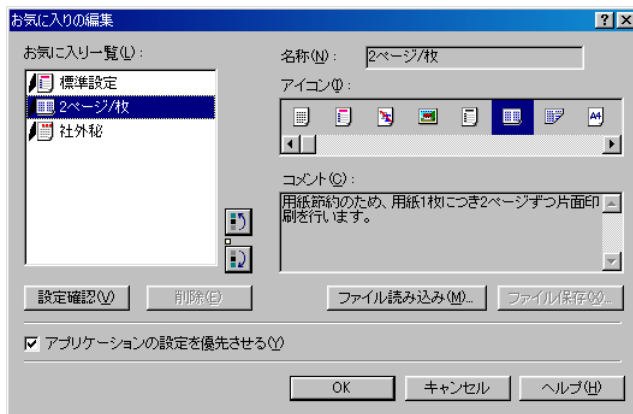
【アイコン】 登録するお気に入りを表すアイコンを選択します。

【コメント】 登録するお気に入りのコメントを追加します。

【設定確認】 [設定確認] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-22)

● お気に入りの編集

 (お気に入りの編集) をクリックすると、[お気に入りの編集] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、[お気に入り一覧] で選択したお気に入りを編集できます。



【お気に入り一覧】 登録されているお気に入りが一覧表示されます。

【設定確認】 [設定確認] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-22)



[お気に入り一覧] で選択したお気に入りを 1 つ上へ移動します。



[お気に入り一覧] で選択したお気に入りを 1 つ下へ移動します。

【削除】 [お気に入り一覧] で選択したお気に入りを削除します。



はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、削除することはできません。

【名称】 [お気に入り一覧] で現在選択されているお気に入りの名前が表示されます。お気に入りの名称の変更も可能です。



はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、名称は変更できません。

【アイコン】 現在選択されているお気に入りのアイコンが表示されます。アイコンの変更も可能です。



はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、アイコンは変更できません。

【コメント】 現在選択されているお気に入りのコメントが表示されます。コメントの変更も可能です。



はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、コメントは変更できません。

【ファイル読み込み】 お気に入り情報をファイルから読み込むことができます。

【ファイル保存】 選択したお気に入り情報をファイルに保存することができます。



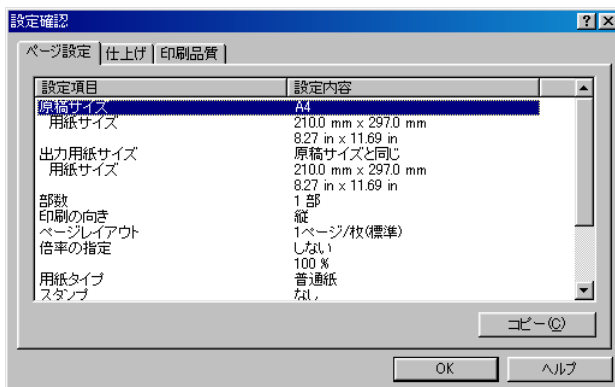
はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、保存することはできません。

【アプリケーションの設定を優先させる】

選択したお気に入りの [用紙サイズ]、[印刷の向き]、および [部数] 以外の設定に適用します。

● 設定確認

[設定確認] をクリックすると、[設定確認] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスには、[ページ設定]、[仕上げ]、および [印刷品質] タブの現在の設定が表示されます。



【コピー】

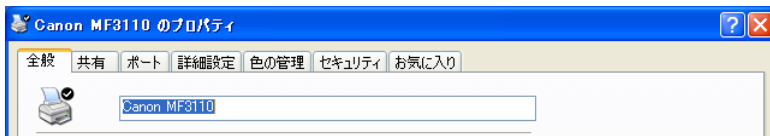
現在の設定内容をクリップボードにコピーします。

Windows 2000/XP でのプリンタのプロパティと印刷設定

Windows 2000/XP 版のプリンタドライバには、次の 2 つの主要なダイアログボックスがあります。

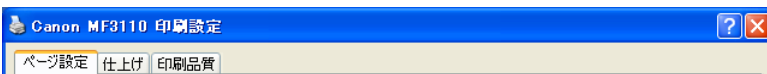
■ プリンタのプロパティのダイアログボックス

このダイアログボックスでは、プリンタの詳細設定や、すべての Windows アプリケーション用の印刷条件を設定できます。



■ 印刷設定ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、Canon MF3110 での印刷時に使用できる印刷オプションの初期設定を指定できます。



プリンタのプロパティ

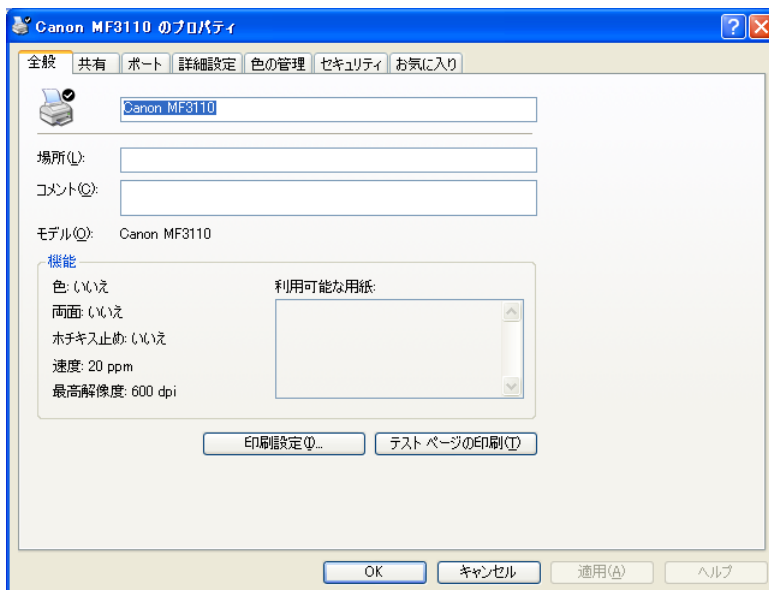
[Canon MF3110 のプロパティ] ダイアログボックスには、プリンタの設定や、印刷条件を設定するためのタブがあります。



- プロパティのダイアログボックスに表示されるタブの数は、お使いのシステムの環境によって異なります。
- それぞれの機能については、オンラインヘルプを参照してください。(→ P.1-2)
- 表示画面は、Windows XP の場合です。

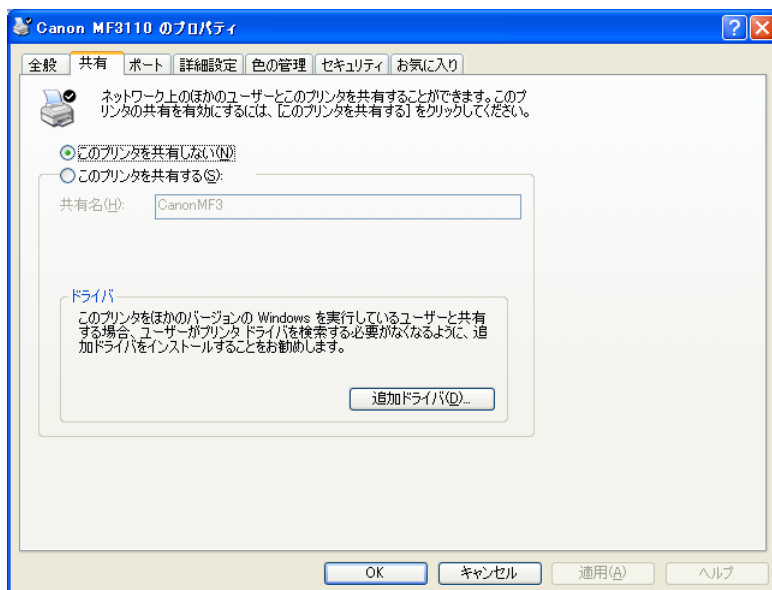
■[全般] タブ

印刷設定やテストページの印刷が行えます。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



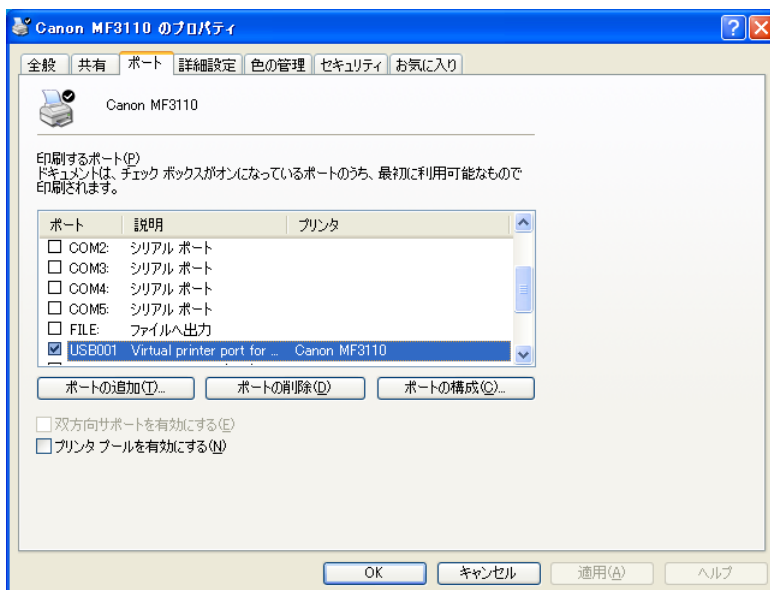
■[共有] タブ

プリンタ共有の設定値を指定します。このタブは、プリンタ共有が有効になっている場合のみ利用できます。(→ P.2-50) 詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



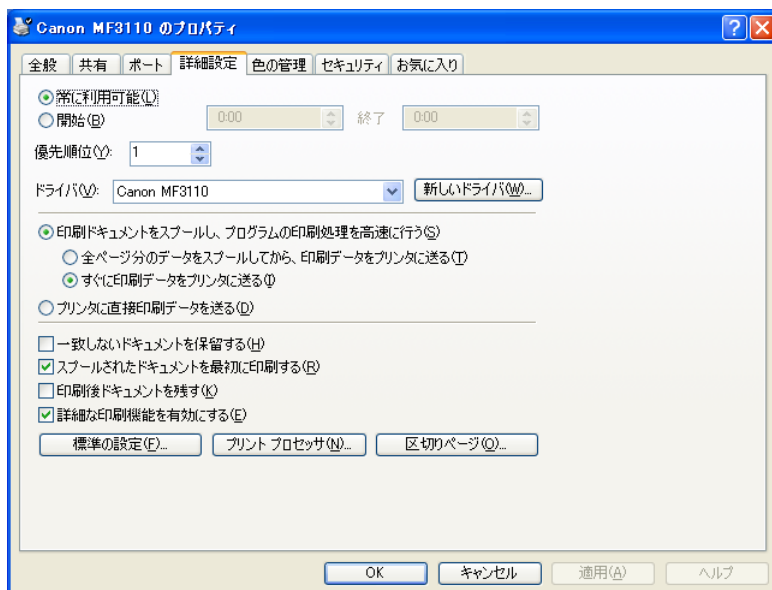
■[ポート]タブ

プリンタの接続先のポートを指定します。詳細は、Windowsのマニュアルを参照してください。



■[詳細設定] タブ

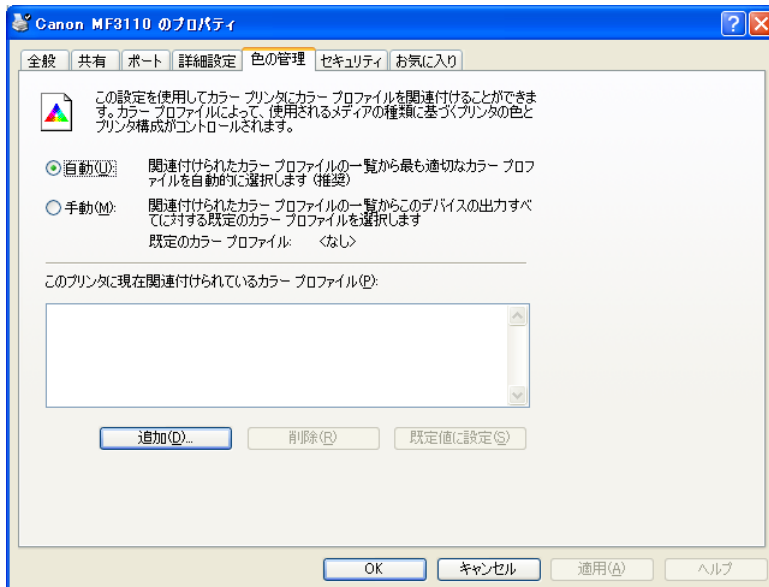
印刷時のスプール機能の設定を指定します。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。

**メモ**

[印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う] および [すぐに印刷データを送る] は、プリンタドライバのインストール時に自動的に有効 (オン) に設定されます。

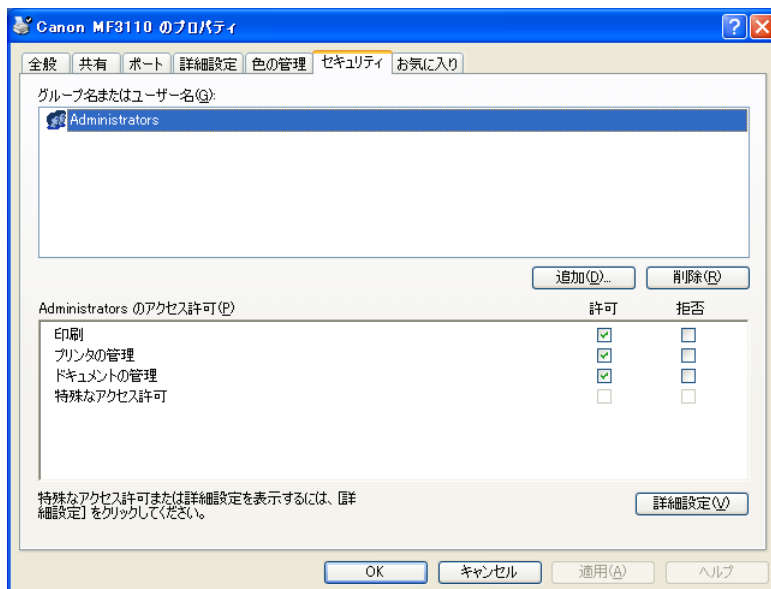
■[色の管理] タブ

カラープロファイルをカラープリンタに関連づけます。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



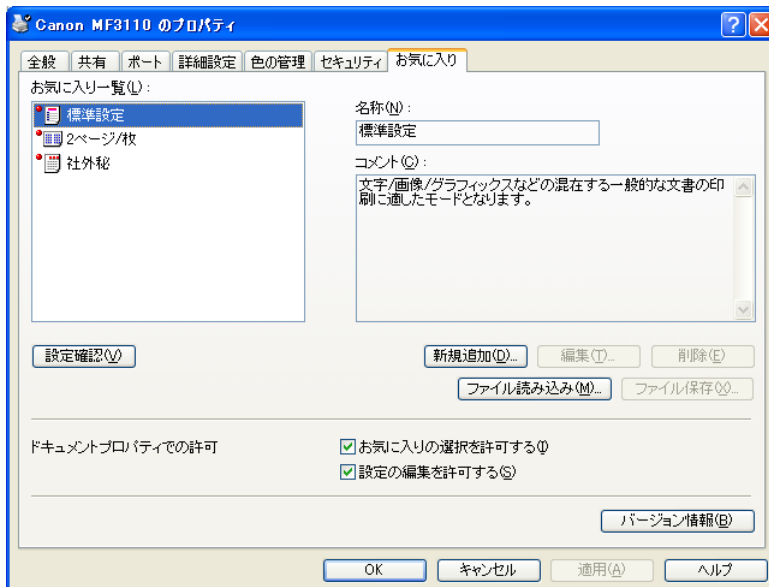
■[セキュリティ] タブ

セキュリティ設定を指定します。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。



■[お気に入り] タブ

印刷ジョブに適用するお気に入りを追加、編集、および選択できます。



【お気に入り一覧】 登録されているお気に入りが一覧表示されます。

【名称】 [お気に入り一覧] で現在選択されているお気に入りの名前が表示されます。お気に入りの名称の変更も可能です。

 **メモ** はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、名称は変更できません。

【コメント】 現在選択されているお気に入りのコメントが表示されます。コメントの変更も可能です。

 **メモ** はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、コメントは変更できません。

【設定確認】 [設定確認] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-22)



[お気に入り一覧] で選択したお気に入りを 1 つ上へ移動します。



[お気に入り一覧] で選択したお気に入りを 1 つ下へ移動します。

【新規追加】 新しいお気に入りを登録できる [お気に入りの追加 / 編集] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-31)

【編集】 登録されているお気に入りを編集できる [お気に入りの追加 / 編集] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-31)

 **メモ** [お気に入り一覧] にはじめから定義されているお気に入り ([標準設定]、[2ページ / 枚]、または [社外秘]) を選択している場合、編集することはできません。

【削除】

[お気に入り一覧] から選択したお気に入りを削除します。



はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、削除することはできません。

【ファイル読み込み】

お気に入り情報をファイルから読み込むことができます。

【ファイル保存】

選択したお気に入り情報をファイルに保存することができます。



はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、保存することはできません。

【ドキュメントプロパティでの許可】

お気に入りの設定を制御します。

【お気に入りの選択を許可する】

標準ドキュメントプロパティのダイアログボックスでお気に入りを選択できるようにします。

【設定の編集を許可する】

お気に入りの追加、編集、および選択が行えるようにします。



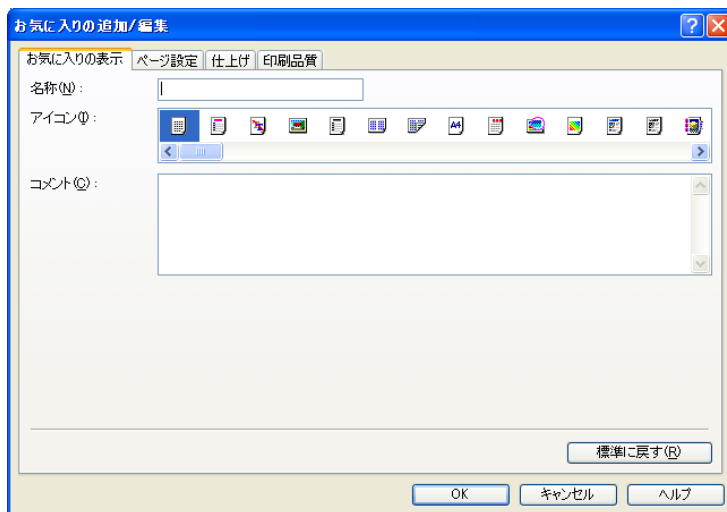
[お気に入りの選択を許可する] のチェックを外すと、[設定の編集を許可する] が使用できなくなります。

● お気に入りの追加／編集

[新規追加] または [編集] をクリックすると、新しいお気に入りの登録や既存のお気に入りの編集が行える [お気に入りの追加／編集] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスには、4つのタブがあります。

● [お気に入りの表示] タブ

[お気に入りの表示] タブでは、お気に入りの名称、アイコンおよびコメントを指定できます。



【名称】 登録するお気に入りの名前を入力します。または、[お気に入り] タブで選択したお気に入りの名前を変更できます。

 **メモ** はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、名称は変更できません。

【アイコン】 登録するお気に入りを表すアイコンを選択します。または、[お気に入り] タブで選択したお気に入りのアイコンを変更できます。

 **メモ** はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、アイコンは変更できません。

【コメント】 登録するお気に入りのコメントを追加します。または、[お気に入り] タブで選択したお気に入りのコメントを変更できます。

 **メモ** はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、コメントは変更できません。

【標準に戻す】 現在の設定を初期設定値に戻します。

● [ページ設定] タブ

用紙サイズ、拡大縮小率、部数、印刷の向き、1 枚の用紙に印刷するページ数など、ページ設定を指定します。(→ P.2-33)

● [仕上げ] タブ

ソートやとじ方向など、印刷ページの仕上げ設定を指定します。(→ P.2-38)

● [印刷品質] タブ

解像度、明度、コントラストなど、印刷品質の設定を指定します。(→ P.2-39)

印刷設定

[Canon MF3110 印刷設定] ダイアログボックスには、すべての印刷ジョブに対する標準の印刷設定を指定できる 3 つのタブがあります。



メモ

- アプリケーションの[印刷]ダイアログボックスからこのダイアログボックスを表示した場合、選択した印刷設定は現在の印刷ジョブにのみ適用されます。
- それぞれの機能については、オンラインヘルプを参照してください。(→ P.1-2)
- 表示画面は、Windows XP の場合です。

■ [ページ設定] タブ

用紙サイズ、拡大縮小倍率、部数、印刷の向き、1 枚の用紙に印刷するページ数など、ページ設定を指定します。

[お気に入り] の詳細については、「お気に入り」 (→ P.2-43) を参照してください。



プレビュー画像

現在選択されている設定値を反映した画像が表示されます。プレビュー画像についての詳細は、P.2-43 を参照してください。

【 原稿サイズ 】

アプリケーションで作成した原稿サイズを選択します。選択できるサイズは [レター]、[レジャー]、[リーガル]、[エグゼクティブ]、[A5]、[B5]、[A4]、[B4]、[A3]、[封筒洋形 2 号]、[封筒洋形 4 号]、[はがき]、[往復はがき] および [ユーザ定義] です。

【 出力用紙サイズ 】

印刷する用紙サイズを選択します。[原稿サイズと同じ] 以外に設定すると、元の原稿サイズは選択した用紙サイズに収まるよう自動的に拡大／縮小して印刷されます。ただし、[原稿サイズ] に [レジャー]、[リーガル]、[B4] または [A3] を設定すると、元の原稿サイズは [A4] サイズに収まるよう自動的に縮小されます。

【 部数 】

印刷する部数を指定します。(1 ～ 99 部)

【 印刷の向き 】

印刷する用紙の向きを指定します。([縦] または [横])

【 ページレイアウト 】

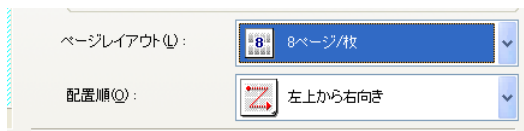
何ページ分の原稿を 1 枚の用紙に印刷するか (1、2、4、6、8、9、または 16 ページ分) または [ポスター] (1 枚の原稿を 2x2、3x3 または 4x4 ページに分割・拡大して印刷する) を選択します。[ページレイアウト] を [1 ページ / 枚] および [ポスター] 以外に指定すると、選択したページレイアウトに収まるよう自動的に縮小されます。



- [ポスター] を選択すると、[倍率を指定する]、[スタンプ] および [ページ修飾] が選択できなくなります。
- [1 ページ / 枚] を選択すると、[倍率を指定する] が表示されます。[1 ページ / 枚] および [ポスター] 以外に指定すると、[倍率を指定する] の代わりに [配置順] が表示されます。

【倍率を指定する】 拡大／縮小して印刷する場合の倍率を指定します。このチェックボックスにチェックを付けると、右側の編集ボックスが使用可能となり、倍率 (25 ～ 200%) を指定できます。

【配置順】 1 枚の用紙に複数ページ分の原稿を印刷する場合、用紙に原稿ページを配置する順序を選択します。



【用紙タイプ】 印刷する用紙の種類を選択します。利用可能な用紙の種類は次のとおりです。

- 普通紙 (64 ～ 90 g/m²)
- 普通紙 L
- 厚紙
- 厚紙 H
- OHP フィルム



メモ

【出力用紙サイズ】として、[封筒洋形2号]、または[封筒洋形4号]を選択すると、【用紙タイプ】は自動的に【封筒】に設定されます。

また、[はがき]または[往復はがき]を選択すると【用紙タイプ】は自動的に[はがき]に設定されます。

【スタンプ】 選択したスタンプを各ページに付けて印刷します。次の 6 種類のスタンプが用意されています。

- マル秘
- CONFIDENTIAL
- COPY
- DRAFT
- 社外秘
- コピー禁止

【スタンプ編集】でスタンプを追加することもできます。



メモ

【スタンプ】は、【ページレイアウト】が【ポスター】に設定されている場合は使用できません。

【スタンプ編集】 【スタンプ編集】ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-35)

【ユーザ定義用紙】 【ユーザ定義用紙】ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-36)

【ページ修飾】 【ページ修飾】ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-37)



メモ

【ページ修飾】は、【ページレイアウト】が【ポスター】に設定されている場合は使用できません。

【標準に戻す】 現在の設定を初期設定値に戻します。

● スタンプ編集

[ページ設定] タブの [スタンプ編集] をクリックすると、[スタンプ編集] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、スタンプとして文字列をページに付けることができます。[スタンプ編集] は、[ページ設定] タブで [スタンプ] チェックボックスにチェックが付いているときだけ利用できます。(→ P.2-33)



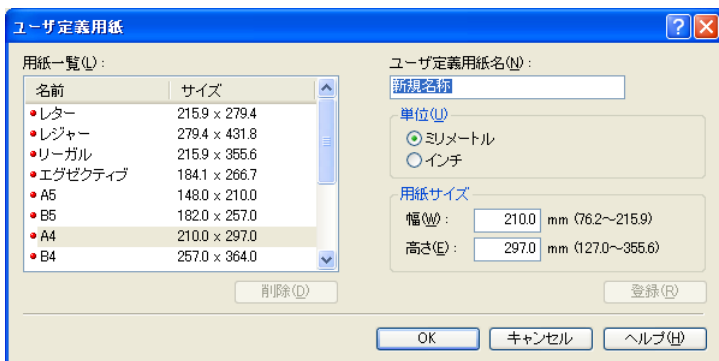
- 【スタンプ一覧】** 登録されているスタンプ名が表示されます。ダイアログボックスの左上に選択したスタンプの画像が指定した設定を反映させて表示されます。
- 【新規追加】** 新しいスタンプを登録することができます。[新規追加] ボタンをクリックすると、[スタンプ名] に入力したスタンプ名がスタンプ一覧に登録されます。登録できるスタンプは、最大 50 個です。
- 【削除】** [スタンプ一覧] から選択したスタンプを削除します。
- 【座標】** 各ページに印刷するスタンプの位置を指定します。[X] および [Y] の編集ボックスに値を (-50 ~ +50 の範囲で) 入力するか、または X と Y のスライダーを使って位置を移動できます。
- 【中心へ移動】** スタンプをページの中央に配置します。
- 【角度】** スタンプの角度を指定します。角度にあったラジオボタンを選択するか、スライダーを使って角度を変えることができます。または、希望の値を [角度設定] 編集ボックスに入力します。(-180 ~ +180 の範囲)
- 【スタンプ名】** 現在選択されているスタンプの名前が表示されます。
- 【テキスト】** 現在選択されているスタンプの文字列が表示されます。
- 【フォント】** スタンプの文字列のフォントの種類を選択します。
- 【スタイル】** スタンプの文字列のフォントスタイルを選択します。可能なスタイルは、[標準]、[斜体]、[太字]、および [太字 斜体] です。
- 【サイズ】** スタンプの文字列のフォントサイズを指定します。(1 ~ 500)

- 【色】** スタンプの文字列の色を選択します。
- 【スタンプの囲み】** スタンプに枠を追加します。枠の種類は選択できます。([丸囲み]、[四角囲み]、または [なし])
- 【印刷方法】** スタンプの印刷方法を選択します。([透かし印刷] または [重ね印刷])
- 【先頭ページのみ印刷する】**
選択したスタンプを原稿の先頭ページにのみ印刷します。

● ユーザ定義用紙

[ページ設定] タブの [ユーザ定義用紙] をクリックすると、[ユーザ定義用紙] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、ユーザ定義用紙サイズを選択したり、新しいユーザ定義用紙サイズを [用紙一覧] ボックスに登録することができます。また、各サイズの名前、幅、および高さの指定が可能です。

 **メモ** この設定は、[プリンタとFAX] フォルダから [Canon MF3110 印刷設定] ダイアログボックスを表示した場合のみ利用できます。



- 【用紙一覧】** 利用できる用紙サイズが表示されます。この一覧から、ユーザ定義用紙サイズの作成が可能な用紙サイズを選択します。
- 【ユーザ定義用紙名】** ユーザ定義用紙の名称を指定します。
- 【単位】** 用紙サイズの寸法単位を選択します。([ミリメートル] または [インチ])
- 【用紙サイズ】** ユーザ定義用紙の幅と高さを指定します。

 **メモ** [用紙サイズ] を指定するとき、[幅] には [高さ] より小さい値を入力してください。

【登録】

ユーザ定義用紙を登録して、その名前を [用紙一覧] に追加します。



ユーザ定義用紙サイズを登録するには、管理者権限を持つユーザ (Windows 2000/XP) またはパワーユーザ (Windows 2000 のみ) としてログオンする必要があります。既存のユーザ定義用紙サイズを変更するには、管理者権限を持つユーザのメンバーとしてログオンする必要があります。

【削除】

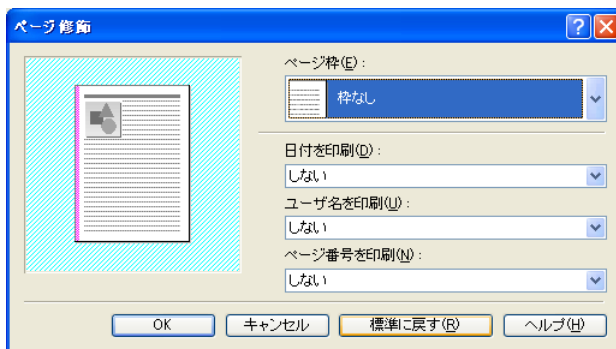
[用紙一覧] から選択したユーザ定義用紙を削除します。



- はじめから定義されている用紙サイズは削除できません。
- 登録されているユーザ定義用紙サイズを削除するには、管理者権限を持つユーザのメンバーとしてログオンする必要があります。

● ページ修飾

[ページ設定] タブの [ページ修飾] をクリックすると、[ページ修飾] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、ページ枠、ヘッダ、およびフッタが付いたページを印刷できます。[ページ修飾] は、[ページ設定] タブの [ページレイアウト] が [ポスター] に設定されている場合は利用できません。(→ P.2-33)

**【ページ枠】**

各ページにページ枠を追加して印刷します。選択できるページ枠は 11 種類です。ページ枠は、[印刷品質] タブで [グレー調整サンプルプリント] を選択した場合は利用できません。(→ P.2-39)

【日付を印刷】

各ページに日付を印刷するかどうかを選択します。日付の印刷可能位置は 6 か所です。

【ユーザ名を印刷】

各ページにユーザ名を印刷するかどうかを選択します。ユーザ名の印刷可能位置は 6 か所です。

【ページ番号を印刷】

各ページにページ番号を印刷するかどうかを選択します。ページ番号の印刷可能位置は 6 か所です。

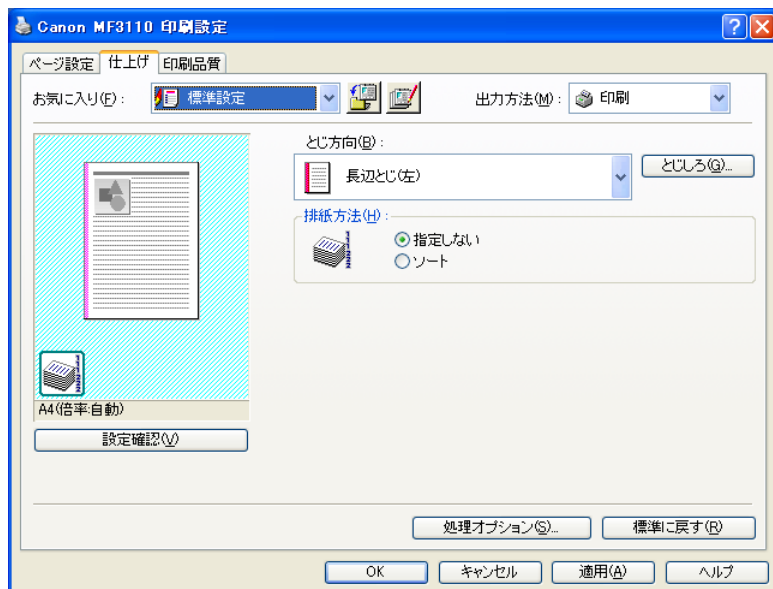
【標準に戻す】

現在の設定を初期設定値に戻します。

■[仕上げ] タブ

ソートやとじ方向など、印刷ページの仕上げ設定を指定します。

[お気に入り] については、「お気に入り」(→ P.2-43) を参照してください。



【とじ方向】

印刷ページのとじ方向を選択します。

【とじしろ】

[とじしろ指定] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-38)

【排紙方法】

印刷ページを部数単位でソートするかどうかを選択します。([指定しない] または [ソート])

【処理オプション】

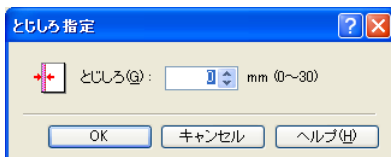
[処理オプション] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-39)

【標準に戻す】

現在の設定を初期設定値に戻します。

●とじしろ指定

[仕上げ] タブの [とじしろ] をクリックすると、[とじしろ指定] ダイアログボックスが表示されます。

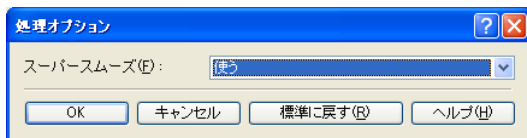


【とじしろ】

とじしろの幅を 0 ～ 30mm の範囲で指定します。

● 処理オプション

[仕上げ] タブの [処理オプション] をクリックすると、[処理オプション] ダイアログボックスが表示されます。



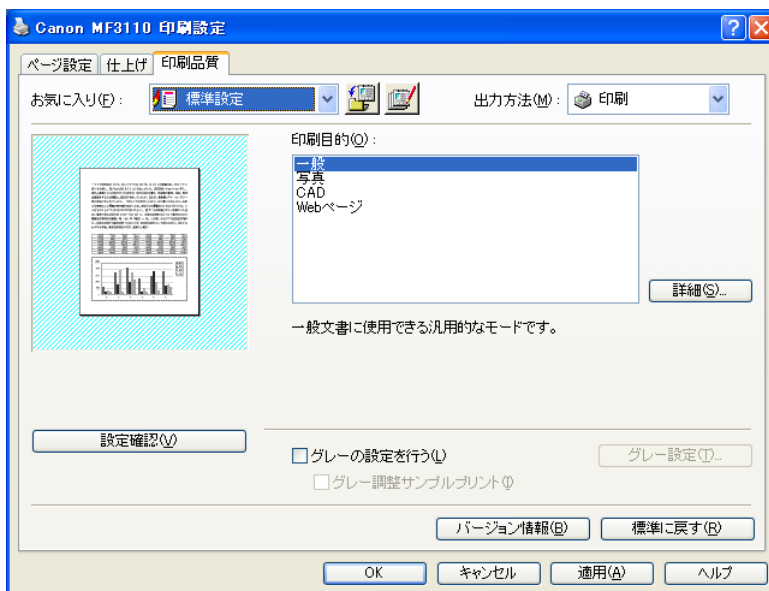
【スーパースムーズ】 プリンタのスーパースムージング機能を設定します。

【標準に戻す】 現在の設定を初期設定値に戻します。

■ [印刷品質] タブ

解像度やコントラストなど、印刷品質の設定を指定します。

[お気に入り] については、「お気に入り」(→ P.2-43) を参照してください。



【印刷目的】 原稿の内容に合わせて印刷目的を設定すると、最適な設定で印刷することができます。

【詳細 ...】 [詳細設定] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-40)

【グレーの設定を行う】

手動でグレー設定できるようにします。このチェックボックスにチェックを付けると、[グレー設定] が可能となり、画像のグレー設定ができるダイアログボックスが表示されます。(→ P.2-41)

【グレー調整サンプルプリント】

ドキュメントの印刷時に、現在のグレースケール設定値を使ったプリントサンプルを提供するために、用紙 1 枚につき 9 つのサムネールを印刷します。



【グレー調整サンプルプリント】は、[グレーの設定を行う]にチェックが付いているときだけ利用できます。

【グレー設定】

【グレー設定】ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-41)



【グレー設定】は、[グレーの設定を行う]にチェックが付いているときだけ利用できます。

【バージョン情報】

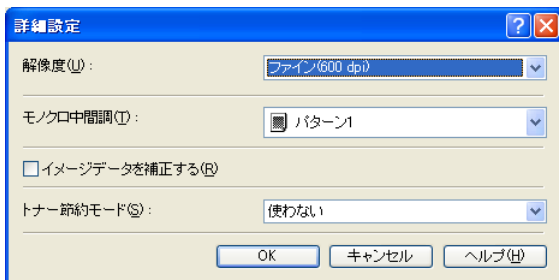
ドライバのバージョン情報を表示します。

【標準に戻す】

現在の設定を初期設定値に戻します。

● 詳細設定

【印刷品質】タブの【詳細...】をクリックすると、【詳細設定】ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、印刷品質を詳細に設定できます。



【解像度】

プリンタの解像度を dpi 単位で選択します。(600dpi または 300dpi)

【モノクロ中間調】

ハーフトーンパターンを選択します。

【イメージデータを補正する】

拡大された画像を低解像度で印刷する際、画像の粗さや不正確さを補正します。

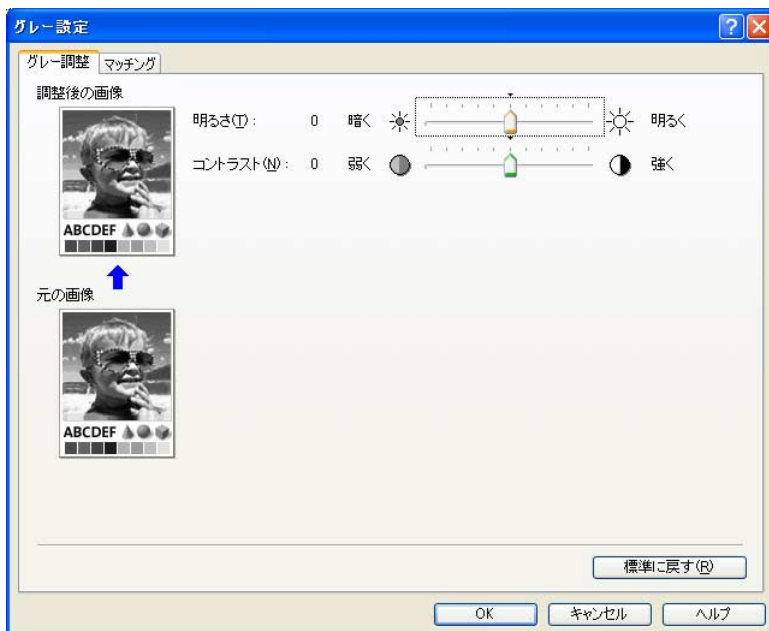
【トナー節約モード】

トナーの消費を抑えるための設定を選択します。([パネル優先]、[使わない]、[使う])

● グレー設定

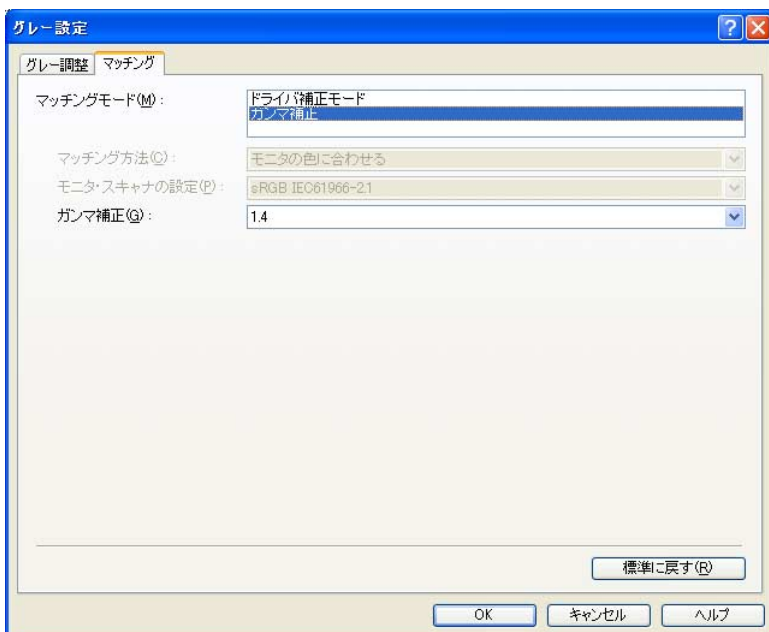
[印刷品質] タブの [グレー設定] をクリックすると、[グレー設定] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、画像の明度とコントラストを調整することができます。この機能は、[印刷品質] タブの [グレーの設定を行う] にチェックが付いているときだけ利用できます。(→ P.2-39) このダイアログボックスには 2 つのタブがあります。

● [グレー調整] タブ



- 【調整後の画像】** 現在選択されている明度とコントラストの値で調整されたサンプルが表示されます。
- 【元の画像】** 調整前の画像が表示されます。
- 【明るさ】** 画像の明度を -5 ～ +5 の範囲内で調整します。
- 【コントラスト】** 画像のコントラスト -5 ～ +5 の範囲内で調整します。
- 【標準に戻す】** 現在の設定を初期設定値に戻します。

● [マッチング] タブ



【 マッチングモード 】 カラーマッチングモード ([ドライバ補正モード] または [ガンマ補正]) を指定します。[ドライバ補正モード] を選択すると、[マッチング方法] および [モニタ・スキャナの設定] が利用可能となります。[ガンマ補正] を選択すると、[ガンマ補正] が利用可能となります。

【 マッチング方法 】 マッチング方法を選択します。

【 モニタ・スキャナの設定 】

お使いのモニタまたはスキャナに適した設定を選択します。

【 ガンマ補正 】 ガンマ補正係数を指定します。

【 標準に戻す 】 現在の設定を初期設定値に戻します。

■お気に入り

[ページ設定]、[仕上げ]、および [印刷品質] タブの設定を組み合わせ登録したものを「お気に入り」と呼んでいます。各タブのお気に入り機能を使用すると、お気に入りの追加、編集、選択ができるため、印刷ジョブが簡単に設定できます。

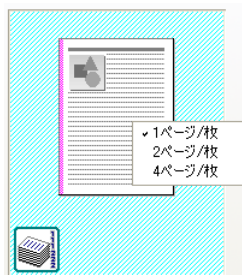


【お気に入り】

適用するお気に入りを選択します。

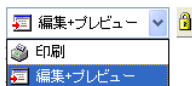
プレビュー画像

現在選択されている設定を反映した画像が表示されます。プレビュー画像内の任意の場所をクリックするたびに、[ページレイアウト] の設定値が変わります (→ P.2-33)。設定値は、[1 ページ/枚 (標準)] → [2 ページ/枚] → [4 ページ/枚] → [1 ページ/枚 (標準)]... の順に変わります。プレビュー画像を右クリックするとポップアップメニューが表示され、そのメニューから [ページレイアウト] の設定を変更することもできます。ページのプレビュー画像の端をクリックすると、とじる向きが変わります。



【出力方法】

印刷ジョブを [印刷] と [編集+プレビュー] の間で切り替えます。



【印刷】 通常の印刷ジョブを実行します。

【編集+プレビュー】

[Canon Page Composer] ダイアログボックスのデータを保存します。[プリンタ] フォルダから [Canon MF3110 印刷設定] を表示し、[編集+プレビュー] モードを選択すると、[] (ロック) ボタンが右側に表示されます。このボタンをクリックすると、[編集+プレビュー] モードがロックされます。



（お気に入りの追加）

[お気に入りの追加] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-44)



（お気に入りの編集）

[お気に入りの編集] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-45)

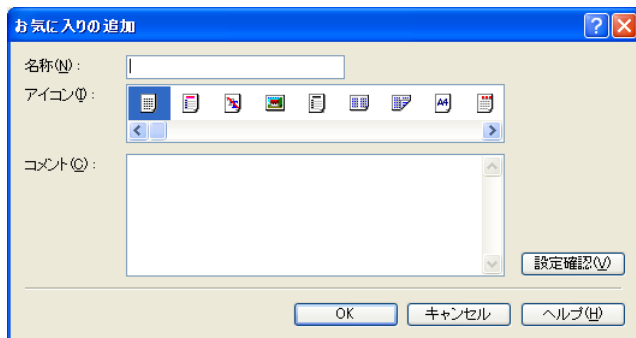
【設定確認】

[設定確認] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-46)

● お気に入りの追加



（お気に入りの追加）をクリックすると、[お気に入りの追加] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、現在の設定で新しいお気に入りを登録できます。追加できるお気に入りは最大 50 個です。



【名称】 登録するお気に入りの名前を指定します。

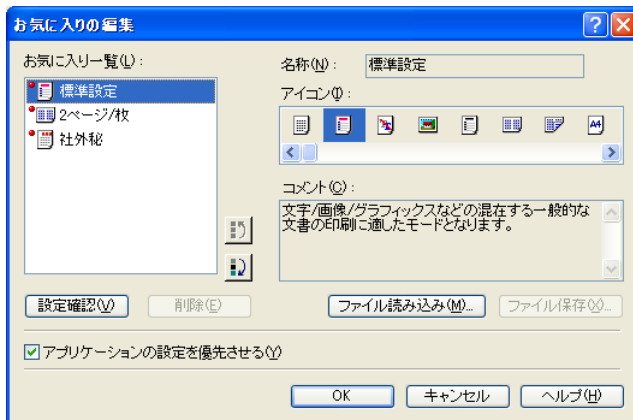
【アイコン】 登録するお気に入りを表すアイコンを選択します。

【コメント】 登録するお気に入りのコメントを追加します。

【設定確認】 [設定確認] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-46)

● お気に入りの編集

 (お気に入りの編集) をクリックすると、[お気に入りの編集] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、[お気に入り一覧] で選択したお気に入りを編集できます。



【お気に入り一覧】 登録されているお気に入りが一覧表示されます。

【設定確認】 [設定確認] ダイアログボックスを表示します。(→ P.2-46)



[お気に入り一覧] で選択したお気に入りを 1 つ上へ移動します。



[お気に入り一覧] で選択したお気に入りを 1 つ下へ移動します。

【削除】 [お気に入り一覧] で選択したお気に入りを削除します。



はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、または [Canon MF3110 のプロパティ] ダイアログボックスの [お気に入り] タブで定義したお気に入りを選択している場合、削除することはできません。

【名称】 現在選択されているお気に入りの名前が表示されます。お気に入りの名称の変更も可能です。



はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、または [Canon MF3110 のプロパティ] ダイアログボックスの [お気に入り] タブで定義したお気に入りを選択している場合、名称は変更できません。

【アイコン】 現在選択されているお気に入りのアイコンが表示されます。アイコンの変更も可能です。



はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、または [Canon MF3110 のプロパティ] ダイアログボックスの [お気に入り] タブで定義したお気に入りを選択している場合、アイコンは変更できません。

【コメント】

現在選択されているお気に入りのコメントが表示されます。コメントの変更も可能です。



はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、または [Canon MF3110 のプロパティ] ダイアログボックスの [お気に入り] タブで定義したお気に入りを選択している場合、コメントは変更できません。

【ファイル読み込み】 お気に入り情報をファイルから読み込むことができます。

【ファイル保存】 選択したお気に入り情報をファイルに保存できます。



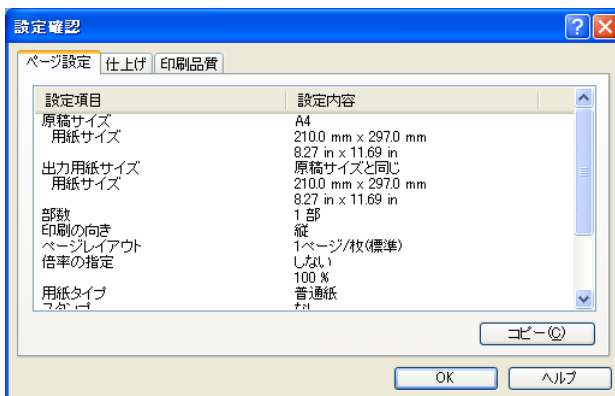
はじめから定義されているお気に入りを選択している場合、保存できません。

【アプリケーションの設定を優先させる】

選択したお気に入りを [用紙サイズ]、[印刷の向き]、および [部数] 以外の設定に適用します。

● 設定確認

[設定確認] をクリックすると、[設定確認] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスには、[ページ設定]、[仕上げ]、および [印刷品質] タブの現在の設定が表示されます。

**【コピー】**

現在の設定内容をクリップボードにコピーします。

本機をネットワーク上で使用する

この章では、Canon Satera MF3110 をネットワーク上で使用方法について説明します。

本機をネットワーク上の共有プリンタとして設定することによって、複数のコンピュータで本機を印刷用に共有して使用することができます。プリントサーバとクライアントは、同じオペレーティングシステムを使用する必要はなく、また Windows 98/Me クライアントから Windows 2000/XP プリントサーバへ印刷したり、またはその逆へ印刷したりするなど異なった環境のコンピュータでも利用できます。

クライアントの起動時にサーバが動作していない場合でも、サーバを起動するだけで印刷を開始することができます。

サーバが Windows 2000/XP 上で動作している場合は、サーバにログインしているユーザがいなくても印刷できます。

2

印刷

本機を共有プリンタとして設定する

ネットワーク上で Canon Satera MF3110 を共有する場合は、プリントサーバをそれぞれにインストールしてから、次の設定を行います。詳細は、プリントサーバシステムのマニュアルを参照してください。

■ Windows 2000/XP でのサーバの設定

ここでは、Windows 2000/XP でネットワークを使って本機を共有できるようにする手順を説明します。

● サーバサービスを追加する (Windows XP)

1 Windows タスクバーの [スタート] をクリックして、[コントロールパネル] を選択します。

[コントロールパネル] フォルダが表示されます。

2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックします。

[ネットワークとインターネット接続] フォルダが表示されます。

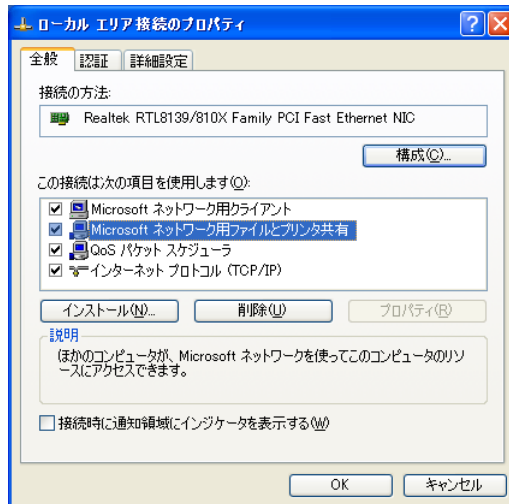
3 [インターネット接続] をクリックします。

[インターネット接続] フォルダが表示されます。

- 4 [ローカルエリア接続]アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択します。

[ローカルエリア接続プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

- 5 [Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有] にチェックを付け、[OK] をクリックします。



サーバサービスが追加されます。

● サーバサービスを追加する (Windows 2000)

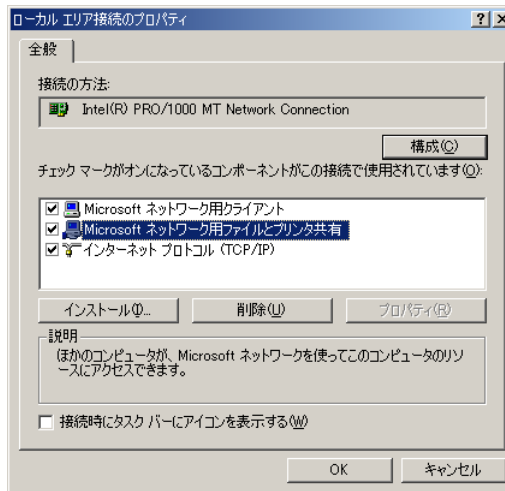
- 1 Windows タスクバーの [スタート] をクリックして、[設定] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] を選択します。

[ネットワークとダイヤルアップ接続] フォルダが表示されます。

- 2 [ローカルエリア接続]アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択します。

[ローカルエリア接続のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

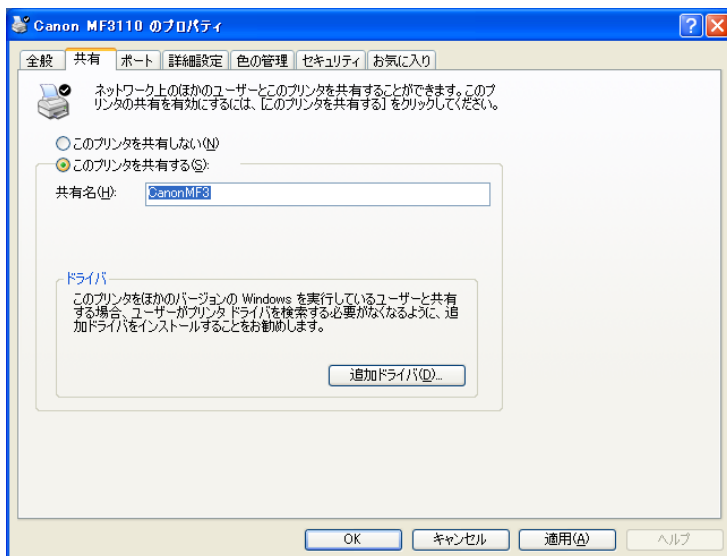
3 [Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有] にチェックを付け、[OK] をクリックします。



サーバサービスが追加されます。

● プリンタの共有を設定する

- 1 [Canon MF3110 のプロパティ] ダイアログボックスを表示し、[共有] タブの [このプリンタを共有する] (Windows 2000 では [共有する]) を選択します。



 **メモ** [Canon MF3110 のプロパティ] ダイアログボックスを表示する方法については、「印刷の設定を変更する」(→ P.2-3) を参照してください。

- 2 必要に応じて、共有名を入力します。

 **メモ** [共有名] には、スペースまたは特殊文字を入力しないでください。

- 3 [OK] をクリックします。

プリンタドライバアイコンが共有を表すアイコンに変わります。

 **メモ** 共有の設定はインストール中も行えます。

■ Windows 98/Me でのサーバ設定

ここでは、Windows 98/Me でネットワークを使って本機を共有できるようにする手順を説明します。

表示画面は、Windows 98 の場合です。

● サーバサービスを追加する

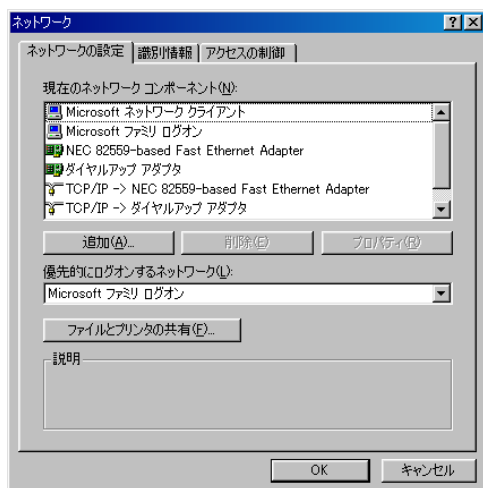
1 Windows タスクバーの [スタート] をクリックして、[設定] → [コントロールパネル] を選択します。

[コントロールパネル] フォルダが表示されます。

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

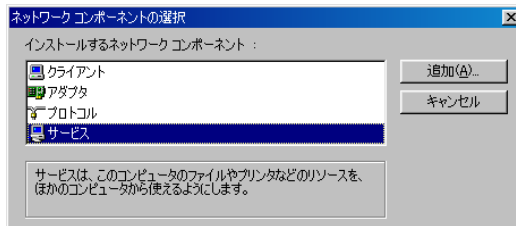
[ネットワーク] ダイアログボックスが表示されます。

3 [ネットワークの設定] タブで [追加] をクリックします。



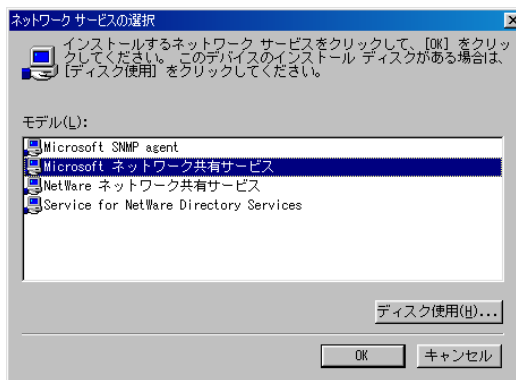
ネットワークコンポーネントの選択ダイアログボックスが表示されます。

4 [サービス] を選択し、[追加] をクリックします。

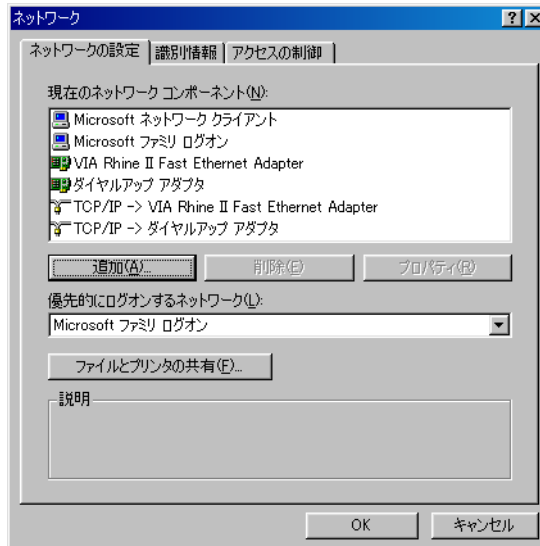


[ネットワークサービスの選択] ダイアログボックスが表示されます。

5 [Microsoft ネットワーク共有サービス] を選択し、[OK] をクリックします。

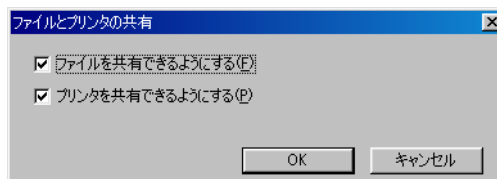


6 [ファイルとプリンタの共有] をクリックします。

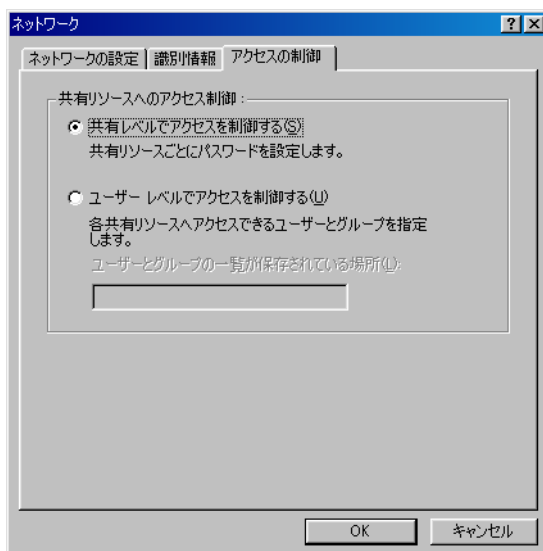


[ファイルとプリンタの共有] ダイアログボックスが表示されます。

7 [プリンタを共有できるようにする] にチェックを付け、[OK] をクリックします。



- 8 [アクセス制御]タブを選択し、[共有レベルでアクセスを制御する]または[ユーザーレベルでアクセスを制御する]にチェックを付けます。



- 9 [OK] をクリックします。

サーバサービスが追加されます。

確認メッセージダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックしてコンピュータを再起動してください。

ネットワーク上で共有プリンタを使用する

Satera MF3110 機がすでにネットワーク上にあり、共有プリンタとして設定されている場合は、ネットワーク経由で使用できます。お使いのコンピュータから本機を利用できるようにするには、ネットワークダウンロードを使用する方法が最も簡単です。ただし、お使いのオペレーティングシステムが Windows 2000/XP の場合は、Windows 98/Me サーバからドライバをダウンロードできません。その場合は、[プリンタの追加ウィザード] を使用してください。

■ネットワークダウンロード

ここでは、ネットワークダウンロードを使ってネットワーク上の共有プリンタに接続する手順を説明します。



Windows 2000/XP クライアントは、Windows 98/Me サーバからドライバをダウンロードできません。

1 エクスプローラを開いて、共有プリンタのアイコンが見つかるまでネットワークを検索します。

2 目的のプリンタアイコンをダブルクリックするか、そのプリンタアイコンを [プリンタと FAX] (Windows 98/Me/2000 の場合は [プリンタ]) フォルダへドラッグします。

[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

3 画面の指示に従ってインストールします。

■ プリンタウィザードの追加 (Windows 2000/XP)

ここでは、Windows 2000/XP を使ってネットワーク上の共有プリンタに接続する手順を説明します。



重要

Windows 2000/XP でのインストールは、必ず管理者権限を持つユーザによって行ってください。

1 [プリンタと FAX] (Windows 2000 の場合は、[プリンタ]) フォルダを開きます。

Windows のタスクバーの [スタート] をクリックし、[プリンタと FAX] (Windows 2000 の場合は、[スタート] → [設定] → [プリンタ]) を選択します。

2 [プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスを表示します。

[プリンタのタスク] にある [プリンタのインストール] をクリックします (Windows 2000 の場合は、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします)。

3 [次へ] をクリックします。

4 [ネットワークプリンタ、またはほかのプリンタに接続されているプリンタ] (Windows 2000 の場合は、[ネットワークプリンタ]) を選択し、[次へ] をクリックします。

[プリンタの指定] (Windows 2000 の場合は、[プリンタの検索]) ダイアログボックスが表示されます。

- 5 [指定したプリンタに接続する (プリンタを参照するにはこのオプションを選択して [次へ] をクリック)] (Windows 2000 の場合は、[プリンタの名前を入力するか [次へ] をクリックしてプリンタを参照します]) を選択 → 接続先のプリンタの名前を入力し、[次へ] をクリックします。

プリンタの名前がわからない場合は、名前を入力しないで [次へ] をクリックし、[プリンタの参照] ダイアログボックスへ進みます。ダイアログボックスで、一覧からプリンタを選択して、[OK] をクリックします。

**メモ**

- プリンタ名が無効になる場合は、クライアントは共有プリンタへ接続できません。
- 適切なドライバが見つからない場合は、サーバが Windows 98/Me コンピュータである可能性があります。

6 画面の指示に従ってインストールします。

■プリンタウィザードの追加 (Windows 98/Me)

ここでは、Windows 98/Me の [プリンタの追加ウィザード] を使ってネットワーク上の共有プリンタに接続する手順を説明します。

表示画面は、Windows 98 の場合です。

- 1 Windows のタスクバーの [スタート] をクリックし、[設定] → [プリンタ] を選択します。

[プリンタ] フォルダが表示されます。

- 2 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

- 3 [次へ] をクリックします。

- 4 [ネットワークプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

- 5 接続先のネットワークパスまたはプリントキューを入力するか、共有プリンタの場所を選択します。

● 場所を直接入力する場合

- ☐ パス名またはプリントキューを入力します。

● 場所を選択する場合

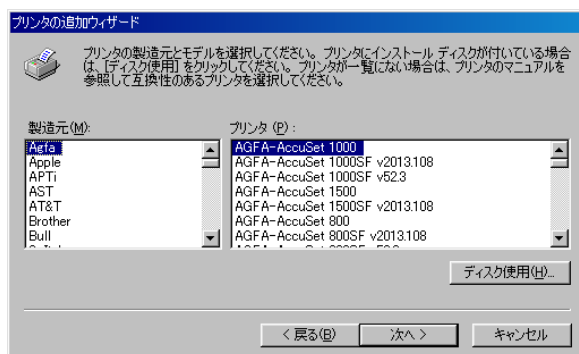
- ☐ [参照] をクリックします。
- ☐ プリンタの場所を選択し、[OK] をクリックします。



ネットワーク環境によっては、ドライバのインストールが自動的に実行される場合があります。その場合、次の手順 7 ～ 10 は不要です。

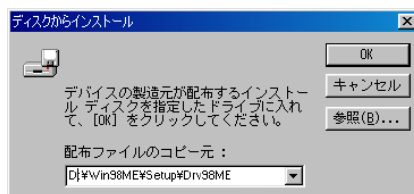
6 [次へ] をクリックします。

7 [ディスク使用] をクリックします。



[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。

8 プリントドライバが存在する場所を選択します。



● 初期設定の場所を指定する場合

- ☐ 手順 9 に進みます。

● 場所を変更する場合

- ☐ [参照] をクリックします。
- ☐ プリントドライバが存在する場所を選択し、[OK] をクリックします。
編集ボックスにパス名を直接入力することもできます。

9 [OK] をクリックします。

10

使用するプリンタ名を入力し、[次へ]をクリックします。

標準のプリンタ名を使用する場合は、編集ボックスはそのままの状態で、[次へ]をクリックします。

**メモ**

接続に失敗した場合、プリンタのインストールは可能ですが、正しくネットワーク接続されるまでプリンタを使用することはできません。

11

画面の指示に従ってインストールします。

スキャンする

この章では、原稿をコンピュータにスキャンする方法を説明します。

本機の [スタート] ボタンでスキャンする

本機の操作盤の [スキャン] → [スタート] ボタンを押すことによって、原稿をコンピュータにスキャンすることができます。

[スキャン] → [スタート] ボタンを押す操作は、MF Toolbox の [保存] をクリックすることと同じ効果があります。

[保存] の設定を変更することができ、また [保存] 以外のボタンに同じ機能を実行するように設定することができます。(→ [スタート] 用にスキャン機能を設定する：P.3-2)

1 原稿を読み取る面を下向きにして原稿台ガラスに置きます。

2 本機の [スキャン] → [スタート] ボタンを押します。

開始するためのプログラムの選択を促された場合は、「MF Toolbox Ver4.7」を選択してください。

スキャンが開始します。

MF Toolbox および [保存] ダイアログボックスが表示されますが、原稿は [保存] ダイアログボックスの [スタート] を押さなくてもスキャンされます。

スキャンした原稿は、設定に従って処理されます。

初めて [スタート] を使用したときは、スキャンした日付の名前のフォルダが [マイ ドキュメント] フォルダ内の [マイ ピクチャ] フォルダに作成され、スキャンした原稿はこのフォルダに保存されます。[マイ ピクチャ] フォルダが存在しない場合は、スキャンした日付の名前のフォルダが [マイ ドキュメント] フォルダ内に作成され、スキャンした原稿はこのフォルダに保存されます。

[スタート]用にスキャン機能を設定する

本機の [スタート] ボタンを使用して初めてスキャンするときは、MF Toolbox の [保存] をクリックしたときと同じ方法でスキャンが実行されます。

[保存] とは異なった方法で動作するように [スタート] を設定する

- 1 デスクトップ上で、[Canon MF Toolbox 4.7] をダブルクリックします。

または、[スタート] → [プログラム] → [Canon] → [MF Toolbox 4.7] → [Toolbox 4.7] をクリックします。MF Toolbox が表示されます。



- 2 ◇マークを選択したいボタンの上までドラッグします。

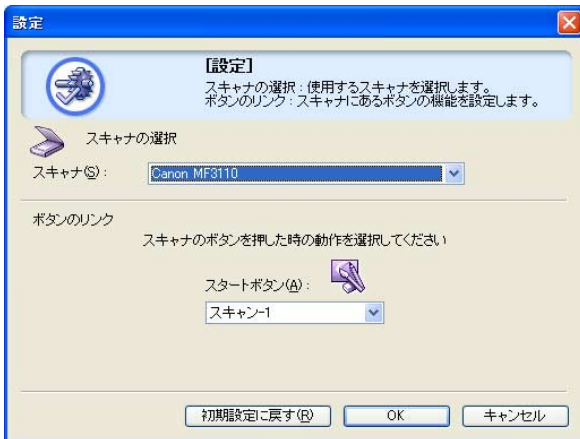


◇マークが選択したボタンの上に表示されます。



[設定] ダイアログボックスの [スタート] を設定する

MF Toolbox で、[設定] をクリックします。[設定] ダイアログボックス内の [スタートボタン] エリアで、[スタート] を割り当てたいボタンを選択し、[OK] をクリックします。



また、[スキャナとカメラ] フォルダで [スタート] を設定することもできます。(→ P.3-3)

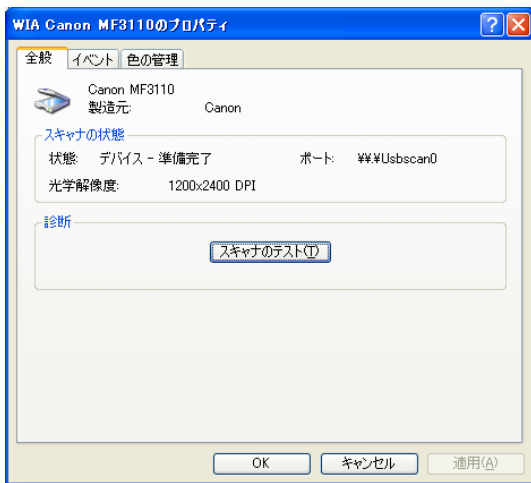
[スキャナとカメラ] フォルダで [スタート] を設定する (Windows 2000 の場合は、[スキャナとカメラ プロパティ] ダイアログボックス)

1 [スキャナとカメラ] フォルダを開きます (Windows 2000 の場合は、[スキャナとカメラ プロパティ] ダイアログボックス)

[スタート] をクリックし、[コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア] → [スキャナとカメラ] を選択します (Windows 98/Me/2000 の場合は、[設定] → [コントロールパネル] → [スキャナとカメラ] アイコンをダブルクリックします)。

2 該当するスキャナドライバ名またはアイコンをクリックします。

- 3 [ファイル]メニューから、[プロパティ]をクリックします。(Windows 98/Me/2000の場合は、[プロパティ]をクリックします。)



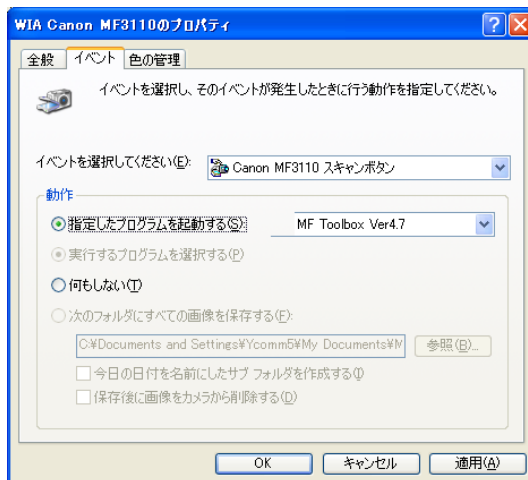
3

スキャンする

4 [スタート]のための動作を指定します。

● Windows XP の場合：

- [イベント]タブを選択 → [イベントを選択してください]プルダウンリストの [Canon MF3110 スキャンボタン] を選択 → [動作] エリアの [スタート]のための動作を選択 → [OK] をクリックします。



● Windows 98/Me/2000 の場合：

- [イベント]タブを選択 → [スキャナ イベント] プルダウンリストの [Canon MF3110 スキャナボタン] を選択 → [次のアプリケーションに送る] エリアで [スタート]のための動作を選択 → [OK] をクリックします。



[スキャナプロパティ] ダイアログボックスで指定した設定がただちに作動しない場合は、USB ケーブルを抜き差しするか、コンピュータを再起動させてください。

MF Toolbox を使ってスキャンする

MF Toolbox のボタンを使用して原稿をスキャンできます。

1 原稿を読み取る面を下向きにして原稿台ガラスに置きます。

2 デスクトップ上で、[Canon MF Toolbox 4.7] をダブルクリックします。

または、[スタート] → [(すべて)のプログラム] → [Canon] → [MF Toolbox 4.7] → [Toolbox 4.7] をクリックします。MF Toolboxが表示されます。



[MF Toolbox] ボタン

3 次のスキャンボタンのいずれかをクリックします。

- [メール]** 原稿がスキャンされ、EメールアプリケーションのEメールメッセージに添付されます。
- [OCR]** テキストがスキャンされ、OCRソフトウェアによって読まれます。
- [保存]** 原稿がスキャンされ、保存されます。
- [PDF]** テキストがスキャンされ、PDFファイルとして保存されます。
- [スキャン-1]、[スキャン-2]**

テキストがスキャンされ、登録しているアプリケーションに表示されます。ボタン名称上に新しい名前を直接入力してボタン名称を変更することができます。名前は、最大8文字の長さまで可能です。

各ボタンのダイアログボックスが表示されます。



例：[メール]
ダイアログ
ボックス

4 設定を調整します。

詳細は、「MF Toolbox の設定」(→ P.3-9) を参照してください。

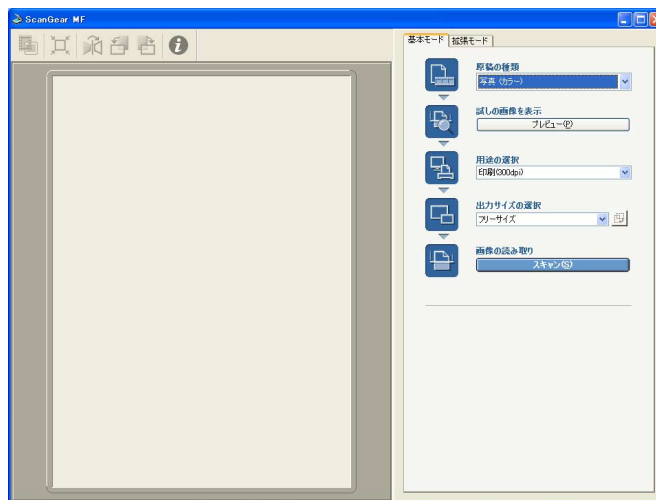
[メール]、[保存]、または [PDF] 以外のボタンをクリックし、[スキャン画像の保存先] にアプリケーションが表示されない場合は、アプリケーションを選択してください。

今後も同じ設定を保持したい場合は、[スタート] をクリックする前に [適用] をクリックします。

5 [スタート] をクリックします。

手順 4 で、[スキャナドライバで詳細な設定を行う] にチェックを付けた場合は、[ScanGear MF] ダイアログボックスが表示されます。

設定を調整し、[スキャン]をクリックします。



[ScanGear MF]
ダイアログ
ボックス

詳細は、「ScanGear MF でスキャン設定およびスキャンする」(→ P.3-16) を参照してください。

スキャンが開始します。

手順 3 で、[メール]、[保存]、または [PDF] をクリックした場合、スキャンした日付の名前のフォルダが [マイ ドキュメント] フォルダ内の [マイ ピクチャ] フォルダに作成され、スキャンした原稿はこのフォルダに保存されます。[マイ ピクチャ] フォルダが存在しない場合は、スキャンした日付の名前のフォルダが [マイ ドキュメント] フォルダ内に作成され、スキャンした原稿はこのフォルダに保存されます。

手順 3 で、[メール]、[OCR]、[PDF]、[スキャン-1]、または [スキャン-2] をクリックした場合、スキャン後スキャン画像がアプリケーションに表示されます。E メールメッセージを送信するか、OCR 変換を行います。(MF3110 セットアップ CD-ROM に収容されているアプリケーションをインストールしていない場合、または [スキャン画像の保存先] を設定していない場合は、スキャン画像は表示されません。)

MF3110 セットアップ CD-ROM に収容されているアプリケーションをインストールすると、MF Toolbox のボタンに登録されます。

[OCR] e.Typist エントリー

[PDF] やさしくファイリングエントリー



メモ

スキャン画像の一端に白線が表示された場合、原稿が原稿台ガラスに正しく置かれているかどうか確認してください。原稿は、原稿台ガラスの正面の縁 (コントロールパネルに近い側の縁) から約 3mm 内側に置いてください。



例：[メール] ダイアログ
ボックス

スキャナの設定

スキャンモード、読み取り解像度、原稿サイズおよびスキャンした画像のファイルサイズを指定することができます。また、ScanGear MF を使用して詳細設定を行うこともできます。

■ [原稿の入力部]

この設定は、本機では利用できません。([原稿台ガラス] が自動的に選択されます。)

■ [スキャンモード]

原稿をスキャンする方法を選択します。選択できる画像タイプは、MF Toolbox のどのボタンを押したかによって異なります。

[白黒] 白と黒の画像として原稿をスキャンします。

[グレースケール] グレースケール画像 (白黒写真のような画像) として原稿をスキャンします。

[カラー] カラー画像として原稿をスキャンします。

[カラー (雑誌、カタログ)]

[モアレ低減] 機能をオンに設定してカラー画像として原稿をスキャンします。[モアレ低減] 機能は、印刷物をスキャンするときが発生することがある縞のような模様 (モアレ) をできる限り少なくする機能です。この機能を使用すると、原稿のスキャンにかかる時間が長くなります。

■[原稿サイズ]

スキャンする原稿のサイズを選択します。

数値を入力して幅と高さを指定したい場合は、[カスタム] を選択して [原稿サイズの設定] ダイアログボックスを表示させます。[単位] を選択し、[幅] と [高さ] を入力して、[OK] をクリックします。

■[添付ファイルサイズの上限]

送信する画像 (圧縮後) のおおよその上限値を選択します。(画像によっては、圧縮後のファイルサイズが設定した値よりも大きくなる場合があります。)

通常のメールメッセージでは、[150K バイト] のファイルサイズを推奨します。

[ファイルの種類] で [PDF] を選択した場合は、この項目を選択することはできません。

■[出力解像度]

スキャン品質 (解像度) を選択します。

[メール] ボタンを使ってスキャンすると、選択できる解像度は、[添付ファイルサイズの上限] の設定によって変わります。

■[スキャナドライバで詳細な設定を行う]

この項目をチェックして、[スタート] をクリックすると、ScanGear MF ダイアログボックスが表示され、スキャンの詳細な設定を行うことができます。

このチェックボックスにチェックを入れない場合、表示されている設定でただちにスキャンが開始します。

[OCR] ボタンを使ってスキャンするときは、この項目は利用できません。

スキャン画像の保存先

スキャンした画像を保存するためのファイル名、ファイル形式、および保存先を指定できます。ファイル形式として [PDF] を選択すると、PDF ファイルの詳細な設定を行うこともできます。

■[ファイル名]

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

同じ名前でも別のファイルを保存しようとする、ファイル名の後に 0001 から始まる 4 桁の番号が付加されます。

■ [ファイルの種類]

[BMP]	ビットマップ形式。
[JPEG]	JPEG 形式。グレースケールまたはカラー画像の場合だけ選択します。
[TIFF]	TIFF 形式。
[PDF]	PDF 形式。[PDF 設定] で詳細な設定を行うことができます。[PDF 設定] ダイアログボックスに関する詳細は、「複数のページから 1 つの PDF ファイルを作成する」(→ P.3-14) を参照してください。

各ボタンで保存できるファイルの種類は、次のとおりです。

	BMP	JPEG	TIFF	PDF
[メール]	－	○	－	○
[OCR]	○	－	○	－
[保存]	○	○	○	○
[PDF]	－	－	－	○
[スキャン-1]、 [スキャン-2]	○	○	○	－

[ファイルの種類] として [PDF] を選択すると、拡張モードの出力設定によっては画像サイズが大きすぎる旨のエラーメッセージが表示されることあります。その場合は、[出力設定] の [出力サイズ] および／または [出力解像度] を下げてスキャンした画像ファイルの [データサイズ] を小さくしてください。

[ファイルの種類] として [JPEG] を選択し、ScanGear MF 基本モードの [新聞 (白黒)] または ScanGear MF 拡張モードの [白黒] を選択した場合は、原稿はグレースケールで保存されます。

スキャンした画像の保存先を変更する場合は、[参照] をクリックして、フォルダを選択し、[OK] をクリックします。

初めてスキャンしたときは、スキャンした日付の名前のフォルダが [マイ ドキュメント] フォルダ内の [マイ ピクチャ] フォルダに作成され、スキャンした原稿はこのフォルダに保存されます。[マイ ピクチャ] フォルダが存在しない場合は、スキャンした日付の名前のフォルダが [マイ ドキュメント] フォルダ内に作成され、スキャンした原稿はこのフォルダに保存されます。

■ [画像を今日の日付のサブフォルダに入れる]

指定の場所に今日の日付 (例えば、2004-12-31) が付いたフォルダを作成し、スキャンした画像をこのフォルダに保存する場合は、このチェックボックスにチェックを入れます。

スキャン画像の渡し先

スキャンした画像を表示するために使用するアプリケーションを指定することができます。名前が表示されない、またはアプリケーションを変更したい場合は、[設定] をクリックして、使用したいアプリケーションを選択し、[OK] をクリックします。

使用したいアプリケーションの名前が [メール] ボタンでは表示されない場合、[なし (手動で添付)] を選択します。この場合、アプリケーションの画像ファイルを開いて、手動でファイルを添付する必要があります。

ソフトウェアは、Outlook Express, Microsoft Outlook, EUDORA および Netscape Messenger などの E メールソフトと互換性があります。

アプリケーションを選択したくない場合は、[リンクの削除] をクリックします ([OCR]、[PDF]、および [スキャン -1]、[スキャン -2] ボタンのみに可能)。確認を求められたら、[はい] をクリックします。

スキャン画像の確認および Exif 設定 (スキャン画像の確認)

スキャンした画像をサムネイル画像としてプレビューすることができ、またファイルの種類やその保存先を指定できます。[OCR] ボタンでスキャンしたときはこの機能を使用することができず、また [PDF] ボタンの場合はスキャンした画像の確認だけが可能です。

[スキャン画像の確認と Exif 情報の入力] ([PDF] ボタンの場合は、[スキャン画像を確認する]) にチェックを付け、[スタート] をクリックします。スキャンが完了したとき、スキャンした画像のサムネイル画像が表示されます。サムネイル画像を確認し、ファイルの種類および保存先を指定して、[保存] または [転送] を押します。

【 スキャン画像の保存先 】

スキャンした画像の保存先を指定します。

【 ファイルの種類 】

スキャンした画像を保存するファイルの種類を指定します。[JPEG/EXIF]、[BMP]、[TIFF]、または [PDF] から選択できます。使用できるファイルの種類は、[スキャン画像の保存先] の [ファイルの種類] に記載されているそれと同じです。[JPEG/EXIF] を選択した場合、[Exif 設定] ダイアログボックスを使用して EXIF 情報を設定することができます (下記「Exif 設定」参照)。[PDF] を選択した場合、[PDF 設定] で詳細設定を行うことができます。(→複数のページから 1 つの PDF ファイルを作成する：P.3-14)

【 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる 】

指定の場所に今日の日付が付いたフォルダを作成し、スキャンした画像をこのフォルダに保存する場合は、この項目をチェックします。

【 追加 】

このボタンを押すと、他の画像をスキャンし、サムネイル画像としてプレビューしてすべてのスキャン画像を一括して保存または転送します。

【 転送 】

このボタンを押すと、スキャンした画像を [スキャン画像の渡し先] 設定で指定したアプリケーションに転送します。[メール] ボタンでスキャンし、[スキャン画像の渡し先] に [なし (手動で添付)] を選択したとき、[転送] を押すと、スキャンした画像を保存するフォルダが開かれます。

【 保存 】

このボタンを押すと、スキャンした画像を指定の場所に保存します。[保存] ボタンでスキャンすると、このボタンが [転送] ボタンの代わりに表示されます。

■ Exif 設定

画像の説明、画像のスキャン日など EXIF 形式での追加情報を JPEG ファイルに付けることができます。プルダウンリストからスキャンした画像を選択して表示し、その画像の情報を追加します。

【基本情報】

スキャンした情報を自動的に表示します。

【拡張情報】

入力した追加情報を表示します。入力したい項目のチェックボックスにチェックを付けて、値を指定し、[適用] をクリックします。



[画像タイトル] と [作者名] には ASCII 文字だけが入力可能です。

【前回設定した入力内容を引き継ぐ】

以前のスキャン動作で指定した同じ値を使用する場合は、このチェックボックスにチェックを付けます。

[OK]

Exif 設定を終了します。

アプリケーションから画像をスキャンする

TWAIN または WIA (Windows XP のみ) 互換アプリケーションから画像をスキャンし、スキャン画像をそのアプリケーションで使うことができます。

操作手順は、アプリケーションによって異なります。以下は一例です。正確な手順については、お使いのアプリケーションのマニュアルを参照してください。

1 原稿を読み取る面を下向きにして原稿台ガラスに置きます。

2 原稿をスキャンするアプリケーションを開きます。

3 スキャンするコマンドを選択します。

通常、[ファイル]メニューから [読み込み] または [画像獲得] などを selects します。

4 使用するスキャナドライバを選択します。

Windows XP では、スキャナドライバとして ScanGear MF または WIA ドライバを使用できます。

ScanGear MF を使用する場合、[Canon MF3110] を selects します。

WIA ドライバを使用する場合、[WIACanon MF3110] を selects します。

5 スキャナ設定を指定し、[スキャン]をクリックします。

詳細は、「ScanGear MF でスキャン設定およびスキャンする」(→ P.3-16) または 「WIA ドライバ」でのスキャン (Windows XP のみ) (→ P.3-39) を参照してください。

スキャンが完了したとき、スキャンした画像がアプリケーションの表示エリアに表示されます。



メモ スキャン画像の一端に白線が表示された場合、原稿が原稿台ガラスに正しく置かれているかどうか確認してください。原稿は、原稿台ガラスの正面の縁 (すなわち、コントロールパネルに近い側の縁) から約 3mm 内側に置いてください。

複数のページから 1 つの PDF ファイルを作成する

複数のページをスキャンして、それを 1 つの PDF ファイルに作成できます。

1 原稿を読み取る面を下向きにして原稿台ガラスに置きます。

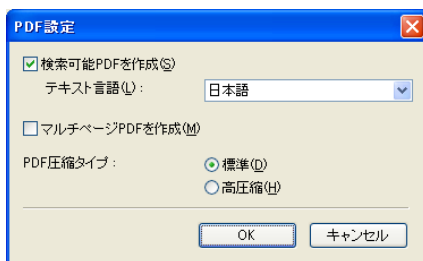
2 デスクトップ上で、[Canon MF Toolbox 4.7] をダブルクリックします。

または、[スタート] → [(すべての) プログラム] → [Canon] → [MF Toolbox 4.7] → [Toolbox 4.7] をクリックします。MF Toolbox が表示されます。

3 [PDF] をクリックします。

必要に応じて、設定を調整します。

4 [PDF 設定] をクリックします。



5 複数ページをスキャンすることによって 1 つの PDF ファイルを作成する場合は、[マルチページ PDF を作成] チェックボックスにチェックを付けます。

6 必要に応じて設定を調整し、[OK] をクリックします。

[検索可能 PDF を作成]

原稿内の文字をテキストデータに変換し、原稿を単純なキーワードで検索できるようにします。ただし、原稿内の文字がすべて正確に認識されるとは限りません。[テキスト言語] で、[日本語] を選択します。[スキャナの設定] の [出力解像度] で、[300 dpi] を選択します。

[PDF 圧縮タイプ]

更に圧縮が必要な写真やイラストなどの画像の場合は、[高圧縮] を選択してファイルサイズを小さくします。

7 [スタート] をクリックします。

手順 3 で [スキャナドライバで詳細な設定を行う] を選択した場合は、[ScanGear MF] ダイアログボックスが表示されます。

設定を調整し、[スキャン] をクリックします。



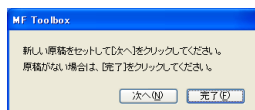
設定については、「ScanGear MF でスキャン設定およびスキャンする」(→ P.3-16) を参照してください。

スキャンが開始します。



スキャン画像の一端に白線が表示された場合、原稿が原稿台ガラスに正しく置かれているかどうか確認してください。原稿は、原稿台ガラスの正面の縁 (すなわち、コントロールパネルに近い側の縁) から約 3mm 内側に置いてください。

原稿台ガラスを使用してスキャンしている場合、各ページをスキャンするたびに次のダイアログボックスが表示されます。



スキャンを続行する場合は、次のページを置いて、[次へ]をクリックします。スキャンが完了したら、[終了]をクリックします。

スキャンした日付の名前のフォルダが[マイ ドキュメント]フォルダ内の[マイ ピクチャ]フォルダに作成され、スキャンした原稿はこのフォルダに保存されます。[マイ ピクチャ]フォルダが存在しない場合は、スキャンした日付の名前のフォルダが[マイ ドキュメント]フォルダ内に作成され、スキャンした原稿はこのフォルダに保存されます。

テキスト原稿または白黒原稿の場合、[画像タイプ]の[白黒]または[グレースケール]を選択することを推奨します。

カラー原稿で複数ページの PDF を作成する場合 ([画質] を [300 dpi] に設定する)、PDF は 20 ページ以下とすることを推奨します。

3

スキャンする

ScanGear MF でスキャン設定およびスキャンする

ScanGear MF では、最終画像がどうスキャンされるかをプレビュー画像 (仮スキャン) で見ることができ、またその画像のサイズや色の詳細な調整を行うことができます。プレビュー画像が満足のいくものであれば、原稿を適切にスキャンできます。

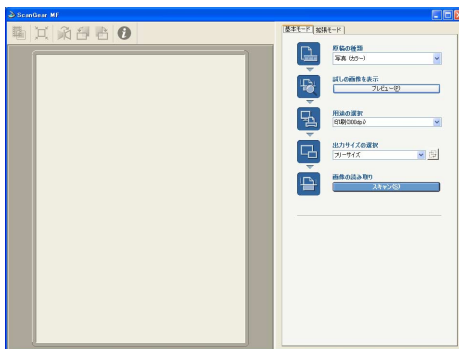
原稿をスキャンする際、ScanGear MF を使って設定を行いたい場合は、スキャンする前に MF Toolbox の [スキャナドライバで詳細な設定を行う] にチェックを付けるか、アプリケーションからスキャンします。

 **メモ** Windows XP のアプリケーションからスキャンしている場合は、スキャンする前に ScanGear MF を選択します。詳細は、「アプリケーションから画像をスキャンする」 (→ P.3-13) を参照してください。

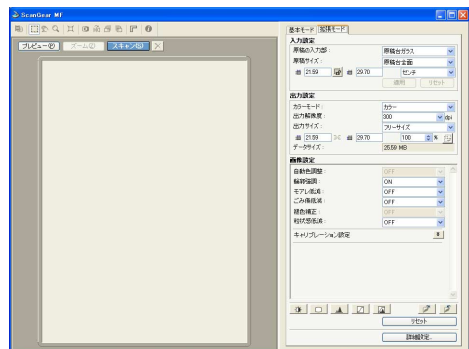
基本モードと拡張モードとを切り替える

ScanGear MF は、[基本モード] と [拡張モード] の 2 つモードをもっています。[拡張モード] では、解像度やコントラストなどの詳細な設定を行うことができます。

2 つのモード間を切り替えるには、該当するタブをクリックします。



[基本モード] ダイアログボックス



[拡張モード] ダイアログボックス

基本モードを使用する



1 原稿を読み取る面を下向きにして原稿台ガラスに置きます。

2 [原稿の種類] で、原稿の種類を選択します。

- | | |
|-------------------|---|
| [写真 (カラー)] | カラー写真をスキャンします。(300 dpi) |
| [雑誌 (カラー)] | カラー雑誌をスキャンします。(モアレ低減機能 ON で、150 dpi) |
| [新聞 (白黒)] | テキストと線画をスキャンします。(白黒、300 dpi) |
| [文書 (グレー)] | カラー画像またはテキストを白黒でスキャンします。特に、高解像度の白黒画像をスキャンするのに適しています。(300 dpi) |



[新聞 (白黒)] 以外の原稿タイプを選択した場合、自動的に色補正が行われます。自動色補正を OFF にするには、拡張モードで [スキャン設定] をクリック → [カラー設定] タブをクリック → [常に自動色調整を実行する] をキャンセルします。

3 プレビュー画像 (試しの画像) で見る場合は、[プレビュー] をクリックします。

原稿のプレビュースキャンが行われ、プレビューウィンドウに表示されます。

4 スキャン画像の目的を選択します。

手順 2 で選択した原稿タイプに合わせて、[印刷 (300dpi)]、[画像表示 (150dpi)]、または [OCR(300dpi)] から選択することができます。

この設定についての詳細は、「解像度を決定する」 (→ P.3-38) を参照してください。

5 手順 4 で選択した目的に合わせてスキャンした画像の出力サイズを選択します。

[追加 / 削除] を選択すると、ユーザ設定の出力サイズを追加または削除することができます。詳細は、「出力サイズを追加 / 削除する」 (→ P.3-19) を参照してください。

出力サイズの向きを切り替えるには  をクリックします。(横または縦)

6 [スキャン] をクリックします。

スキャンが開始します。

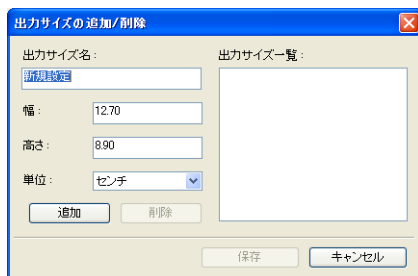


メモ

スキャン画像の一端に白線が表示された場合、原稿が原稿台ガラスに正しく置かれているかどうか確認してください。原稿は、原稿台ガラスの正面の縁 (コントロールパネルに近い側の縁) から約 3mm 内側に置いてください。

■出力サイズを追加／削除する

[基本モード]の[出力サイズ]について[追加／削除]を選択すると、[出力サイズの追加／削除]ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、ユーザー設定の出力サイズを追加または削除することができます。



- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 【出力サイズ名】 | 登録したい出力サイズの名称を指定します。 |
| 【幅】 | 出力サイズの幅を指定します。 |
| 【高さ】 | 出力サイズの高さを指定します。 |
| 【単位】 | 出力サイズの単位を指定します。 |
| 【追加】 | 出力サイズを[出力サイズ一覧]に追加します。 |
| 【削除】 | 選択した出力サイズを出力サイズ一覧から削除します。 |

■基本モードツールバー

基本モードツールバーでは、プレビュー画像に対して調整を行うことができ、また表示する画像部分を選択することもできます。



- | | |
|--|---|
|  | このボタンは、基本モードでは使用できません。 |
|  (オートクロップ) | 画像のスキャン範囲を自動的に決定します。詳細は、「拡張モード - スキャンパラメータを指定する」(→ P.3-22) を参照してください。 |
|  (左右反転) | スキャンした画像の左右を反転させます。 |
|  (左回転) | スキャンした画像を 90 度反時計回りに回転させます。 |
|  (右回転) | スキャンした画像を 90 度時計回りに回転させます。 |
|  (情報) | スキャン情報の一覧を表示します。 |

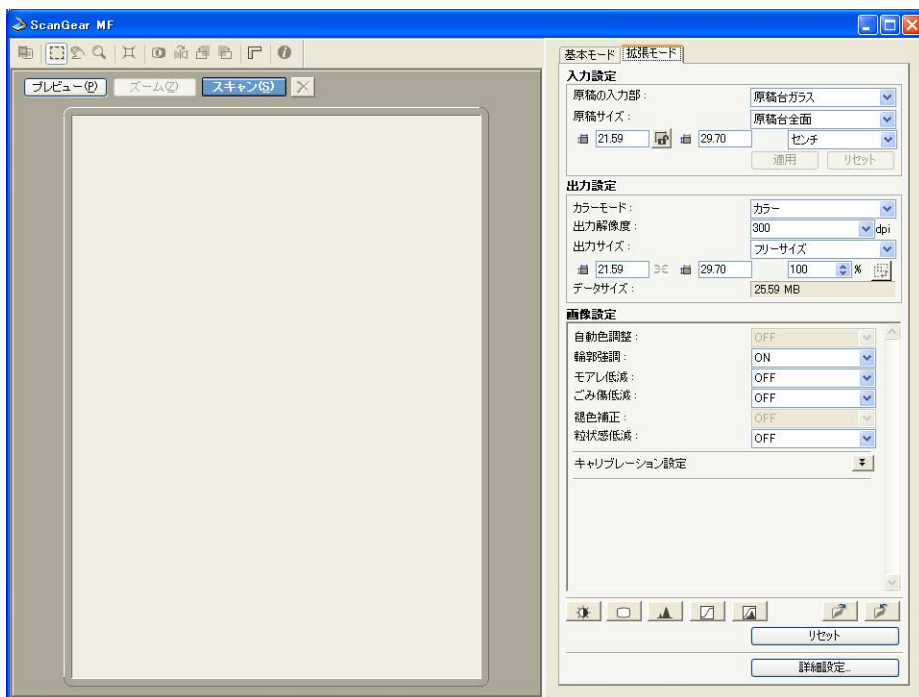
● ツールバーの取り外しおよび移動

ツールバーを ScanGear MF ダイアログボックスから取り外す場合は、ツールバーの端をクリックした状態でドラッグします。ツールバーのタイトルをダブルクリックすると、ツールバーは元の位置に戻ります。

ツールバーをプレビューエリアの左または右側、または枠の下部にドラッグすると、ツールバーはその位置に移動します。

拡張モードを使用する

拡張モードでは、プレビュー画像の明るさやコントラストなどの設定を調整することができます。



- 1 原稿を読み取る面を下向きにして原稿台ガラスに置きます。
- 2 [入力設定]、[出力設定]、および [画像設定] の設定項目を選択し、カラー設定を調整します。
設定についての詳細は、[拡張モード設定] を参照してください。(→ P.3-23)
- 3 [プレビュー] をクリックします。



- プレビューウィンドウ内で範囲を選択して、[ズーム]をクリックすると、選択した画像を再入力して拡大します。拡大された画像が表示されたとき、[ズーム]ボタンは[取り消し]ボタンに変わります。[取り消し]をクリックすると、画像を通常サイズで表示します。
- 表示されたプレビュー画像を削除するには、 をクリックし、確認を求められたら [OK] をクリックします。

4 原稿の一部だけをスキャンしたい場合は、パラメータを指定します。

詳細は、「拡張モード - スキャンパラメータを指定する」(→ P.3-22) を参照してください。

5 [スキャン]をクリックします。

スキャンが開始します。



スキャン画像の一端に白線が表示された場合、原稿が原稿台ガラスに正しく置かれているかどうか確認してください。原稿は、原稿台ガラスの正面の縁 (コントロールパネルに近い側の縁) から約 3mm 内側に置いてください。

■ 拡張モードツールバー

拡張モードツールバーでは、プレビュー画像に対して調整を行うことができ、また表示する画像部分を選択することもできます。



このボタンは、拡張モードでは使用できません。



(クロップ)

スキャンパラメータを指定します。詳細は、「拡張モード - スキャンパラメータを指定する」(→ P.3-22) を参照してください。



(画像移動)

画像を移動します。拡大した画像が画面には大きすぎる場合、ツールバーの をクリックします。次に、見たい部分が表示されるまで画像を画面上でドラッグします。スクロールバーを使って、同様の方法で画像を移動させることができます。



(ズーム)

プレビュー画像を拡大／縮小します。ツールバーのこのボタンをクリックし、画像をクリックすると拡大され、また画像を右クリックすると縮小されます。



(オートクロップ)

画像のスキャン範囲を自動的に決定します。詳細は、「拡張モード - スキャンパラメータを指定する」(→ P.3-22) を参照してください。



(ネガポジ反転)

画像をネガポジ反転させます。



(左右反転)

スキャンした画像の左右を反転させます。



(左回転)

スキャンした画像を 90 度反時計回りに回転させます。



(右回転)

スキャンした画像を 90 度時計回りに回転させます。



(定規)

正確な画像寸法が得られるようプレビューエリア上部および左側に目盛りを表示します。



(情報)

スキャン情報の一覧を表示します。

● ツールバーの取り外しおよび移動

ツールバーを ScanGear MF ダイアログボックスから取り外す場合は、ツールバーの端をクリックした状態でドラッグします。ツールバーのタイトルをダブルクリックすると、ツールバーは元の位置に戻ります。

ツールバーをプレビューエリアの左または右側、または枠の下部にドラッグすると、ツールバーはその位置に移動します。

拡張モード - スキャンパラメータを指定する

画像の一部を選択することによってスキャンパラメータを指定することができます。再びスキャンするときは、指定した画像の一部だけがスキャンされます。

次のいずれかの方法で、スキャンパラメータを指定することができます。

■ スキャンパラメータを自動的に選択する場合

プレビュー後、ツールバーの  をクリックします。このボタンを繰り返しクリックすると、プレビュー画像で検出されたクロップ枠が徐々に狭まります。

■ スキャンパラメータを指定する

1 スキャンパラメータを選択した後も、画像に設定されている現在の幅と高さの比率を維持したい場合は、[入力設定] の  をクリックします。

2 次の内いずれかを実行します。

● ドラッグにより指定する

☐  をクリックします。次に、指定したいパラメータの左上隅をクリックして、そこからパラメータの右下までドラッグします。更に調整する場合は、選択したパラメータの角または縁をドラッグします。

● サイズを指定する

☐  (幅) および  (高さ) に、希望のパラメータ値を入力します。



メモ

手順 1 で  をクリックした場合、 (幅) または  (高さ) を入力すると、もう一方のパラメータは自動的に入力されます。

3 選択したクロップ枠を移動するには、クロップ枠内にマウスポインタを置いて、ドラッグします。

4 画像をプレビューするには、[プレビュー] をクリックします。

設定を削除する場合は、クロップ枠の外側のエリアをクリックします。

拡張モード設定

■入力設定

●【原稿の入力部】

拡張モードでは、この設定は使用できません。([原稿台ガラス]) が自動的に選択されます。)

●【原稿サイズ】

スキャンする原稿のサイズを選択します。プレビューエリアサイズ (高さとの比率) は、選択した原稿サイズに対応して変わります。

プレビューする際、またはスキャンパラメータを指定せずにスキャンする場合、スキャンパラメータを超えてスキャンしないよう、この設定を変更して本機をセットアップしてください。原稿サイズがわからない場合は、[原稿台全面] または [ラージサイズ] を選択します。プレビュー後にパラメータを指定することもできます。プレビュー後に [原稿サイズ] を変更した場合は、プレビュー画像は削除されます。

●入力サイズ

値を入力することによって、スキャンパラメータの幅および高さを指定できます。値を入力後、Enter キーを押すとクロップ枠の大きさが変わります。 をクリックしてアイコンを  に変え、画像の幅と高さの比率を維持します。

●重要

- アプリケーションによっては、受け取ることのできる画像データ量に限度があります。スキャンパラメータ量が 21,000 x 30,000 ピクセル以上の場合、画像は受領されません。
- 入力できる値は、選択した原稿サイズのパラメータ量以内です。

- [出力解像度] を [600]dpi に設定した場合の最小画像パラメータ量は、96 x 96 ピクセルです。

■出力設定

● [カラーモード]

原稿の種類およびスキャンする方法を選択します。

【白黒】 写真およびその他の原稿を白黒プリンタに出力するときに選択します。画像は、白黒で表示されます。画像のコントラストは、あるレベル (スレッシュホールド) で白黒に分けられて、2 色で表示されます。スレッシュホールドは、[ハーフトーン] ボタンで設定できます。

【グレースケール】 白黒写真または白黒画像をスキャンするときに選択します。この画像は、0 ~ 255 スケールの白黒で表現されます。

【カラー】 カラー原稿をスキャンするときに選択します。画像は、256 レベル (8 ビット) の R (赤)、G (緑)、および B (青) で表現されます。

【テキスト (OCR)】 テキストをより明瞭にスキャンするとき、特に OCR ソフトでテキストを処理するときに選択します。画像は白黒で表示されます。原稿はグレースケールでスキャンされてから白黒に変換されるので、[白黒] 設定よりは時間がかかります。

● [出力解像度]

スキャン解像度を選択します。[カラーモード] で [カラー] を選択した場合、25 ~ 2400 dpi (1 dpi 刻み) の解像度をクリックするか入力し、もしくは 4800、7200 または 9600 dpi のいずれかを入力します。[白黒]、[グレースケール] または [テキスト (OCR)] を選択した場合、25 ~ 600 dpi (1 dpi 刻み) の解像度をクリックするか入力します。詳細は、「解像度を決定する」 (→ P.3-38) を参照してください。

● [出力サイズ]

指定したスキャンパラメータの印刷サイズ (出力サイズ) を設定します。

 (幅)、 (高さ) または [%] (スケール) のいずれかに値を入力することによって指定するか、[%] (スケール) 値をクリックします。設定を調整後、他の領域をクリックするか、Enter キーを押します。入力値にリンクした他の値が変わります。これらの設定を変更しても、クロップ枠の大きさおよび [出力解像度] の設定は変わりません。実際にスキャンするときの解像度は、[%] (スケール) に入力した値に対応して変化します。

 (幅) と  (高さ) の比率は、[入力サイズ] の  (幅) と  (高さ) にリンクしています。[%] (スケール) について、25 ~ 3200 (1% 刻み) の間で設定することができます。[出力解像度] に 4800、7200 または 9600 dpi を入力した場合、[%] (スケール) は 100% に固定されます。

出力サイズの向き (縦または横) を切り替える場合は、 をクリックします。このボタンは、[出力サイズ] に [任意] を選択したときは、使用できません。

● [データサイズ]

設定に従ってスキャンした画像のデータサイズを表示します。

■ 画像設定

● [自動色調整]

画像の色合いを自動的に調整する場合は、[ON] に設定します。色調整の結果は、画像を実際にスキャンするとき画像全体に反映されます。プレビュー画像を表示していない場合は、この設定を適用できません。標準設定では、画像をプレビューするとき自動色調整をクロップ枠内の画像に適用します。

自動色調整をしないで画像をプレビューする場合は、[OFF] を選択します。



メモ [褪色補正] を OFF 以外に設定すると、自動色調整は利用できません。

● [輪郭強調]

画像の輪郭を強調してよりシャープにしたい場合、[ON] に設定します。この設定は、標準で選択されます。これは、ソフトフォーカスの写真などをスキャンする場合に効果的です。

● [モアレ低減]

印刷した写真や絵をスキャンするとき [ON] に設定します。標準設定は、[OFF] です。



重要

- [カラーモード]で[白黒]または[テキスト(OCR)]を選択した場合は、[モアレ低減]を[ON]に設定できません。
- [モアレ低減]を[ON]に設定しても、[輪郭強調]も[ON]に設定していればモアレの影響が残る場合があります。この場合、[輪郭強調] を OFF にしてください。
- ScanGear MF ダイアログボックスを表示しないアプリケーションからスキャンするときは、[モアレ低減]を[ON]に設定できません。ScanGear MF を使用せずに MF Toolbox からスキャンする場合、[モアレ低減]を[ON]にするには [画像タイプ]で[カラー(雑誌、カタログ)]を選択します。



メモ

- 印刷した写真や絵は、ファインドットの集まりとして表示されます。モアレ低減なしでスキャンすると、ドットが互いに干渉して画像に濃淡のむらや縞模様が現れます。[モアレ低減]は、このモアレの影響を低減する機能です。
- 基本モードにおいて[原稿の種類]で[雑誌(カラー)]を選択すると、拡張モードで[モアレ低減]を選択した場合と同じ効果があります。

● [ごみ傷低減]

スキャンした写真には、ごみや傷による白いドットが含まれていることがあります。これを設定すれば、写真のごみや傷を低減できます。標準設定は、[OFF] です。

- [OFF]** ごみ傷低減を行いません。
- [弱]** 小さなおみや傷を低減します。この設定では、大きなごみや傷は残ることがあります。
- [標準]** 通常、この設定を推奨します。
- [強]** 大きなごみや傷を低減しますが、低減した痕跡が残ることがあり、また画像の繊細な部分を除去してしまうことがあります。

重要

- 印刷物をスキャンする場合、[OFF] 設定を推奨します。
- [出力解像度] を [600] dpi 以下に設定し、[モアレ低減] を [ON] に設定した場合、[ごみ傷低減] を [ON] に設定することはできません。
- [ごみ傷低減] は、写真の種類によっては効果がありません。

● [褪色補正]

褪色補正機能は、時間と共に褪色した色の品質を補正します。また、鈍い色の原稿の彩度を高めて、あざやかな画像に再生します。標準設定は、[OFF] です。

- [OFF]** 褪色補正は、行いません。
- [弱]** わずかに褪色した画像を補正します。
- [標準]** 通常、この設定を推奨します。
- [強]** 大きく褪色した画像を補正しますが、画像の色調は変わりません。

メモ

- [詳細設定] ダイアログボックスの [色の設定] で [Canon ColorGear] を選択したときは、[褪色補正] は使用できません。
- この設定は、プレビュー画像にも反映します。
- この設定は、[カラーモード] で [カラー] を選択したときに使用できます。
- プレビュー画像を表示していないときは、この設定を適用できません。
- [褪色補正] を [弱]、[標準] または [強] に設定すると、スキャン時間が長くなります。
- スキャン領域が非常に小さいときは、褪色補正は機能しないことがあります。

● [粒状感低減]

粒状感低減機能は、高感度フィルムで撮影された画像のフィルム粒子を滑らかにします。この機能を使うと、色調が滑らかになり、全体の画質が向上します。標準設定は、[OFF] です。

- [OFF]** 粒状感低減は、行いません。
- [弱]** 画像中の粒子が顕著でないとき、この設定を選択します。
- [標準]** 通常、この設定を推奨します。
- [強]** 画像中の粒子が非常に顕著であっても粒子を滑らかにしますが、画像のシャープさやトーン品質を低下させることがあります。



- この設定は、プレビュー画像には反映しません。
- この設定は、[カラーモード]で[カラー]または[グレースケール]を選択したときに使用できます。
- [粒状感低減]を[弱]、[標準]または[強]に設定すると、スキャン時間が長くなります。
- スキャン領域が非常に小さいときは、粒状感低減は機能しないことがあります。

● [キャリブレーション設定]

プレビュー画像の色が原稿の色から変化している場合、スキャナを校正します。校正を行う場合は、を押します。[実行]をクリックすると、校正動作が開始し、スキャンした画像を正しい色合いに調整します。スキャンするたびにスキャナを校正したい場合は、[スキャン毎に毎回実行]を[ON]に設定します。



スキャナを校正している間は、原稿台カバーを開かないでください。

■ 色の調整

色の設定ボタンを使用して、画像全体の明るさやコントラストの調整、ガンマ補正の実施、ハイライトやシャドウの指定、および画像のコントラストやバランスの調整(ヒストグラムやトーンカーブの調整)が可能です。

色の設定ボタンは、[カラーモード]で[カラー]または[グレースケール]を選択すると表示されます。

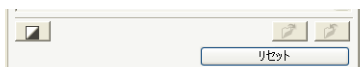
[白黒]モードでは、色の設定ボタンは[白黒設定]ボタンに変わり、また[テキスト(OCR)]モードまたは[Canon ColorGear]を選択したときは色の設定ボタンは表示されません。

色の設定ボタンを使用するとき、行った変更はただちにプレビュー画像またはスキャンに反映されます。

[カラーモード]で[カラー]または[グレースケール]を選択したときの色の設定ボタン



[カラーモード]で[白黒]を選択したときの色の設定ボタン



(保存)

設定をカラー調整ファイルに保存します。
今後の使用のために、色の設定を保存することができます。ファイルの拡張子は、カラーでは".adc"であり、グレースケールでは".adg"です。



(読み込み)

カラー調整ファイルに保存した設定を読み込み、保存した設定で画像をスキャンします。

[リセット]

すべての調整設定を初期設定値に戻します。[マスター]、[赤]、[緑]、[青]およびコントラスト/明るさ、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブに関するすべての設定が中止され、初期設定値に戻されます。自動色調整を行っている画像もその初期値に戻されます。

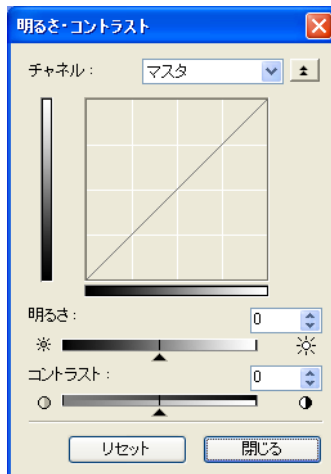
● [明るさ・コントラスト]

 をクリックすると、[明るさ・コントラスト] ダイアログボックスが表示されます。

元原稿の画像が暗すぎる、または明るすぎる場合、あるいは画質がコントラスト不足のため平板である場合、明るさおよびコントラストのレベルを調整します。

[カラーモード] で [カラー] または [グレースケール] を選択したとき、明るさおよびコントラストが調整可能です。

明るさおよびコントラストを図式的に調整するには、 を押します。



【チャンネル】

[赤]、[緑] または [青] を調整する場合は色を選択し、または 3 色を一括して調整する場合は [マスタ] を選択します。

【明るさ】

画像を暗くするにはスライダを左方向に移動させ、また画像を明るくするにはスライダを右方向に移動させます。数値を入力することもできます。(-127 ~ 127)

【コントラスト】

画像のコントラストを下げるにはスライダを左方向に移動させ、また画像のコントラストを上げるにはスライダを右方向に移動させます。数値を入力することもできます。(-127 ~ 127)

【リセット】

現在の設定を初期設定値に戻します。

● [ガンマ]

 をクリックすると、[ガンマ] ダイアログボックスが表示されます。

ガンマは、コンピュータのモニターに表示される画像の明るさを元原稿の明るさに調整できます。標準値は、2.20 です。異なるガンマ値をもつモニターを使用している場合は、この値を変更する必要があります。モニターのガンマ値を設定すると、スキャナのガンマ値が自動的に次に示す公式 (モニターガンマ値の逆数式) に表示されます。

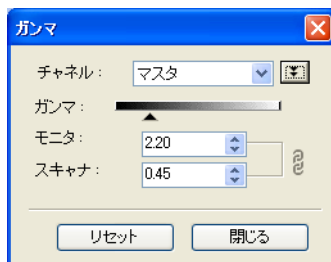
$1 / \text{モニターガンマ値} = \text{スキャナガンマ値}$

[カラーモード] で [カラー] または [グレースケール] を選択したとき、ガンマが調整可能です。

ガンマを図式的に調整するには、 を押します。



- モニターは、色を再現するための特性値 (ガンマ値) をもっています。平均的なモニターのガンマ値は、1.4 と 2.2 との間であり、元原稿よりもやや暗めに色を再現します。逆に、原稿の画像の色とモニターに再現された色の違いを補正するためには、ガンマ値を修正する必要がある場合があります。
- モニターのガンマ値については、お使いのモニターのマニュアルを参照するか、お使いのモニターのメーカーに問い合わせてください。



【チャンネル】

[赤]、[緑] または [青] を調整する場合は色を選択し、または 3 色を一括して調整する場合は [マスタ] を選択します。

【ガンマ】

画像のトーンレンジの中央 (中間トーン) に表示されるコントラストを下げるにはスライダを左方向に移動させ、またコントラストを上げるにはスライダを右方向に移動させます。数値を入力することもできます。(0.10 ~ 10.00)

【リセット】

現在の設定を初期設定値に戻します。

● [ヒストグラム]

 をクリックすると、[ヒストグラム] ダイアログボックスが表示されます。

ヒストグラムで、画像の各明るさレベルでのデータ密度を見ることができます。画像内で一番暗いレベルおよび一番明るいレベルを指定して、レベルをカットし、画像のトーンレンジの中央を拡大することができます。

[カラーモード] で [カラー] または [グレースケール] を選択したとき、ヒストグラムが調整可能です。



[チャンネル] [赤]、[緑] または [青] を調整する場合は色を選択し、または 3 色を一括して調整する場合は [マスタ] を選択します。

[リセット] 現在の設定を初期設定値に戻します。

1 暗点 (シャドーレベル)、中間点 (中間調レベル)、または明点 (ハイライトレベル) を変更するには、次のいずれかを実行します。

- ☐  (暗点スポイト) をクリックし、プレビュー画像内の 1 点をクリックして一番暗い点を指定します。
数値を入力することもできます。(0 ～ 245)
- ☐  (中間点スポイト) をクリックし、プレビュー画像内の 1 点をクリックして中間点を指定します。
数値を入力することもできます。(5 ～ 250)
- ☐  (明点スポイト) をクリックし、プレビュー画像内の 1 点をクリックしてハイライト点を指定します。
数値を入力することもできます。(10 ～ 255)

- ヒストグラムの下部にある三角形を適当なレベルまでドラッグします。
- ▲ (の左側の領域 ([シャドーレベル] で指定した値よりも暗い部分) が、黒になります。
- ▲ (の領域 ([中間調レベル] で指定した部分) が、正確に暗点と明点の間の色に変わります。
- △ (の右側の領域 ([ハイライトレベル] で指定した値よりも明るい部分) が、白になります。

2 カラー画像を調整するときは、 (グレーバランススポイト) をクリックし、プレビュー画像内の 1 点をクリックしてグレーバランス調整を実行する点を指定します。

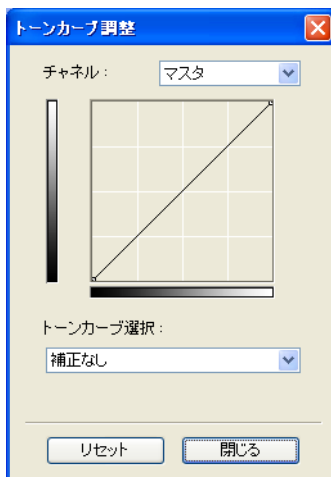
グレーバランス調整によって、スキャンした画像のグレー要素が灰色として表示され、その結果画像の他の要素も真の色への再現が保証されます。

● [トーンカーブ調整]

 をクリックすると、[トーンカーブ調整] ダイアログボックスが表示されます。

トーンカーブのタイプを選択することによって、画像の指定領域の明るさを微調整することができます。トーンカーブは、入力と出力の色合いのバランスを示すグラフです。

[カラーモード] で [カラー] または [グレースケール] を選択したとき、トーンカーブが調整可能です。



【チャンネル】

[赤]、[緑] または [青] を調整する場合は色を選択し、または 3 色を一括して調整する場合は [マスタ] を選択します。

【トーンカーブ選択】

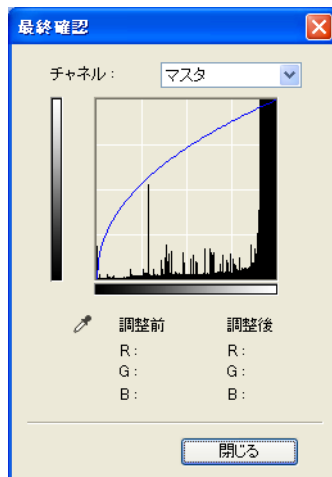
トーンカーブを選択します。([補正なし]、[露出オーバーにする]、[露出アンダーにする]、または [ハイコントラストにする])

【リセット】

現在の設定を初期設定値に戻します。

●【最終確認】

をクリックすると、【最終確認】ダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスでは、設定した色調整を確認することができます。



●【白黒設定】

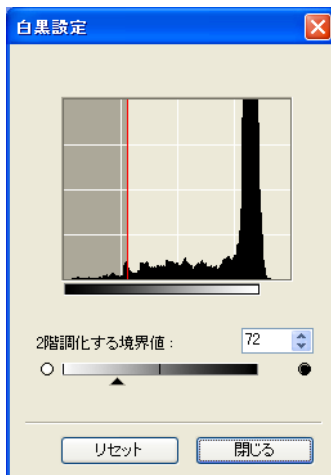
をクリックすると、【白黒設定】ダイアログボックスが表示されます。

【カラーモード】で【白黒設定】を選択したとき、色の設定ボタンが【白黒設定】ボタンに変わります。



メモ

- カラーおよびグレースケール画像の明るさは、0 と 255 の間の値として表現されますが、白黒画像の明るさは、2 つの間の色である画像部分も含めて白または黒で表現されます。白と黒とに分かれる境界を、2 階調化と呼んでいます。
- 白黒調整によって、テキスト原稿の文字を鮮明にさせることができ、また新聞などに見られるような裏写りを減少させることができます。



【2 階調化する境界値】

スレッシュホールド値を上げるため、[スレッシュホールド]スライダを右に移動させると、白い領域が減少します(黒い領域が増えます)。スレッシュホールド値を下げるため、[スレッシュホールド]スライダを左に移動させると、白い領域が増えます(黒い領域が減少します)。数値を入力することもできます。(0～255)

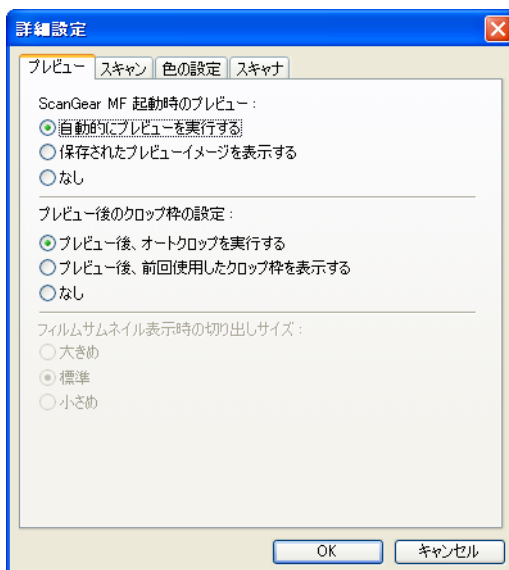
【リセット】

現在の設定を初期設定値に戻します。

■【詳細設定】ダイアログボックス

[拡張モード] タブの [詳細設定] をクリックすると、[詳細設定] ダイアログボックスが表示され、スキャンおよびプレビューの設定を調整することができます。

● [プレビュー] タブ



[ScanGear MF 起動時のプレビュー]

ScanGear MF を起動させたときのプレビュー動作を選択します。標準では、[保存されたプレビューイメージを表示する]が選択されます。

[自動的にプレビューを実行する]

ScanGear MF を起動させたときに、プレビュースキャンが自動的に開始します。

[保存されたプレビューイメージを表示する]

最後にプレビューした画像を表示します。色の設定およびツールバーの鏡映、左回転、右回転、色反転およびルーラーボタンが再現されます。

[なし]

ScanGear MF を起動させたとき、何も表示されません。

[プレビュー後のクロップ枠の設定]

画像をプレビューするとき、クロップ枠をどのように表示するかを設定します。標準では、[プレビュー後オートクロップを実行する]が選択されます。

[プレビュー後オートクロップを実行する]

原稿が用紙サイズに合うよう自動的にクロップされます。

[プレビュー後前回使用したクロップ枠を表示する]

画像をプレビューするとき、最後のクロップ枠が表示されます。

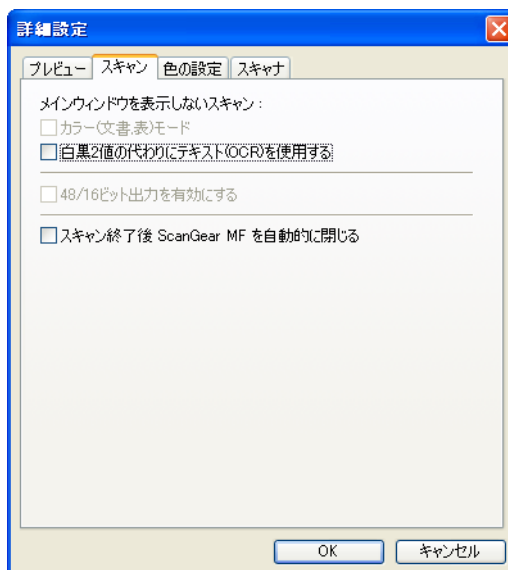
[なし]

画像をプレビューするとき、クロップ枠は表示されません。

[フィルムサムネイル表示時の切り出しサイズ]

このモードでは、この設定は使用できません。

● [スキャン] タブ



【メインウィンドウを表示しないスキャン】

ScanGear MF ダイアログボックスを表示しない (UI オフモード) OCR ソフトなどのアプリケーションでは、カラーモードを変更することはできませんので、原稿はアプリケーションの設定でスキャンされます。アプリケーションの設定を無効にして、特定のカラーモードでスキャンするには、ここで設定を行います。これらの設定は、標準では選択されません。

【カラー(文書、表)モード】

このモードでは、この設定は使用できません。

【白黒2値の代わりにテキスト(OCR)を使用する】

アプリケーションで [白黒] 設定を行ったとき、原稿は [テキスト(OCR)] モードでスキャンされます。



重要

これらの設定は、UI モード (ScanGear MF ダイアログボックスを表示する) では無効です。

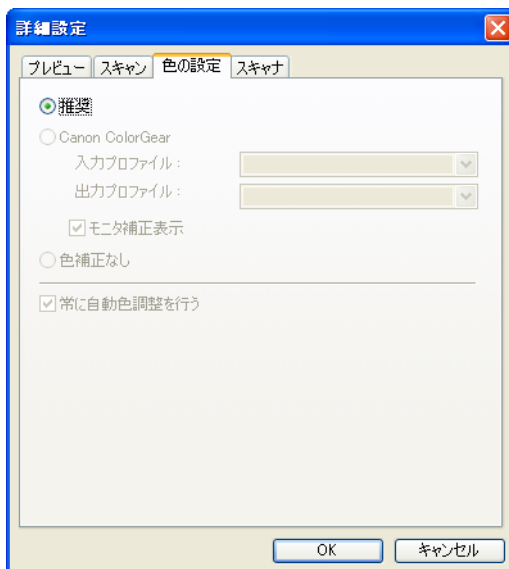
【48/16ビットを有効にする】

このモードでは、この設定は使用できません。

【スキャン終了後 ScanGear MF を自動的に閉じる】

これを選択すると、画像のスキャン後 ScanGear MF ダイアログボックスを自動的に終了させます。この設定は、標準では選択されません。アプリケーションによっては、この設定にかかわらずスキャン後 ScanGear MF を自動的に終了させるものもあります。

● [色の設定] タブ



標準設定は、[推奨] です。

【推奨】

原稿の色合いを画面上に鮮明に再現します。通常、この設定を推奨します。

【Canon ColorGear】

スキャナ、モニターおよびカラープリンタの色に自動的に合うよう選択されますので、モニターやカラープリンタの色を手動で調整する際の時間やトラブルが低減できます。この設定は、[カラーモード]で[カラー]を選択した場合に使用できます。[Canon ColorGear]を選択すると、色の設定ボタンが拡張モードタブに表示されます。

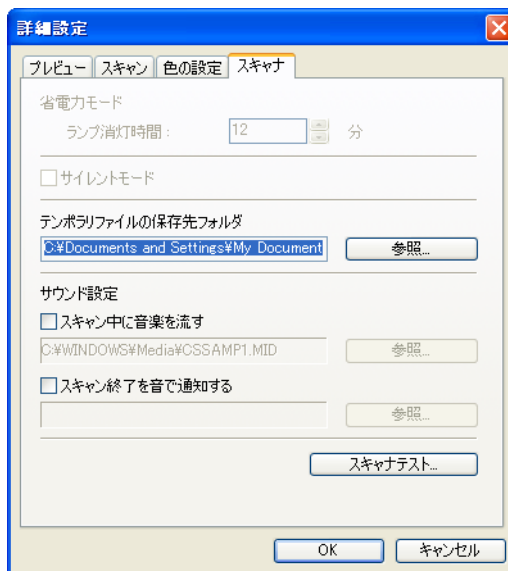
【色補正なし】

カラーマッチングは行いません。

【常に自動色調整を行う】

これを選択すると、画像の色は常に自動的に調整されます。[Canon ColorGear] または [なし] を選択した場合は、この設定は使用できません。この設定は標準で選択されます。

● [スキャナ] タブ



【省電力モード】 お使いのコンピュータから節電モードを設定することはできません。

【サイレントモード】 このモードでは、この設定は使用できません。

【テンポラリファイルの保存先フォルダ】

[参照 ...] をクリックし、ファイルを保存するフォルダを指定します。

【サウンド設定】 スキャン中スキャナが音楽を演奏するよう、またはスキャン完了時サウンドを演奏するように設定します。

【スキャン中に音楽を流す】

選択すると、スキャン中スキャナは音楽を演奏します。[参照] をクリックし、サウンドファイルを指定します。

【スキャン終了を音で通知する】

選択すると、スキャン完了時にスキャナはサウンドを演奏します。[参照] をクリックし、サウンドファイルを指定します。

次のファイルが指定できます。

- MIDI ファイル (*.mid、*.rmi、*.midi)
- オーディオファイル (*.wav、*.aiff)
- MP3 ファイル (*.mp3)

【スキャナテスト ...】 電源コードが差し込まれているかどうか、あるいは本機とコンピュータ間の USB ケーブルが接続されているかどうかを確認します。

解像度を決定する

MF Toolbox 設定ダイアログの [画質] の解像度または ScanGear MF の [出力解像度] を指定することができます。

ScanGear MF の [出力解像度]



メモ

- スキャンした画像のデータは、明るさや色についての情報をもつドットの集まりです。これらのドットの密度を「解像度」と呼び、"dpi" (インチ当たりドット) は 1 インチにおけるドット数のことです。解像度は、画像がもっている細かさの程度を決定します。解像度 (数値) が高くなる程画像はより細くなり、解像度 (数値) が低くなる程画像は粗くなります。
- 原則として、モニターやプリンタなどの最終出力装置に対応するスキャン解像度を選択します。

■ モニター表示用画像

モニター表示用画像は、一般に 75 dpi の解像度でスキャンします。

■ 印刷用画像

印刷する画像は、プリンタの解像度に対応する解像度でスキャンします。例えば、600 dpi の白黒プリンタを使用している場合、原稿は [600 dpi] でスキャンします。



メモ

カラープリンタでは、色は各インキ顔料の割合として表現されるため、原稿のスキャン解像度はプリンタの解像度の半分程度で十分です。例えば、600 dpi のカラープリンタを使用している場合、原稿は [300 dpi] でスキャンします。

■ 拡大／縮小印刷

例えば、縦横を 2 倍にして原稿を印刷する場合、原稿の解像度は半分になってしまいます。元々の原稿の解像度が 300 dpi の場合、拡大された原稿の解像度は 150 dpi になります。原稿を 600 dpi のカラープリンタで印刷すると、画像の粗さが目だってしまう可能性があります。この場合、600 dpi の解像度でスキャンすると、原稿を 2 倍に拡大しても解像度は 300 dpi になり、十分な品質を維持して原稿を印刷することができます。逆に、原稿を縮小して印刷する場合は、半分の解像度でスキャンすれば十分です。

■ 解像度とデータサイズ

解像度を 2 倍にすると、画像データは 4 倍も増えます。データが大きすぎる場合、処理速度が大幅に低下し、メモリ不足のような不具合が発生することがあります。解像度が画像の使用目的に合っているかどうかを確認し、可能な最低レベルを設定します。

WIA ドライバ でのスキャン (Windows XP のみ)

[スキャナとカメラ ウィザード] ダイアログボックスからのスキャン



メモ

スキャン画像の一端に白線が表示された場合、原稿が原稿台ガラスに正しく置かれているかどうか確認してください。原稿は、原稿台ガラスの正面の縁 (すなわち、コントロールパネルに近い側の縁) から約 3mm 内側に置いてください。

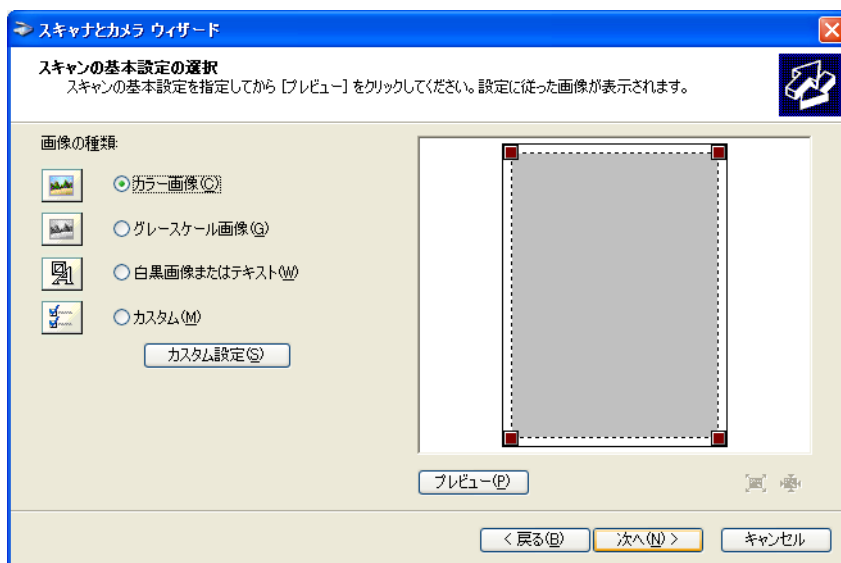
1 [スキャナとカメラ] フォルダを開きます。

[スキャナとカメラ] フォルダの開きかたについての詳細は、「[スキャナとカメラ] フォルダで [スタート] を設定する (→ P.3-3) を参照してください。

2 スキャナアイコンをダブルクリックします ([WIA Canon MF3110])。

3 [次へ] をクリックします。

4 画像タイプを選択します。



3

スキャンする

次のものから選択することができます。

- ・[カラー画像]
- ・[グレースケール画像]
- ・[白黒画像またはテキスト]
- ・[カスタム]



メモ

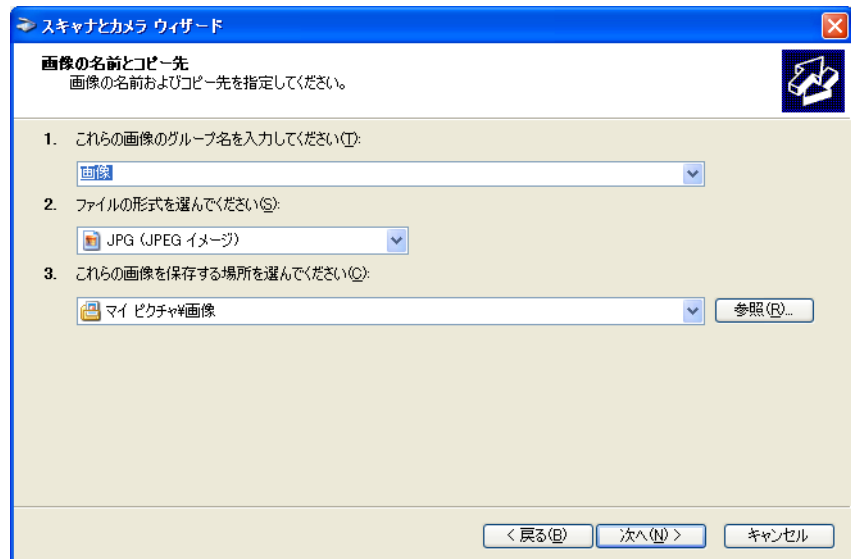
[カスタム] を選択するときは、[カスタム設定] をクリックして、[プロパティ] ダイアログボックスで詳細設定を行います。(→詳細プロパティ：P.3-43)

5 スキャンする領域を指定します。

[プレビュー] をクリックし、 をドラッグしてスキャンする領域を指定します。

6 [次へ] をクリックします。

7 名称、ファイル形式、画像群の保存先を指定します。



□ 画像のグループの名称を入力します。

複数の画像を同じ場所に保存すると、連続番号がファイル名の最後に自動的に付加されます。(例：番号 001、002 ... が 2 番目以降に付加されます。)

□ 画像のファイル形式を選択します。

次の形式が選択可能です。

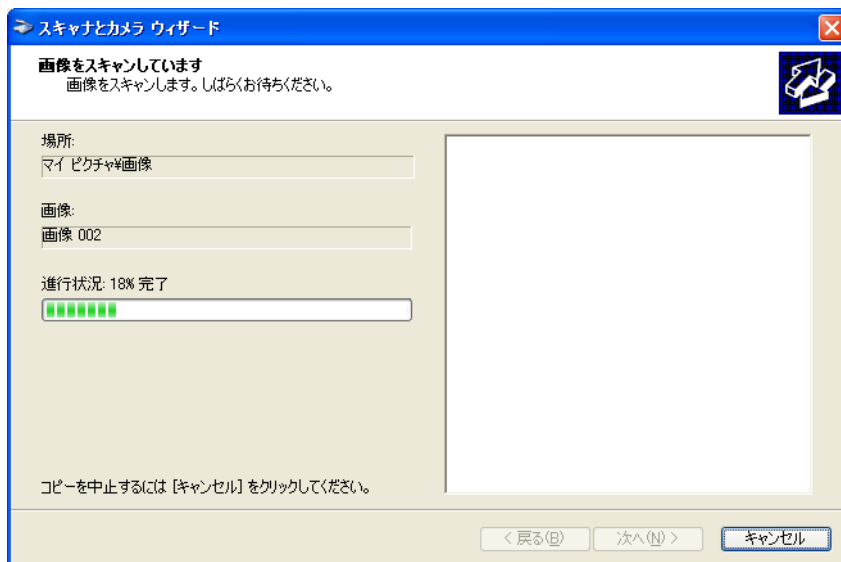
- [BMP (ビットマップ イメージ)]
- [JPG (JPEG イメージ)]
- [TIF (TIF イメージ)]

- [PNG (PNG イメージ)]

☐ 画像の保存先を選択します。

保存先を変更するには、[参照] をクリックし、希望の場所を選択して [OK] をクリックします。

8 [次へ] をクリックします。



スキャンが開始します。



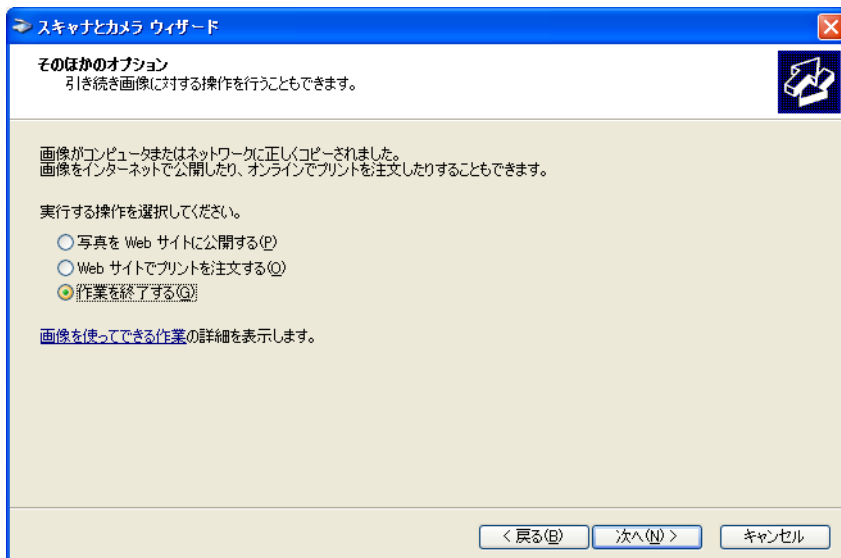
メモ

スキャンを中止するには、[キャンセル] をクリックします。

3

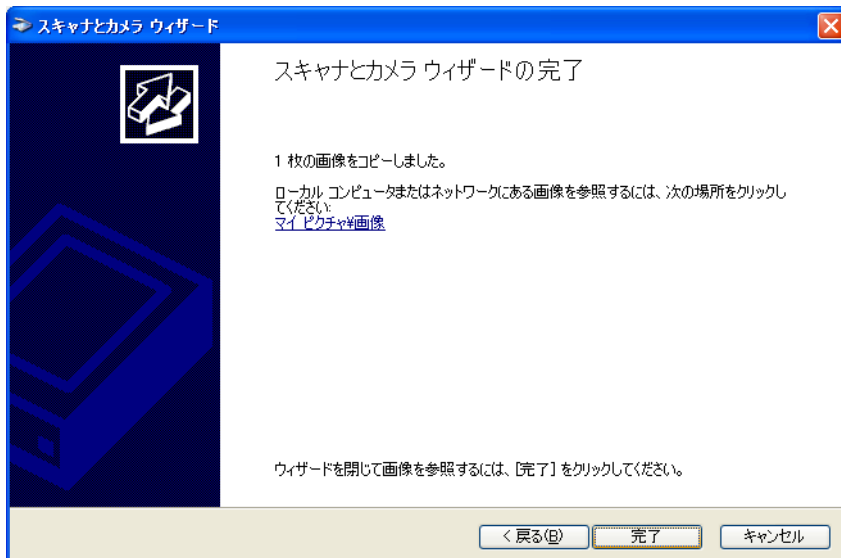
スキャンする

9 [次へ] をクリックします。



これらの画像をウェブサイトへ送信するか、または印刷オンラインを指令する場合は、該当するオプションを選択します。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください

10 [完了] をクリックします。



手順 7 で選択した保存先が表示されます。

■詳細プロパティ

次の画面は、Windows XP の詳細プロパティタブを示します。

-  **メモ** [詳細プロパティ] タブの設定項目および初期設定値は、選択している画像のタイプによって変わります。



プレビュー

スキャンした画像のサンプルが表示されます。

【明るさ】

明るさを指定します。(-127 ~ 127)



このタブで十分指定できない場合は、「e.Typist エントリー」または「やさしくファイリングエントリー」で明るさを調整することもできます。

【コントラスト】

コントラストを指定します。(-127 ~ 127) (カラーまたはグレースケールスキャンのみ)



このタブで十分指定できない場合は、「e.Typist エントリー」または「やさしくファイリングエントリー」で明るさを調整することもできます。

【解像度 (dpi)】

dpi 単位でスキャン解像度を選択します。(50 ~ 300)



上記の解像度の数値を編集ボックスに直接入力することもできます。無効な値を入力すると、エラーメッセージが表示され、解像度はその値に一番近い値に修正されます。

【画像の種類】

スキャンするカラーのタイプを選択します。([カラー画像]、[グレースケール画像]、または [白黒画像またはテキスト])

【リセット】

現在の設定を初期設定値に戻します。

アプリケーションからスキャンする

WIA ドライバダイアログボックスを表示した状態で、次の手順に従います。

WIA ドライバを表示するには、「アプリケーションから画像をスキャンする」(→ P.3-13)を参照してください。



スキャン画像の一端に白線が表示された場合、原稿が原稿台ガラスに正しく置かれているかどうか確認してください。原稿は、原稿台ガラスの正面の縁 (すなわち、コントロールパネルに近い側の縁) から約 3mm 内側に置いてください。



1 スキャンする画像タイプを選択します。

次のものから選択することができます。

- ・ [カラー画像]
- ・ [グレースケール画像]
- ・ [白黒画像またはテキスト]
- ・ [カスタム設定]

2 スキャン画像の画質を調整したい場合は、[スキャンした画像の品質の調整] をクリックします。

[詳細プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

3 画質を調整し、[OK] をクリックします。

画質の調整方法についての詳細は、「詳細プロパティ」 (→ P.3-43) を参照してください。

4 スキャンする領域を指定します。

[プレビュー] をクリックし、 をドラッグしてスキャンする領域を指定します。

5 [スキャン] をクリックします。

スキャンが開始します。スキャンが完了したとき、スキャンした画像がアプリケーションのディスプレイに表示されます。

困ったときには

この章では、本機を使用時に発生する問題とその処置について説明します。また、ユーザー自身で問題を解決できない場合にどうすればよいかについても説明します。

- ・プリンタのトラブル (→ P.4-1)
- ・ドライバのトラブル (→ P.4-4)
- ・スキャントラブル (→ P.4-5)
- ・インストールおよびアンインストール トラブル (→ P.4-10)

この章の処置を参照しても問題を解決できない場合は、ユーザーズガイドの第 9 章「困ったときには」をご覧ください。

プリンタのトラブル

印刷できない

原因 1 用紙がありません。

処 置 用紙がセットされていることを確認してください。

原因 2 用紙がないため、コピージョブを完了できませんでした。

処 置 用紙をセットしてください。コピージョブが完了すると、印刷ジョブが自動的に開始されます。

原因 3 カートリッジが正しく取り付けられていません。

処 置 カートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。(→ セットアップシート)

原因 4 BIOS ポートの設定を変更する必要があります。

処 置 お使いのコンピュータのマニュアルで、使用可能なポートについて参照してください。

原因 5 コンピュータが正常に作動していません。

処 置 コンピュータの電源が入っていることを確認してください。コンピュータの電源が入っている場合は、コンピュータのマニュアルを参照してください。

電源が入らない

原因 1 電源コードがコンセントに接続されていません。

処 置 電源コードが本機と AC コンセントにしっかりと接続されていることを確認してください。

原因 2 AC コンセントから電源が供給されていません。

処 置 AC コンセントから電源が供給されていることを確認し、場合によっては別のコンセントで試してみてください。

原因 3 AC 電圧がプリンタに合っていない。

処 置 AC コンセントの電圧がプリンタの定格電圧と一致していることを確認してください。

プリンタが印刷を停止した

原因 1 インタフェースケーブルが外れています。

処 置 コンピュータとケーブルの接続を確認してください。

原因 2 アプリケーションがフォアグラウンドで動作しているため、印刷速度が遅くなっています。

処 置 印刷ジョブを優先すると印刷速度が上がります。

「ヨウシサイズ カクニン」というメッセージが本機の LCD に表示される

原 因 本機用の紙サイズがコンピュータの用紙設定と異なっています。

処 置 正しいサイズの用紙をセットするか、または <ソウシセッテイ> の <ヨウシサイズ> 設定を変更してください。(ユーザーズガイドの第 2 章「用紙の取り扱い」を参照してください。)

印刷結果がおかしい

原因 1 プリンタとコンピュータ間の通信に問題があります。

処置 1 ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください

処置 2 USB ケーブルの長さが 3m 未満であることを確認してください。

処置 3 配電ボックスを使用していないことを確認してください。

- 処置 4 Windows で正しいプリンタドライバが選択されていることを確認してください。
- 原因 2 違うプリンタが [プリンタと FAX](Windows 98/Me/2000 の場合は [プリンタ]) フォルダで選択されています。
- 処置 [プリンタと FAX](Windows 98/Me/2000 の場合は [プリンタ]) フォルダで、該当するプリンタドライバが選択されていることを確認してください。

プリンタを使用すると、システムがロックアップする

- 原因 システムのセットアップに問題があります。
- 処置 1 高品質のシールド付きインタフェースケーブルが使われていることを確認してください。
- 処置 2 BIOS の設定に問題がある可能性があります。BIOS の設定が正しいことを確認してください。(コンピュータのマニュアルを参照してください。)
- 処置 3 物理メモリが正しく作動していることを確認してください。
- 処置 4 東芝製ラップトップをお使いの場合は、CONFIG.SYS ファイルの次の行を変更してください。
変更前: c:¥winutils¥mxttime.exe
変更後: REM c:¥winutils¥mxttime.exe

デバイスのタイムアウトを知らせるメッセージが表示される

- 原因 プリンタの電源が入っていないか、オフラインになっているか、またはコンピュータへ接続されていません。
- 処置 1 プリンタが一時停止していないことを確認してください。
- 処置 2 プリンタのインタフェースケーブルがプリンタとコンピュータの両方にしっかりと接続されていることを確認してください。
- 処置 3 用紙がカセットまたはマルチフィーダから正しく給紙されることを確認してください。
- 処置 4 プリンタとコンピュータをリセットしてください。
- 処置 5 もう一度印刷をしてみてください。
- 処置 6 別のケーブルで試してください。

ドライバのトラブル

ドライバが正常に動作しない

原因 プリントドライバが Satera MF3110 の標準のプリントドライバとして選択されていません。

処置 対応のプリントドライバを Satera MF3110 の標準のプリントドライバとして指定してください。

原稿内のフォントで正しく印刷できないフォントがある

原因 原稿に Adobe Type Manager (ATM) フォントが存在します。

処置 Adobe Type Manager (ATM) フォントはサポートされていません。Adobe Type Manager (ATM) を別の適切なフォントに置き換えてください。

Satera MF3110 プリンタ以外のプリントドライバでは印刷できない

原因 そのプリントドライバが Satera MF3110 プリントドライバと同じポートに接続されています。

処置 そのプリントドライバを Satera MF3110 プリントドライバとは異なるポートに接続してください。

USB ポートを使って Satera MF3110 プリントドライバをインストールできない

原因 USB ドライバが正しくインストールされていません。

処置 次の手順を実行してください。

1. 本機が USB ケーブルを使ってコンピュータに接続されていて、電源が入っていることを確認してください。
2. Windows XP の場合、[コントロールパネル] の [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックして、[パフォーマンスとメンテナンス] ウィンドウの [コンピュータの基本的情報を表示する] をクリックします。Windows 98/Me/2000 の場合は、[コントロールパネル] から [システム] をダブルクリックします。[システムプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
3. Windows 2000/XP の場合、[ハードウェア] タブを選択して、[ユニバーサル シリアル バス コントローラ] をダブルクリックします。Windows 98/Me の場合は、[デバイスマネージャ] タブを選択して、[ユニバーサル シリアル バス コントローラ] をダブルクリックします。

4. [ユニバーサル シリアル バス コントローラ] で、USB クラスドライバを見つけ、お使いのオペレーティングシステムに対して指定されている USB クラスドライバのみを削除します。(USB クラスドライバが [その他のデバイス] のもとに表示されている場合は、お使いのオペレーティングシステムに応じて、次の内の 1 つだけを削除します: [MF3110]、[Canon CARPS USB Printer]、[不明なデバイス])

Windows 2000/XP の場合、[USB Printing Support] または [Canon CARPS USB Printer] を選択して、[操作] メニューから [アンインストール] を選択します。Windows 98 の場合は、[MF3110] を選択して、[削除] をクリックします。Windows Me では、[Canon CARPS USB Printer] を選択して、[削除] をクリックします。

**重要**

Windows が正常に動作しなくなる可能性がありますので、上記以外のデバイスまたはデバイスドライバを決して削除しないでください。

5. [コントロールパネル] を閉じて、USB ケーブルを抜きます。
6. コンピュータを再起動します。
7. プリンタドライバのインストールに関する説明については、「コンピュータへソフトウェアをインストールする」(→ P.1-3) を参照してください。

**メモ**

Windows XP の手順は、Category View Mode の場合です。

文字化けして印刷される

原因

ドライバが正しくインストールされていません。

処置

該当するプリンタドライバ アイコンが[プリンタとFAX](Windows 98/Me/2000 の場合は、[プリンタ]) フォルダに表示されているかどうか調べて、表示されていない場合はドライバをインストールします。該当するプリンタドライバ アイコンが表示されている場合は、そのプリンタドライバ アイコンを右クリックし、ポップアップメニューで [通常使うプリンタとして設定] (Windows 98/Me の場合は、[標準として設定]) が選択されているかどうか調べます。詳細は、「インストールを確認する」(→ P.1-8) を参照してください。

スキャントラブル

原稿をスキャンできない

原因 1

LCD 表示関連の問題です。

処置

LCD に何も表示されない場合、ユーザズガイドの第 9 章「困ったときには」を参照してください。

原因 2 アラーム表示灯関連の問題です。

処 置 アラーム表示灯が点滅する場合、ユーザズガイドの第 9 章「困ったときには」を参照してください。

原因 3 原稿が正しくセットされていません。

処 置 原稿を原稿台ガラスに正しくセットし直してください。(ユーザズガイドの第 3 章「原稿の取り扱い」を参照してください。)

原因 4 お使いのコンピュータが正常に動作していません。

処 置 コンピュータを再起動してください。

原因 5 USB ハブまたは中継器が正常に動作していません。

処 置 USB ハブまたは中継器を使用している場合、USB ケーブルを直接コンピュータに接続して、正常に動作するかどうか試してください。USB ケーブルを直接コンピュータに接続したときに原稿を正しくスキャンできる場合は、お使いの USB ハブまたは中継器が正常に動作するかどうか調べてください。

原因 6 USB2.0 互換の USB ハブを使用しています。

処置 1 本機を USB2.0 互換の USB ハブを使用して USB2.0 装備のコンピュータに接続している場合、スキャンできないことがあります。その場合、USB ケーブルを直接コンピュータに接続してください。プリンタを USB2.0 互換の USB ハブを経由してコンピュータに接続したい場合は、次の手順に従って INI ファイルを変更してください。変更する前にファイルをバックアップコピーすることをお勧めします。

1. メモ帳または別のテキストエディタアプリケーションで、次のファイルを開きます。

Windows 98/Me の場合

`windows¥system¥CNCMF10.ini`

Windows 2000 の場合

`winnt¥system32¥CNCMF10.ini`

Windows XP の場合

`windows¥system32¥CNCMF10.ini`

2. 最終行の下に、次の 2 行を追加してファイルを保存してください。その他の部分は変更しないよう注意してください。

`[Scan]`

`ReadSize=16`

処置 2 本機を USB2.0 装備のコンピュータに接続する場合、スキャンできないことがあります。コンピュータに複数の USB ポートが付いている場合は、本機を別の USB ポートに接続してみてください。依然として問題が発生する場合は、次の手順に従って INI ファイルを変更してください。変更する前にファイルをバックアップコピーすることをお勧めします。

1. メモ帳または別のテキストエディタアプリケーションで、次のファイルを開きます。
Windows 98/Me:
 windows¥system¥CNCMFP10.ini
Windows 2000:
 winnt¥system32¥CNCMFP10.ini
Windows XP:
 windows¥system32¥CNCMFP10.ini
2. [ScanSize] の項で、"Read512Bytes=0" を "Read512Bytes=1" に変更し、ファイルを保存してください。その他の部分は変更しないよう注意してください。

原因 7 ソフトウェアをインストール後、TWAIN 互換アプリケーションをインストールしていません。

処 置 TWAIN システムファイルが不適切なファイルと置き換わっていて、画像をスキャンすることができません。この場合は、そのソフトウェアを削除して (P.1-9 の「ソフトウェアをアンインストールするまたは再インストールする」を参照)、目的のソフトウェアを再インストールします (P.1-3 の「コンピュータへソフトウェアをインストールする」を参照)。

原因 8 [コントロールパネル] の [スキャナとカメラ] で本機が認識されていません。

処 置 次の手順に従って、該当するスキャナドライバ名またはアイコンが [コントロールパネル] の [スキャナとカメラ] にあるかどうか確認してください。

1. Windows のタスクバーの [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。(Windows 98/Me/2000 の場合は、Windows のタスクバーの [スタート] をクリックし、[設定] を選択して、[コントロールパネル] を選択します。)
2. [コントロールパネル] の [プリンタとその他のハードウェア] をクリックし、[スキャナとカメラ] をクリックします。(Windows 98/Me/2000 の場合は、[スキャナとカメラ] をダブルクリックします。)
3. [WIA Canon MF3110](Windows 98/Me/2000 の場合は、[Canon MF3110 Twain Driver]) が [スキャナとカメラ] フォルダまたはダイアログボックスにある場合、本機は認識されています。ない場合は、ソフトウェアを削除して (P.1-9 の「ソフトウェアをアンインストールするまたは再インストールする」を参照)、目的のソフトウェアを再インストールします (P.1-3 の「コンピュータへソフトウェアをインストールする」を参照)。

複数ページの PDF ファイルを作成しようとしたが、複数の原稿をスキャンすることができない

原因 [詳細設定] の [スキャン終了後 ScanGear MF を自動的に閉じる] チェックボックスにチェックが付いています。

処置 MF Toolbox のボタンをクリックして、設定ダイアログボックスで [スキャナドライバで詳細な設定を行う] にチェックを付けます。ScanGear MF が開いたとき、拡張モードの [詳細設定] の [スキャン終了後 ScanGear MF を自動的に閉じる] にチェックを付けてスキャンすると、そのときに原稿台ガラスに置いてある原稿だけしかスキャンできません。それ以外の原稿もスキャンしたい場合は、スキャン前に [スキャン終了後 ScanGear MF を自動的に閉じる] のチェックを外してください。

コンピュータがハングアップまたは動かなくなる

原因 1 お使いのコンピュータのメモリ不足です。

処置 開いている他のアプリケーションを終了させて、もう一度試してみてください。

原因 2 ハードディスクが満杯です。

処置 特に、大きな原稿を高解像度でスキャンするときはハードディスクに十分な空きスペースがあるかどうか確認してください。例えば、A4 サイズの原稿を 600 dpi でスキャンするとき、フルカラーであれば最低 300MB の空きスペースが必要です。
* 十分な空きスペースがない場合は、低解像度で原稿をスキャンしてください。

原因 3 Photoshop で画像をスキャンするとき、エラーが発生します。

処置 割り当てているメモリを変更します。[編集] メニューで、[環境設定] を選択し、[メモリと画像キャッシュ] をクリックします。[Photoshoop の最大使用メモリ] を約 10% ～ 20% の範囲で変更します。

原因 4 ドライバが正しくインストールされていません。

処置 ソフトウェアをいったん削除して (P.1-9 の「ソフトウェアをアンインストールするまたは再インストールする」を参照)、そのソフトウェアを再インストールします (P.1-3 の「コンピュータへソフトウェアをインストールする」を参照)。

MF3110セットアップCD-ROMのアプリケーションをインストールしたが、MF Toolbox に登録されていない

原因 MF Toolbox を開いた状態でアプリケーションをインストールしました。

処置 MF Toolbox を開いた状態でアプリケーションをインストールすると、アプリケーションは MF Toolbox に登録されません。[標準設定] をクリックして、アプリケーションを登録します。(→ MF Toolbox を使ってスキャンする：P.3-6)

MF Toolbox のボタンをクリックすると、別のアプリケーションが開く

原因 そのボタンに対してアプリケーションが正しく選択されていません。

処置 MF Toolbox のボタンをクリックして、そのボタンに対して開きたいアプリケーションを選択します。他のボタンについても同様の操作を行います。(→ MF Toolbox の設定：P.3-9)

ダイアログボックスで変更した設定が有効とならない (Windows Me/2000)

原因 設定を変更した後コンピュータを再起動していません。

処置 Windows Me/2000 では、[コントロールパネル] の [スキャナとカメラ] を開いて、[イベント] タブの設定を変更した場合は、コンピュータを再起動しない限りその設定が有効となりません。一度設定を変更したときは、コンピュータを再起動してください。

スキャンした画像が汚れて見える

原因 1 原稿台ガラスまたは原稿台カバーが汚れています。

処置 原稿台ガラスまたは原稿台カバーを清掃してください。

原因 2 画像サイズが小さすぎます。

処置 アプリケーションによっては、小さいサイズでは画像を正しく表示できないことがあります。画像を 100% の倍率で表示してみてください。

原因 3 モニタの表示色が 16 ビット以下に設定されています。

処置 [表示プロパティ] で、表示色を 16 ビットカラー、24 ビットカラーまたはそれ以上に設定してください。

スキャンした画像の一端に白線が表示される

原因 原稿が原稿台ガラスに正しくセットされていません。

処置 原稿を、原稿台ガラスの左端から約 3mm の所にセットしてください。

スキャンした画像がコンピュータ画面に拡大 (縮小) されて表示される

原因 解像度設定が正しくありません。

処置 次のいずれかを実行してください。

1. アプリケーションの画像表示を拡大または縮小します。
ただし、[ペイント] または [イメージング] で画像を表示した場合は、画像は拡大されて表示されることがあり、それを縮小することはできません。
2. 解像度を変え、再度スキャンします。
解像度が高い場合画像は大きくなり、解像度が低い場合画像は小さくなります。(→解像度を決定する：P.3-38)

インストールおよびアンインストール トラブル

ソフトウェアがインストールできない

原因 1 ソフトウェアのインストール手順に従っていません。

処置 ソフトウェアを再インストールしてみてください。エラーが発生し、インストールが完了しない場合は、コンピュータを再起動してソフトウェアを再度インストールしてみてください。

原因 2 他のアプリケーションが開いています。

処置 他のアプリケーションを閉じて、ソフトウェアを再インストールしてみてください。

ドライバの削除に時間がかかりすぎる (Windows XP)

原因 ソフトウェアを削除する際、ウィルスチェッカなどの他のアプリケーションが開いています。

処置 ソフトウェアを削除する前に、他のアプリケーション (ウィルスチェッカを含む) を終了させてください。

ソフトウェアの削除が完了したが、[Canon] フォルダが残っている

原因 MF Toolbox を削除する前に MF ドライバを削除していません。

処置 Windows XP の場合、[スタート] メニューを右クリックして、Windows Explorer を開き、[アドミニストレータ] の [スタートメニュー] から [プログラム] を選択し、[Canon] フォルダを削除します。
Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] を開き、[タスクバーとスタートメニュー] をクリックし、[詳細] タブをクリックして [削除] から [プログラム] を選択し、[Canon] フォルダを削除します。
Windows 98/Me では、[スタート] メニューから [設定] を開き、[タスクバーとスタートメニュー] をクリックし、[スタートメニュープログラム] から [削除] をクリックし、[Canon] フォルダを選択して、[削除] をクリックします。

バージョンエラーを知らせるメッセージがコンピュータに表示される (Windows 98)

原因 Photoshop がコンピュータにインストールされていません。

処置 インストール中にバージョンエラーまたは Windows 98 ファイル言語などに関するメッセージが表示された場合、[はい] または [いいえ] をクリックします。どちらをクリックしても、その後のインストールはエラーなしで続行できます。

Windows XP にアップグレード後ソフトウェアが使用できない

原因 ソフトウェアを削除しないで Windows 98/Me/2000 を Windows XP にアップグレードしました。

処置 ソフトウェアをいったん削除して (P.1-9 の「ソフトウェアをアンインストールするまたは再インストールする」を参照)、そのソフトウェアを再インストールします。(→コンピュータへソフトウェアをインストールする : P.1-3)

[デバイスマネージャ] で、緑色のマーク "?" が表示される (Windows Me)

原因 Windows Me の [デバイスマネージャ] の [USB(ユニバーサル シリアル バス) コントローラ] の [USB 互換デバイス] に緑色のマーク "?" が表示されます。

処置 これはトラブルではありませんので、そのまま使用を続行することができます。

FontGallery をインストールする

FontGallery には、TrueType フォントとして和文 20 書体、欧文 100 書体が収められています。また、Windows をお使いの場合は、かな 31 書体、およびかな書体組み合わせユーティリティ「FontComposer」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。Macintosh をお使いの場合は、あらかじめ和文書体とかな書体を組み合わせた 43 書体が収められています。

FontGallery および FontComposer のインストール手順について説明しています。ご使用になる前に、「FontGallery 製品使用許諾契約書」(→ P.5-2) を必ずお読みください。

必要な動作環境

FontGallery および FontComposer を使用するには、次の動作環境が必要です。

- 重要**
 - かな書体および FontComposer は、Windows をお使いの場合にご利用いただけます。Macintosh をお使いの場合は、ご利用いただけません。
 - FontGallery は、1 台のコンピュータに対してのみ使用許諾をしています。複数のコンピュータでお使いになる場合は、別途 FontGallery ライセンス商品をお買い求めください。ネットワークのサーバ上で使用することはできません。お使いのコンピュータにインストールしてお使いください。
- メモ**
 - FontGallery のユーザ登録を、キヤノン販売(株)のホームページで行うことができます。登録いただいたお客様には、今後の FontGallery に関する新製品情報やキャンペーンのご案内などをお知らせいたします。
 - ホームページアドレス <http://www.canon-sales.co.jp/Product/appli/appli.html>

■ 使用環境について

- OS
 - ・ Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
 - ・ Microsoft Windows NT Server/Workstation 4.0 日本語版
 - ・ Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
 - ・ Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- コンピュータ
 - ・ 上記 OS が動作するコンピュータ

FontGallery 製品使用許諾契約書

弊社では、FontGallery 製品につきまして、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書と BITSTREAM 使用許諾契約を設けさせていただいており、お客様が契約書にご同意いただいた場合にのみ、ソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本 FontGallery 製品をご使用になる前に、契約書を十分にお読みください。なお、本 FontGallery 製品をご使用になられた場合には、お客様が契約にご同意いただいたものとしてさせていただきます。

■ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともに提供する FontGallery 製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンに帰属します。

1. 使用許諾

- (1) お客様は、機械読取形態の「許諾ソフトウェア」を一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得する必要があります。
- (2) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。
- (3) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2. 「許諾ソフトウェア」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」を1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」をお客様がご使用のコンピュータのハードディスク等の記憶装置1台のみに1コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証の否認・免責

- (1) キヤノンおよびキヤノン販売株式会社（以下、キヤノン販売といいます。）は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。
- (2) キヤノンおよびキヤノン販売は、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

4. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾ソフトウェア」を、直接または間接に輸出してはなりません。

5. 契約期間

- (1) 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用した時点で発効します。
- (2) お客様は、キヤノンに対して 30 日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
- (3) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
- (4) 本契約は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。上記 (2) または (3) により本契約が終了した場合、キヤノンまたはキヤノン販売は、「許諾ソフトウェア」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾ソフトウェア」の代金の返還をキヤノンおよびキヤノン販売に請求できません。
- (5) お客様には、本契約の終了後 2 週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

6. 一般条項

- (1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

■BITSTREAM 使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。

本合意により、お客様と BITSTREAM とのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意しない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

1. 使用許諾。本 Bitstream 製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーである BITSTREAM はライセンシーであるお客様に対し、Bitstream 製品を、1 台のプリンタ、あるいは 1 台のタイプセットまたはイメージセットおよびそのタイプセットまたはイメージセット専用のプルーフプリンタに接続した 1 台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。
BITSTREAM は、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。
2. 所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream 製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAM は最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream 製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録された Bitstream 製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスは Bitstream 製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。

3. コピーの制限。Bitstream 製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAM の所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でも Bitstream 製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長された BITSTREAM の知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream 製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを 1 部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。
4. 使用の許容範囲。本 Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream 製品に変更、改造、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。また Bitstream 製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。
5. 終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項の一つでも従わなければ、BITSTREAM からお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書、Bitstream 製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。
6. その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します。

■保証の拒否および限定保証

BITSTREAM は、Bitstream 製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から 90 日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関する BITSTREAM の全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAM の限定保証を満たさず、BITSTREAM に受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかを BITSTREAM が選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAM はディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か 30 日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAM は特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAM は、Bitstream 製品に含まれる機能がおお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAM は、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream 製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません。(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む)

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

■米国政府の限定権利

Bitstream 製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2) (1987 年 5 月) が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合は DOD FAR の適用される規定が 252.227-7013 の第 (a)(15) 条 (1988 年 4 月) または第 (a)(17) 条 (1988 年 4 月) を補完する条項です。

契約当事者 / メーカーは 215 First Street, Cambridge, MA 02142 の Bitstream Inc. です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わず BITSTREAM に連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

以上
キヤノン 株式会社

Windows 上にインストールする



- 取扱説明書を CD-ROM に収録しています。詳しくは、次のファイルに記載されていますので参照してください。

・ FontGallery 取扱説明書： ¥Fgallery¥MANUAL¥FONT¥FGMANUAL.pdf
(PDF 形式)

・ FontComposer 取扱説明書： ¥Fgallery¥MANUAL¥COMPOSER¥FCMANUAL.pdf
(PDF 形式)

- フォントをインストールするには、多少の時間がかかります。1 書体につき 10 秒前後かかりますので、あらかじめご了承ください。
- 欧文書体は、英語版 LIPS プリンタドライバでもご利用いただけます。

■FontGallery のインストール

Windows 版 FontGallery を、以下の手順に従ってインストールしてください。

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニューが自動的に表示されます。



- Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合、起動した際に、必ず管理者の権限を持つユーザとしてログオンしてください。
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

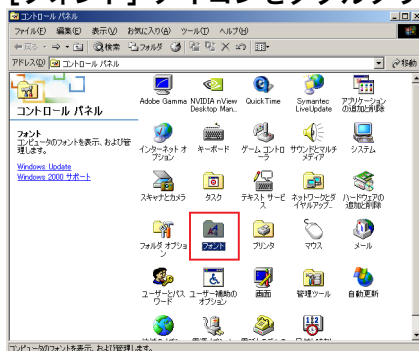
2 CD-ROM メニューの [終了] をクリックして閉じます。



3 [スタート] メニューの設定から [コントロールパネル] を選びます。

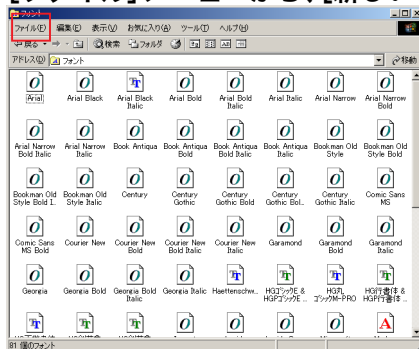
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。

4 [フォント] アイコンをダブルクリックします。



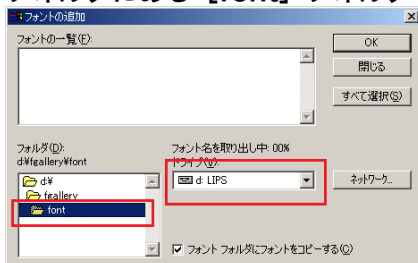
[フォント] フォルダが表示されます。

5 [ファイル] メニューから、[新しいフォントのインストール] を選びます。



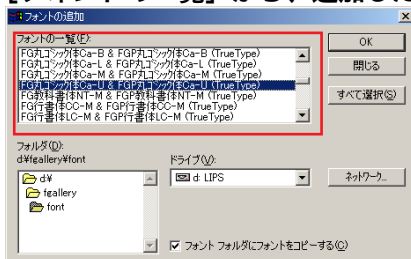
[フォントの追加] ダイアログボックスが表示されます。

- 6 [ドライブ] から CD-ROM を選び、[フォルダ] の一覧から、[fgallery] フォルダにある [font] フォルダを選択してダブルクリックします。

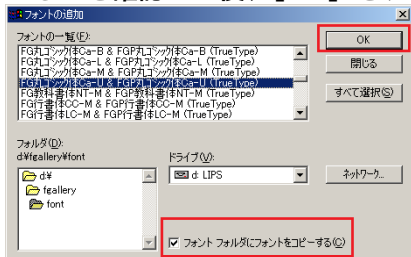


選んだフォルダにあるフォントが、[フォントの一覧] に表示されます。

- 7 [フォントの一覧] から、追加したいフォントを選びます。



- 8 [フォントフォルダにフォントをコピーする] にチェックマークが付いているのを確認した後、[OK] をクリックします。



フォントフォルダにフォントが追加されます。



お使いの OS によっては、[[FONTS] フォルダにフォントをコピーする] と表示されます。

■FontComposer、かな書体をインストールする

Windows 版 FontComposer を、以下の手順に従ってインストールしてください。かな書体は、Windows 版 FontComposer をインストールすることによって、同時にインストールされます。

重要

FontComposer を使用するには、約 10 ～ 20MB のハードディスクの空き容量が必要となる場合があります。FontComposer を起動する際に、空き容量不足のメッセージが表示された場合には、ハードディスクの空き容量を確保してください。

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニューが自動的に表示されます。

重要

- Windows NT 4.0/2000/XPをお使いの場合、起動した際に、必ず管理者の権限を持つユーザとしてとしてログオンしてください。
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

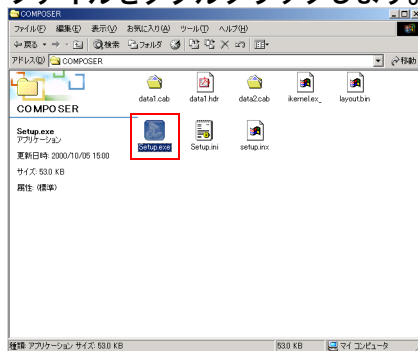
2 CD-ROM メニューの [終了] をクリックして閉じます。



3 [マイコンピュータ] から CD-ROM ドライブを右クリックし、[開く] をクリックします。

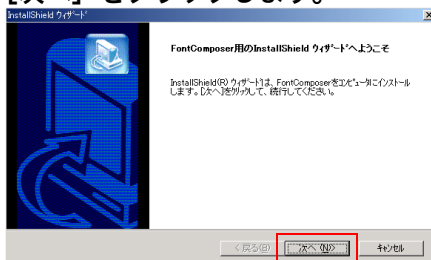
CD-ROM のウインドウが表示されます。

4 [Fgallery] フォルダ、[COMPOSER] フォルダを順に開き、Setup.exe ファイルをダブルクリックします。



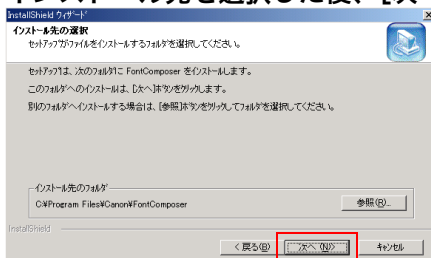
[InstallShield ウイザード] が表示されます。

5 [次へ] をクリックします。



[インストール先の選択] ダイアログボックスが表示されます。

6 インストール先を選択した後、[次へ] をクリックします。



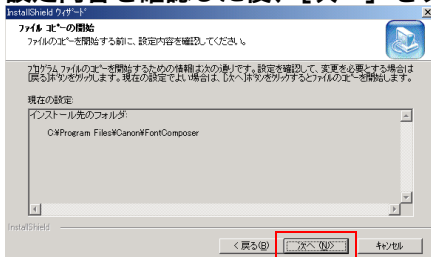
[ファイルコピーの開始] ダイアログボックスが表示されます。



メモ

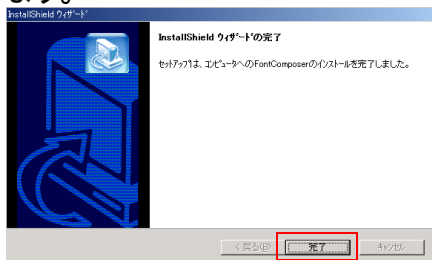
インストール先を指定する場合は、[参照] をクリックして、インストール先のフォルダを選択します。

7 設定内容を確認した後、[次へ] をクリックします。



インストールを開始します。

8 インストール完了のメッセージが表示されるので [完了] をクリックします。



以上でインストールの作業が終了しました。

FontGallery 同梱書体見本

次の書体をお使いいただけます。

■ 和文書体

和文書体の見本を次に示します。

平成明朝体 W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W9	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント
行書体 CC-M	夢のある多彩なフォント

■ かな書体

かな書体の見本を次に示します。

こでまりL	ゆめのあるふおんど
こでまりM	ゆめのあるふおんど
こでまりB	ゆめのあるふおんど
こでまりH	ゆめのあるふおんど
からたちL	ゆめのあるふおんど
からたちM	ゆめのあるふおんど
からたちB	ゆめのあるふおんど
からたちH	ゆめのあるふおんど
さんざしL	ゆめのあるふおんど
さんざしM	ゆめのあるふおんど
さんざしB	ゆめのあるふおんど
さんざしH	ゆめのあるふおんど
てっせんL	ゆめのあるふおんど
てっせんM	ゆめのあるふおんど
てっせんB	ゆめのあるふおんど
てっせんH	ゆめのあるふおんど
あしびL	ゆめのあるふおんど
あしびM	ゆめのあるふおんど
あしびB	ゆめのあるふおんど
あしびH	ゆめのあるふおんど
はしばみL	ゆめのあるふおんど
はしばみM	ゆめのあるふおんど
はしばみB	ゆめのあるふおんど
はしばみH	ゆめのあるふおんど
さざんかL	ゆめのあるふおんど
さざんかM	ゆめのあるふおんど
さざんかB	ゆめのあるふおんど
さざんかH	ゆめのあるふおんど

■ 和文組み合わせサンプル：かなユーティリティ FontComposer

和文組み合わせサンプルの見本を次に示します。

平成明朝体 W3 + からたち L
 平成明朝体 W3 + こでまり L
 平成明朝体 W5 + さんざし M
 平成明朝体 W5 + てっせん M
 平成明朝体 W7 + あしび B
 平成明朝体 W7 + はしばみ L
 平成明朝体 W9 + さざんか H
 平成角ゴシック体 W3 + あしび L
 平成角ゴシック体 W5 + あしび M
 平成角ゴシック体 W5 + さざんか M
 平成角ゴシック体 W7 + さざんか B
 平成角ゴシック体 W7 + あしび B
 平成角ゴシック体 W7 + はしばみ B
 平成角ゴシック体 W9 + あしび H
 平成角ゴシック体 W9 + はしばみ H
 楷書体 NT-M + てっせん M

夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント
 夢のある多彩なフオント

■ 欧文書体

欧文書体の見本を次に示します。

American Garamond Roman	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
American Garamond Bold	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Bold Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Bodoni Bold	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Bold Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Cataneo Light	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Bold	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Light Swash	<i>ABCDEF a de 12345</i>
Cataneo Regular Swash	<i>ABCDEF a de 12345</i>
Cataneo Bold Swash	<i>ABCDEF a de 12345</i>
Cooper Black	ABCDEF abcdef 12345
Cooper Black Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Cooper Black Outline	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Century Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Century Oldstyle Bold	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Century Schoolbook Bold	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Bold Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Clarendon Roman	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Bold	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Black	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Regular	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Cloister Black Openface	ABCDEF abcdef 12345
Commercial PI Regular	± ° ¨ ¢ + © ® (R) (TM) ™ ● ● ■ ■
Commercial Script Regular	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Dutch 801 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Dutch 801 Bold	ABCDEF abcdef 12345

Dutch 801 Bold Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Dutch 801 Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Extra Bold Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Exotic 350 Light	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Demi-Bold	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Goudy Oldstyle Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Bold Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Goudy Oldstyle Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Handtooled	ABCDEF abcdef 12345
Holiday PI	
Poster Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Poster Bodoni Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Prima Sans BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono Bold	ABCDEF abcdef 12345
Ribbon 131 Regular	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Ribbon 131 Bold	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Roundhand Regular	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Roundhand Bold	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Roundhand Black	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Serifa Thin	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Serifa Light	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Serifa Roman	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Serifa Bold	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Black	ABCDEF abcdef 12345

Serifa Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Snowcap Regular	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 222	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Staccato 555	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Swiss 721 Light	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Swiss 721 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Swiss 721 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Swiss 721 Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Swiss 721 Light Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Swiss 721 Condensed Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Swiss 721 Bold Condensed Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Swiss 721 Bold Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Symbol Proportional Regular	ABXΔEΦ αβχδεφ 12345
Zapf Humanist 601 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Zapf Humanist 601 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>
Zapf Humanist 601 Ultra	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra Italic	<i>ABCDEF abcdef 12345</i>

プリンタの仕様

ハードウェアの仕様

印刷速度：	20 枚／分 (A4 用紙)
解像度：	約 600 dpi × 600 dpi
用紙サイズ：	
カセット：	レター、リーガル、エグゼクティブ、A4、B5、A5、封筒洋形 2 号、封筒洋形 4 号、はがき、往復はがき 普通紙、OHP フィルム、封筒、および厚紙 (128 g/m ² まで) 最大積載枚数：250 枚 (64 g/m ²)
マルチフィーダ：	216 mm × 356 mm (最大) ～ 76 mm × 127 mm (最小) 普通紙、OHP フィルム、封筒、および厚紙 (128 g/m ² まで) 最大積載枚数：1 枚
排紙枚数 (フェイスダウン出力)：	60 枚 (64 ～ 75 g/m ²)
ホストインタフェース：	USB インタフェース

ソフトウェアの仕様

プリンティングソフトウェア：	Canon MF3110 プリンタドライバ
有効印字領域：	用紙の各端面から最大 5mm の余白を除く領域

A

AC

交流 (Alternating Current)。家庭用壁コンセントから一般的に利用できる電流の種類です。

C

Canon ColorGear カラーマッチング

キヤノン独自の色管理技術を使用した高速、高精度の色処理用カラーマネージメントシステム。Canon ColorGear は、工業規格形式「CC プロファイル」と互換性があり、カラープロファイルで指定したカラーデバイスの特性を使用して高精度の色管理を行うことができます。このシステムは、多くのキヤノン製品で使用されています。

D

dpi

1 インチあたりのドット数 (dots per inch) のことです。プリンタの解像度を表す単位です。Canon Satera MF3110 では 600 dpi の解像度で印刷します。

E

Exif

Exif (Exchangeable Image File : 交換可能画像ファイル) 形式は、画像保存用にほとんどのデジタルカメラで使用されている日本電子工業振興協会 (JEIDA) 規格です。Exif 圧縮ファイルは、JPEG 形式に基づいているので、JPEG 対応のアプリケーションであれば読むことができます。Exif は、画像を獲得した日付や時間、露光情報などの追加情報を各 JPEG ファイルのヘッダ内に保存できます。

O

OCR

Optical Character Reader の略。文字を光学的に読み取るための装置です。スキャナでスキャンした手書きや印刷文字などのグラフィック形式の情報からテキスト形式に情報を抽出するシステム。グラフィック形式のためスキャンしたテキストを編集することはできませんが、OCR ソフトウェアを使用すると、それをテキスト形式に変換できるため、ワードプロセッシングソフトウェアを用いてテキストを編集することができます。

P

PDF

Portable Document Format の略です。コンピュータ間でドキュメントを送信および表示するときに広く使用されている形式です。PDF ドキュメントは、Adobe 社の Acrobat Reader プログラムを使って表示または印刷できます。

T

TrueType フォント

画面表示と印刷のどちらにも使用できるスケーラブルフォントのことです。TrueType フォントでは任意の大きさに表示でき、高解像度の場合、画面で見たままの印刷結果が得られます。

TWAIN (Technology Without Any Interested Name)

スキャナやデジタルカメラなどの装置からコンピュータに情報を転送するための工業規格プロトコルです。

スキャナなどの画像入力装置用のアプリケーション プログラミング インタフェース (API) に用いられる工業規格プロトコルです。

装置とアプリケーション双方がこの規格に準拠していれば、製造メーカーやモデルが異なっても情報をやりとりすることができます。

例えば、TWAIN 互換の画像処理ソフトウェアを使用して、ソフトウェアメニューからスキャナの TWAIN ドライバを起動させて、ドキュメントをスキャンさせ、スキャンした画像をその画像処理ソフトウェアに送らせることができます。

U

USB (Universal Serial Bus) インタフェース

シリアルインタフェースの新規格です。自動的に接続を認識したり（プラグアンドプレイ）、パソコンや周辺機器の電源を入れたままコネクタを自由に抜き差ししたりすることができます。

W

WIA (Windows Image Acquisition)

スキャナまたはデジタルカメラから画像をダウンロードするための規格です。本機には、TWAIN 互換ドライバと WIA 互換ドライバが付属しています。WIA ドライバは、Windows XP の場合だけ使用できます。どちらのドライバを使用しても、TWAIN インタフェース対応のアプリケーション (Photoshop など) で本機を使ってドキュメントをスキャンすることができます。

5

付録

Windows エクスプローラ

ネットワークシステム内のコンピュータのディスクドライブ、フォルダ、ファイルを参照したり、開いたり、管理したりするときに使用する Windows プログラムです。Windows エクスプローラを使って、ネットワーク上の他のコンピュータの共有ファイルを表示したり、開いたりすることもできます。また、Windows エクスプローラを使って、ファイルの移動、コピー、名前変更、および削除といったファイル管理が行えます。

WYSIWYG

ウイズウィグと発音し、“What You See Is What You Get” 「見えている通りのものを得ることができる」の頭字語。例えば、パラグラフの書式を設定したとき、印刷される段落は正確に画面上で表示されているのと同じになります。

あ行

アプリケーション

「アプリケーションソフトウェア」の略称です。ワードプロセッシングソフトウェア、スプレッドシートソフトウェア、データベースソフトウェア、またはそれらを組み合わせたソフトウェアなど特定の目的のために設計されたソフトウェアのことです。

アンインストール

コンピュータにインストールされているソフトウェアを削除し、コンピュータを、そのソフトウェアをインストールする前の状態に戻すことです。

印刷キュー

現在印刷中のファイル、または印刷の順番待ちに並んでいるファイルのリストです。いったんファイルが印刷されると、そのファイルはキューから削除されます。

印刷ジョブ

Windows アプリケーションで処理されてから、スプーラに送信されてキューに追加されたドキュメント、またはプリンタへ直接送信されたドキュメントのことです。

印刷の向き

テキストをページの幅方向（ポートレート）または長さ方向（ランドスケープ）に印刷します。

インストール

ソフトウェアをいつでも使用できるようにコンピュータのハードディスク上の指定場所にコピーすることです。

インタフェース

2つの装置の接続のために使用するハードウェアやソフトウェアです。2つの装置はインタフェースを介して相互に通信します。Canon Satera MF3110 は、USB インタフェースを使用してコンピュータ（PC/AT 互換機）と通信を行います。

インタフェースポート

本機がコンピュータと通信するときに経由するポート。Canon Satera MF3110 には、本体背面に USB ポートがあります。「USB インタフェース」も参照してください。

インポート

他のアプリケーションで作成された情報を取り込むことです。

ウエイト

フォントの太さのことで、細い、中間、太いなどがあります。また、用紙の厚さの意味もあります。

か行

解像度

出力装置のドット密度で、dpi (dots per inch) 単位で表されます。低解像度の場合、フォント文字やグラフィックスの輪郭がギザギザになりますが、印刷速度は高解像度の場合よりも速くなります。高解像度の場合は、従来の書体デザインへの適合性が高く、曲線や角が滑らかになりますが、印刷速度は遅くなります。本機では、600 dpi の解像度で出力が生成されます。解像度の値は、横のデータと縦のデータによって表されます。（例：600 × 600 dpi）

拡大縮小

印刷する画像を拡大／縮小します。

仮想メモリ

実際の RAM (ランダムアクセスメモリ) であるかのように、Windows 環境で一時的なデータ格納に使用されるハードディスク上の空間です。Windows 環境では、スワップファイルを使ってこの処理が行われます。仮想メモリによって利用可能なメモリは増えますが、スワップファイルを使用しなければならない場合は仮想メモリへのアクセス速度が遅くなります。「物理 RAM」も参照してください。

紙詰まり

用紙搬送路に紙が挟まった状態のことです。印刷を続けるには、詰まった紙を取り除く必要があります。

ガンマ補正

画像の明度を変更する方法です。ガンマ補正を使用すると、色調範囲の中間にある画像部分の明度を画像の一番明るい部分または一番暗い部分を変えずに変更できます。即ち、コントラストを維持したまま画像の明度を変えることができます。

キロバイト (KB)

2 進数の 1024 バイトを表す単位です。プリンタやコンピュータのメモリサイズを 1000 バイト単位で表すときに使用します。

給紙

プリンタの用紙搬送路に用紙を送り出す動作です。

給紙ソース

給紙源です。本機には、カセットとマルチフィーダがあります。

キュー

現在印刷中のファイル、または印刷の順番待ちに並んでいるファイルのリストです。いったんファイルが印刷されると、そのファイルはキューから削除されます。

区切りページ

ある印刷ジョブと別の印刷ジョブを区切るために、各ドキュメントの先頭に任意で印刷されるページです。

クライアント

ネットワーク上のプリンタへ接続するコンピュータのことです。クライアントは、プリンタを直接制御せず、サーバを介してプリンタとやりとりします。「サーバ」も参照してください。

グレースケール画像

白／黒ではなく、グレーの階調として、各ドットを保存するビットマップ画像です。

コマンド

ある機能を実行するよう本機に指示する命令のことです。本機が動作準備完了状態のとき、コマンドはコンピュータからインタフェースケーブルを介して本機に送られます。

コントラスト

画像の最も明るい部分と最も暗い部分の差を表します。コントラストを下げると、暗い部分が明るくなり、明るい部分が暗くなります。コントラストを上げると、暗い部分はさらに暗くなり、明るい部分はさらに明るくなります。

コントロールパネル

システム、ハードウェア、ソフトウェア、および Windows の設定を変更するときに使用する Windows のプログラム群です。

さ行

再インストール

インストールしたソフトウェアを削除し、その後再度インストールすることです。

サーバ

ネットワーク上でプリンタに直接接続しているコンピュータのことです。サーバはプリンタを管理し、クライアントから送られる印刷ジョブを制御します。「クライアント」も参照してください。

仕上げ

複数ページのドキュメントをページの順に並べて複数部数印刷するための指定です。

斜体

斜めの文字を特徴とするフォントスタイルです。(文字の垂直ストロークは、縦軸に対してある角度をなしています。)

シールド

電磁インタフェースからケーブルを通して渡されるデータを保護するために、金属箔で内部の導線を覆ったケーブルの種類です。本機では、ダブルシールドインタフェースケーブルを使用する必要があります。

ジャム

用紙搬送路に紙が挟まった状態のことです。印刷を続けるには、詰まった紙を取り除く必要があります。

スキャナドライバ

コンピュータとスキャナとのやりとりを制御するプログラムです。スキャナドライバには、TWAIN と WIA (Windows XP 用) の 2 つのドライバが付属しています。

スケーラブルフォント

スケーラブルフォントを使うと、さまざまなサイズや回転角で文字を印刷できます。これは、固定のサイズと角度で印刷するビットマップフォントとは異なります。

スプーリング

アプリケーションからドキュメントを印刷する際に、ドキュメントをプリンタへ直接送信するのではなく、いったんスプーラへ送信することにより、実行中の他のタスクの処理をコンピュータおよびアプリケーションでスムーズに続けさせるプロセスのことです。スプールされたドキュメントは、受信順に印刷されます。

た行

タイトルバー

ウィンドウまたはダイアログボックスのタイトルを含む水平バーです。多くのウィンドウで、タイトルバーには [コントロール] メニューボックス、最大化ボタン、および最小化ボタンがあります。

定着器

印刷中に用紙 (または他の媒体) 上のトナーを熱や圧力で定着させる機構です。この機構はプリンタ内部にあり、プリンタ動作中は非常に高温 (190 °C) になります。

デスクトップ

Windows の作業領域を表す Windows 画面全体のことです。Windows デスクトップ上には、アイコン、ウィンドウ、およびタスクバーが表示されます。

転写ローラ

トナーを用紙に転写するために、ドラムに対して用紙を押し付けるローラです。

トナー

カートリッジに詰められている黒い樹脂コートされた粉末のことです。本機は、電子写真メカニズムによって、本機内部の感光性ドラムの表面にトナーを塗布します。

トナー節約モード

印刷データの黒い部分を薄くすることにより、トナー消費量を低減します。

ドライバ

コンピュータと外部の装置との対話方法を制御するプログラムです。例えば、プリンタドライバは、フォントの記述や設置されているプリンタの機能といった情報を Windows に提供します。

な行

ネットワーク

ケーブルまたは他の手段、およびソフトウェアを使って接続されているコンピュータ群です。ソフトウェアにより、ネットワーク上のコンピュータは (プリンタなどの) 装置の共有や情報の交換が行えます。

は行

ハーフトーン

グレースケールの画像を黒のドットと白 (印刷されない) のドットに変換して、元の画像の階調を再現して印刷する方法です。

標準設定

他の設定値が何も指定されていない場合に自動的に使用される設定のことです。

フォルダ

ドキュメント、プログラムファイル、および他のフォルダが保存されるディスク上のコンテナのことです。以前はディレクトリと呼ばれていました。

フォント

同じサイズとスタイルの文字セット一式のことです。(例 : 12 ポイントの Courier 太字)

物理 RAM

仮想メモリとは対照的に、メモリチップの形でコンピュータ内に物理的に存在する RAM (ランダムアクセスメモリ) です。「仮想メモリ」も参照してください。

プリンタと FAX フォルダ (プリンタフォルダ)

プリンタとファックスの情報が保存されているフォルダです。

プリンタドライバ

コンピュータとプリンタとの対話方法を制御するプログラムです。プリンタドライバは、フォントの記述や設置されているプリンタの機能といった情報を Windows に提供します。

プレビュー

実際にスキャンする前に、スキャンしようとする原稿を仮スキャンして表示することです。プレビュースキャンが希望のものと異なっている場合、設定を変更して再びプレビューを表示してスキャン前の確認を行います。

プロパティダイアログボックス

プリンタなど、特定のデバイスに関する情報を含むダイアログボックスです。

プロポーショナルスペーシング

各文字の幅に応じて文字間隔を調整することです。各文字間の間隔が可変であるため、見にくいスペースを詰めてテキストを読みやすくします。

ポートレート

縦向きに印刷することです。テキストやグラフィックスは、ページの短軸に沿って印刷されます。

ボールド (太字)

太く濃い表現を示すプリント文字の特徴。強調印刷または二度打ち印刷とも言われます。

ポイントサイズ

文字の大きさをポイント単位で定義します。1 ポイントは 1 インチの 1/72 です。

ま行

マイ コンピュータ

コンピュータのファイリングシステムを通してざっと見たり、ドライブ、フォルダ、およびファイルを開いたりするときに使用する Windows アプリケーション。マイ コンピュータは、アイテムの移動、コピー、名前の変更、および削除など、ファイルやファイリングシステムの管理に使用することもできます。

マルチページ PDF

スキャンされた数枚の原稿を 1 つの PDF ファイルとして保存します。各原稿は、PDF ファイルの 1 ページとなります。

明度

明るい領域と暗い領域の相対的な比率のことです。明度を下げると画像全体が暗くなり、明度を上げると画像全体が明るくなります。

メガバイト (MB)

100 万バイトを表す単位です。プリンタやコンピュータのメモリサイズを表すときに使用します。

や行

様式

幅および高さがユーザによって定義されたカスタム用紙サイズのことです。

用紙タイプ

すべての種類の用紙（普通紙、厚紙、OHP フィルム、および封筒）は、いくつかの用紙タイプに分類されます。

用紙搬送路

用紙のプリンタ内の移動経路です。

ら行

ランダムアクセスメモリ (RAM)

コンピュータの作業メモリで、プログラムやデータが使用中に一時的に保存される場所です。コンピュータをリセットまたはシャットダウンすると、RAM 内の情報はすべてクリアされます。非常に複雑なドキュメントを印刷する場合は、実行中の他のプログラムを終了するか、またはコンピュータに RAM を増設する必要があります。「物理 RAM」および「仮想メモリ」も参照してください。

ランドスケープ

横向きに印刷することです。テキストやグラフィックスは、ページの長軸に沿って印刷されます。

ローカルプリンタ

USB ケーブルを使ってコンピュータに直接接続されているプリンタのことです。

C

Canon ColorGear, 3-36

D

dpi, 5-18

E

e.Typist エントリー, 3-8

M

MF Toolbox

アンインストール, 1-9

インストール, 1-5

スキヤナの設定, 3-9

スキャン画像の保存先, 3-10

設定, 3-9

使う, 3-6

[MF3110 セットアップ] 画面, 1-3

MF ドライバ

アンインストールする, 1-10

インストール, 1-4

P

PDF, 5-19

PDF 設定ダイアログボックス, 3-14

S

ScanGear MF

拡張モード, 3-20

基本モード, 3-17

スキャン設定, 3-16

ダイアログボックス, 3-8, 3-15

U

USB 2.0, 1-2, 4-6

USB インタフェース, 5-20

USB ケーブル

接続する, 1-7

W

WIA ドライバ, 3-39

Windows 2000/XP

色の管理タブ, 2-27

印刷品質タブ, 2-39

お気に入りタブ, 2-29

お気に入りの表示タブ, 2-31

共有タブ, 2-24

グレー調整タブ, 2-41

仕上げタブ, 2-32

詳細設定タブ, 2-26

全般タブ, 2-23

ページ設定タブ, 2-33

ポートタブ, 2-25

マッチングタブ, 2-42

Windows 98/Me

印刷品質タブ, 2-15

グレー調整タブ, 2-17

仕上げタブ, 2-13
詳細タブ, 2-6
全般タブ, 2-5
プリンタプロパティ, 2-5
ページ設定タブ, 2-8
マッチングタブ, 2-18
WYSIWYG, 5-20

あ

明るさ／コントラスト, 3-28
アプリケーション, 3-13, 5-20
アラーム表示灯, 4-6
アンインストール, 5-20
 ドライバ, 1-9
色, 2-27
色の管理タブ, Windows 2000/XP, 2-27
色の設定, 3-27
色の設定タブ, 3-36
印刷, 2-1
 キュー, 5-21
 設定, 2-3
 速度, 5-17
印刷の向き, 5-21
印刷品質タブ
 Windows 2000/XP, 2-32, 2-39
 Windows 98/Me, 2-15
インストール, 1-1
 MF Toolbox, 1-5
 MF ドライバ, 1-4
 確認する, 1-8
 トラブル, 4-10
 付属のアプリケーション, 1-7
インストールできない, 4-10
インタフェース, 5-21
インタフェースポート, 5-21
インポート, 5-21
お気に入り
 Windows 2000/XP, 2-43

Windows 98/Me, 2-19
お気に入りタブ, Windows 2000/XP, 2-29
お気に入りの追加, 2-44
お気に入りの追加／編集, 2-31
お気に入りの表示タブ, Windows 2000/XP,
2-31
お気に入りの編集
 Windows 2000/XP, 2-45
 Windows 98/Me, 2-21

か

解像度, 3-43, 5-17, 5-21
 決定する, 3-38
拡大縮小, 5-22
拡張プロパティ ダイアログボックス, 3-43
拡張モード
 切り換える, 3-16
 使用する, 3-20
 設定, 3-23
 ツールバー, 3-21
カセット, 5-17
画像設定, 3-25
ガンマ, 3-29
基本モード
 切り換える, 3-16
 使用する, 3-17
 ツールバー, 3-19
キュー, 5-22
共有タブ
 Windows 2000/XP, 2-24
共有プリンタ, 2-47
 ネットワークダウンロード, 2-54
 プリンタウィザードの追加 (Windows
2000/XP), 2-55
 プリンタウィザードの追加 (Windows
98/Me), 2-56
クライアント, 5-22
グレースケール画像, 5-22

さ

グレー設定
 Windows 2000/XP, 2-41
 Windows 98/Me, 2-16
グレー調整タブ
 Windows 2000/XP, 2-41
 Windows 98/Me, 2-17
校正, 3-27
困ったときには, 4-1
 インストールおよびアンインストール ト
 ラブル, 4-10
 スキャントラブル, 4-5
 ドライバのトラブル, 4-4
 プリンタのトラブル, 4-1
ごみ傷低減, 3-26
コントラスト, 5-23
コントロールパネル, 5-23

サーバ, 5-23
 設定 Windows 2000/XP, 2-47
 設定 Windows 98/Me, 2-51
最終確認, 3-32
仕上げ, 5-23
仕上げタブ
 Windows 2000/XP, 2-32, 2-38
 Windows 98/Me, 2-13
シールド, 5-23
出力サイズを追加／削除する ダイアログボック
ス, 3-19
出力設定, 3-24
詳細設定
 Windows 2000/XP, 2-40
 Windows 98/Me, 2-16
詳細設定ダイアログボックス, 3-33
詳細設定タブ, Windows 2000/XP, 2-26
詳細タブ, Windows 98/Me, 2-6
自動色調整, 3-25

処理オプション
 Windows 2000/XP, 2-39
 Windows 98/Me, 2-14
スキャナタブ, 3-37
スキャナとカメラ, 3-3
スキャナとカメラ ウィザード, 3-39
スキャナドライバ, 5-23
スキャンする, 3-1
 MF Toolbox を使って, 3-6
 アプリケーションから, 3-13, 3-43
 設定, 3-3
 トラブル, 4-5
 本機の [スタート] ボタンで, 3-1
スキャンタブ, 3-35
スキャンパラメータ
 指定する, 3-22
スタンプ編集
 Windows 2000/XP, 2-35
 Windows 98/Me, 2-10
スプーリング, 5-24
スレッシュホールド, 3-32
セキュリティタブ
 Windows 2000/XP, 2-28
設定確認
 Windows 2000/XP, 2-46
 Windows 98/Me, 2-22
全般タブ
 Windows 2000/XP, 2-23
 Windows 98/Me, 2-5
ソフトウェア
 アンインストールする / 再インストールす
 る, 1-9
 アンインストール中のトラブル, 4-10
 インストールする, 1-3
 インストールを確認する, 1-8
 削除中のトラブル, 4-10

た

ダイアログボックス

Windows 2000/XP プリンタプロパティ, 2-22

Windows 98/Me プリンタプロパティ, 2-5

退色補正, 3-26

定着器, 5-24

電源

入らない, 4-2

転写ローラ, 5-24

動作環境, 1-1

トーンカーブ, 3-31

とじしる指定

Windows 2000/XP, 2-38

Windows 98/Me, 2-14

トナー, 5-24

節約モード, 5-24

ドライバ

アンインストールする, 1-9

インストールする, 1-3

トラブル, 4-4

トラブル

アンインストールする, 4-10

インストール, 4-10

削除する (アンインストールする), 4-10

スキャン, 4-5

ドライバ, 4-4

プリンタ, 4-1

な

入力設定, 3-23

ネットワーク

Windows 2000/XP サーバの設定, 2-47

Windows 98/Me サーバ設定, 2-51

共有プリンタとして設定する, 2-47

共有プリンタを使用する, 2-54

は

バージョンエラー, 4-11

ハードディスク, 4-8

ハーフトーン, 5-25

白線, 4-10

ヒストグラム, 3-30

標準設定, 5-25

フォント, 5-25

複合デバイス, 4-11

複数ページ PDF, 3-14

付属のアプリケーション

インストールする, 1-7

普通紙, 5-17

プリンタ

印刷設定を表示する, 2-4

印刷できない, 4-1

印刷を停止した, 4-2

共有設定, 2-50

使用するとシステムがロックアップする, 4-3

ドライバ, 4-4, 5-25

トラブル, 4-1

プロパティを表示する, 2-3

プリンタスプールの設定, 2-6

プリンタプロパティ

Windows 2000/XP ダイアログボックス, 2-22

Windows 98/Me ダイアログボックス, 2-5

プレビュー, 5-25

プレビュータブ, 3-34

ページ修飾

Windows 2000/XP, 2-37

Windows 98/Me, 2-12

ページ設定タブ

Windows 2000/XP, 2-32, 2-33

Windows 98/Me, 2-8

ポートタブ, Windows 2000/XP, 2-25

ポートレート, 5-26

ま

マッピングタブ

Windows 2000/XP, 2-42

Windows 98/Me, 2-18

マルチフィーダ, 5-17

明度, 5-26

メガバイト, 5-26

モアレ低減, 3-25

や

5

付録

やさしくファイリングエントリー, 3-8

ユーザ定義用紙, 2-11

用紙

給紙, 5-22

サイズ, 5-17

質量, 5-17, 5-21

タイプ, 5-27

枚数, 5-17

様式, 5-27

用紙サイズ

ユーザ定義, 2-11

ら

ランダムアクセスメモリ, 5-27

ランドスケープ, 5-27

粒子補正, 3-26

輪郭強調, 3-25

ローカルプリンタ, 1-3

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター
(全国共通番号)



050-555-90024

[受付時間] 〈平日〉 9:00～20:00
 〈土日祝祭日〉 10:00～17:00
 (1/1～3は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6